Panasonic

パーソナルコンピューター 取扱説明書

品番 CF-G1 シリーズ

活用編

便利・通信・モバイル・拡張

Me

説明書の構成

取扱説明書

セットアップ編

コンピューターを使うための準備作業をするときに。また、初めてのかたを対象に、Windows（ウィンドウズ）の基本操作を、具体例を通して説明しています。

活用編（本書）

安全上のご注意など、取り扱いについての説明に始まり、便利な機能や通信のしかた、省電力機能、周辺機器の拡張のしかたなどについて説明しています。

オンラインマニュアル

画面上で参照できるマニュアルです。
「オンラインマニュアル」の見かたについては、取扱説明書『活用編』（本書）をご覧ください。

困ったときのQ&A

本機が思ったように動かないなど困ったときの対処方法をQ&A方式で説明しています。

パソコン・サポートとつきあう方法

初めてのかたを対象に、お客様のご相談窓口を上手に利用する方法や、コンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。
（編集：社団法人 日本電子工業振興協会）

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
・取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

コミュニケーション

モバイル

アプリケーション

拡張

本書の読みかた

表記の約束

・キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。

（例） [N み] は [N] や [み] と表記します。

・あるキーを押しながら、別のキーを押すような操作の説明は、次のように「＋」を使って表記します。

（例） [Fn] ＋ [F6]

・「スタート」→[Windowsの終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windowsの終了]をクリックすることを意味します。
（内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインターを置くだけでいい場合もあります。）

・本文中の画面例は、一部実際と異なる場合があります。

ご使用前に

「安全上のご注意」は、必ずご覧ください。

本機をご使用になる前に、知っておいていただきたい「安全上のご注意」や「使用上のお願い」について説明しています。また、「各部の名称と働き」についても説明しています。

もくじ

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・異臭がする
・煙が出ている　　・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 異常が起きたらすぐに電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・AC アダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

本機を改造しない
また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ひび割れたり変形したりしたCDは使用しない

禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

- 円形でないCDや、接着剤などで補修したCDも同様に危険ですので、使用しないでください。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

CD-ROMドライブの内部をのぞきこまない

禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

- 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

必ず指定のＡＣアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※の原因になります。

※低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のお願い

・お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。
・本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
・お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、以下のことに注意してください。

ハードディスクのデータ保護

●コンピューターに衝撃を与えない。また、電源が入っている状態でコンピューターを持ち運ばない。
ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
●Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびHDDアクセスランプ（ ）の点灯中は、電源を切らない。
●ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障・変化・消失など）に備えて定期的にバックアップをとる。
●セキュリティ機能を利用し、データを保護する。（→94ページ）

* 正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows Meと表記します。

コンピューターウィルス

●最新のウィルスチェックプログラム（市販）を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

フロッピーディスクのデータ保護

●フロッピーディスクドライブのアクセス中に、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
●一度使用したフロッピーディスクをフォーマット（初期化）する場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
●書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。
これにより、データの削除や上書き保存を禁止することができます。
●フロッピーディスクの取り扱いに注意する。
データの破損やフロッピーディスクが取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
・シャッターを手で開けない
・磁気を帯びたものを近づけない
・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
・ラベルを重ねて貼らない

シャッター
ドライブにセットするとシャッターが開き、ここからデータの読み書きを行います。

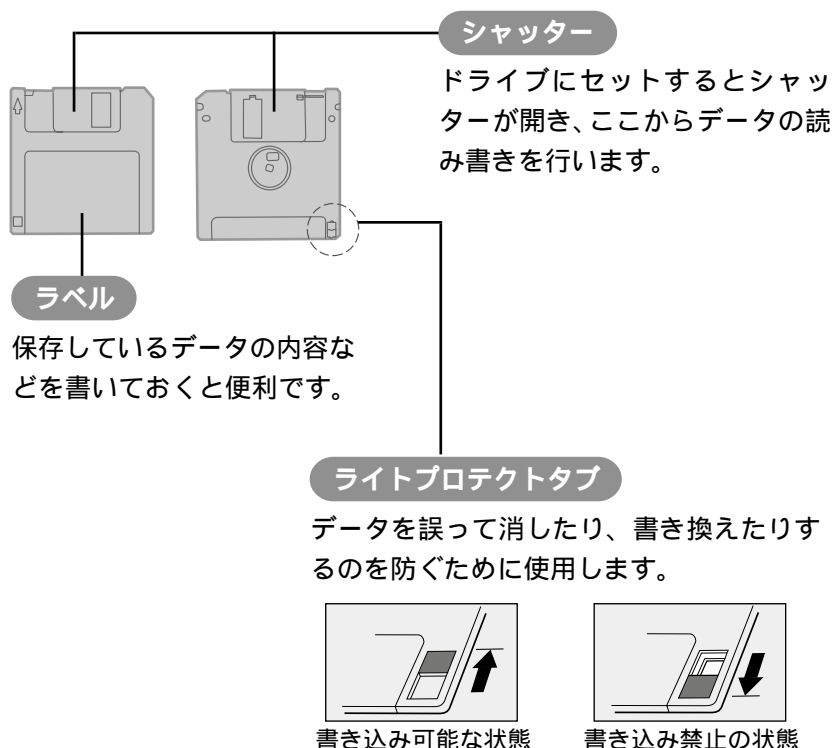
ラベル
保存しているデータの内容などを書いておくと便利です。

ライトプロテクトタブ
データを誤って消したり、書き換えたりするのを防ぐために使用します。

書き込み可能な状態

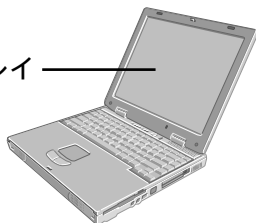
書き込み禁止の状態

使用上のお願い

ご使用前に

LCDパネル（ディスプレイ）の取り扱い

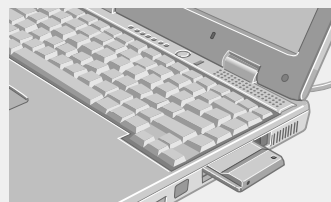
●LCDパネルは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。また、LCDパネル部を持って、持ち運ばないでください。
●カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができることがあります。これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

お手入れのしかた

●ディスプレイ部分
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。
●ディスプレイ以外の部分
水または、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼって、やさしく汚れを拭き取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

・ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
・水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

持ち運ぶとき

●操作を終了して、電源が切れた状態で持ち運んでください。（HDDアクセスランプ（🛢）の点灯中は持ち運ばないでください。）
●接続しているケーブルや本体から突き出たPCカード（→右図）はすべて取り外してください。
●LCDパネルは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。また、LCDパネル部を持って、持ち運ばないでください。
●落としたり、机の角など固い物にぶつけないようにしてください。
●航空機を利用する際には、破損・盗難等を避けるために手荷物としてお持ちください。また機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

補足説明について

補足説明（[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[オンラインマニュアル]→[補足説明]）には、本製品についての最新情報などが記載されています。あわせてご覧ください。

オンラインサービス機能について

本機に導入されているオンラインサービス（プロバイダーへのオンライン入会機能など）は、電話番号などの変更に対応していない場合があります。ご利用になるアクセスポイントの局番などが変更になった場合の対応については、各オンラインサービスのご相談窓口にお問い合わせください。

各部の名称と働き

右前面

電源スイッチ POWER
押すと、本体の電源が入ります。また、「電源の管理」（→65ページ）の「詳細設定」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定に従い、スタンバイや休止状態に入ることもできます。

ラッチ

LCDパネル(ディスプレイ)

キーボード

通風孔
→7ページ

PCカードスロット
PC Card Standard規格に準拠したカードをセットします。

モデムコネクター

フロッピーディスクドライブ

i.LINK端子 S400
DVデッキ、デジタルビデオカメラなど、IEEE1394に準拠した機器を接続します。

オーディオ出力端子
市販のオーディオ用ヘッドホン、スピーカーなどを接続します。

マイク入力端子
市販のミニジャックタイプのコンデンサー型モノラルマイクロホンを接続します。

パネルスイッチ（くぼみの奥にあります）
<Windows上での動作>
LCDパネルを閉じLCD上部のラッチがロック状態になると、「電源の管理」（→65ページ）の「詳細設定」の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定に従い、以下のように動作します。

なし	：LCDの電源が切れる
スタンバイ	：スタンバイ状態に入る（→19ページ）
休止状態	：休止状態に入る（→19ページ）
電源オフ	：コンピューターの電源が切れる（保存していないデータは失われます。）

<ファーストエイドFDなどから起動して、MS-DOSモードで使用している場合の動作>（→96ページ）

◀ Windows Meの画面上では「電源ボタン」と呼ばれることもあります。

お願い
電源スイッチを４秒以上押したままにしないでください。４秒以上押し続けると、スタンバイや休止状態に入らず自動的に電源が切れます。

◀ 画面の輝度調整のしかた
→100ページ

◀ 下スロットに挿入してください。

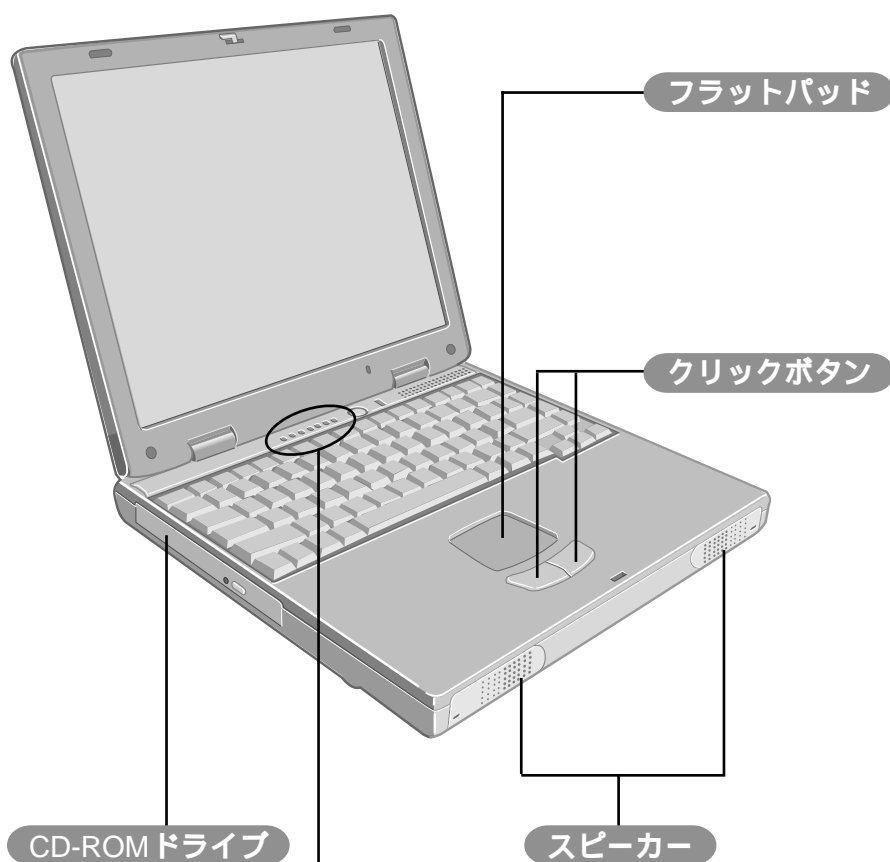
◀ 音量調整のしかた
→100ページ

お願い
マイク入力端子では、コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプを使用してください。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。

◀ マイクの音量調整について
→14ページ

LCDパネルを閉じた後に操作を再開するとき
- 「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「スタンバイ」に設定時は、何かキーを押すか、電源スイッチを押す。
- 「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「スタンバイ」以外に設定時は、LCDパネルを開け、電源スイッチを押す。

各部の名称と働き

左前面

NumLk・Caps Lk・ScrLk
　　機能時：緑色
バッテリー状態表示ランプ
　　充電中：緑色
　　満充電：消灯
　　残量10%以下：緑色点滅
HDDアクセスランプ
　　HDD動作中：緑色
電源表示ランプ
　　電源オン時：緑色
　　スタンバイ時：緑色点滅
　　電源オフ時と休止状態時：消灯
ACアダプター接続ランプ DC IN
　　ACアダプターが接続時：緑色点灯

◀ フラットパッドは指先で操作してください。ペンやつめなどでは反応しません。

◀ フラットパッド、クリックボタンの操作については取扱説明書『セットアップ編』をご覧ください。

◀ スピーカーの音量調整のしかた
→100ページ

背面

お願い

USB機器には、スタンバイや休止状態機能に対応していないものがあります。対応していない機器をご使用の場合は、スタンバイや休止状態機能を使用する前に、その機器を取り外してください。
また、設定、接続のしかたについては、USB機器に付属の説明書をご覧ください。

底面

バッテリーパックを挿入します。（→70ページ）

マイクの音量調整について

＜録音時の入力レベルが小さい場合＞

①「音量の調整」画面*で[オプション]→[プロパティ]をクリックする。

②「音量の調整」で「録音」を選び、「表示するコントロール」で[Mic]にチェックマークを付ける。

③[OK]をクリックした後、音量を調整する。

＜ハウリングについて＞

外部マイクをスピーカーに近づけたりするとハウリングを起こす場合があります。その場合は、「音量の調整」画面で[オプション]→[プロパティ]をクリックし、「音量の調整」で「再生」を選び、「表示するコントロール」で「マイク」にチェックマークを付けた後[OK]をクリックして、「Mic」をミュートにするようにしてください。または、ハウリングを起こさないように、マイクとスピーカーの音量を適度に調節してください。

*「音量の調整」画面を開くには

タスクバーの「音量」アイコンをダブルクリックしてください。タスクバーに「音量」アイコンが表示されていないときは、「コントロールパネル」の「サウンドとマルチメディア」で、「ボリュームコントロールをタスクバーに表示する」の左側の□にチェックマークを付けてください。

使いかた

スタンバイ・休止状態機能など、本機を操作するうえで便利な機能について説明しています。また、通信のしかた、省電力機能やバッテリーパックの使いかた、周辺機器の拡張のしかたなどについて説明しています。

もくじ

便利

コミュニケーション

コミュニケーション（つづき）

モバイル

アプリケーション

拡張

CD-ROMドライブについて

ディスク取り扱い上のお願い

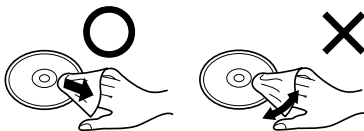
- 汚したり、傷つけたりしないでください。
- ゴミやほこりの多い場所、温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ラベル面に紙などを貼らないでください。
- 落としたり、曲げたり、重い物をのせないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。(結露が生じます。)
- 急に暖かい室内に持ち込んだときなどに露がついたら、乾いた柔らかい布でふいてください。
- ディスクの汚れや損傷の原因になりますので、再生面（タイトルのない面）に触れないでください。
- 2〜3か月に1回程度、ディスクのクリーニングをしてください。クリーニングには、CDディスククリーナーを使用してください。

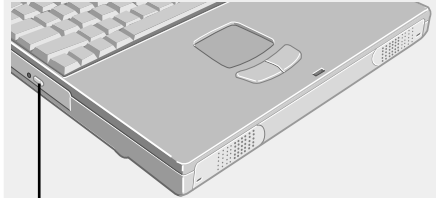
<汚れをとるには>

柔らかい乾いた布で、中心から外の方向へ軽くふきます。

<持ち方>

使いかた

便利

CD-ROMドライブ取り扱い上のお願い

- トレイにディスク以外のものを載せないでください。
- トレイを開けたままで放置したり、レンズ部分に触れたりしないでください。
- トレイが開いているときに、トレイに無理な力をかけないでください。
- トレイを閉じた後、約10秒間はCD-ROMドライブにアクセスしないでください。
- CD-ROMドライブのアクセス中は、次のことに注意してください。
  - ・トレイを引き出さない。（→次ページ）
  - ・コンピューターを動かさない。
  - ・電源を切ったり、スタンバイや休止状態にしない。
  - ・ディスク取り出しボタン（→右図）に触れない。
- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
- CD-ROMドライブのすき間部分にゼムクリップなどの異物が入らないようにしてください。
- CD-ROMドライブのクリーニングにはCDレンズクリーナー(クリーニング液を使用するものを除く)を使用してください。

自動実行のディスクの場合

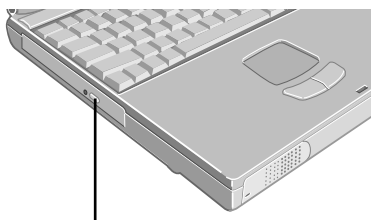
・スタンバイや休止状態からのリジューム後、自動実行のディスクを挿入しても実行されない場合は、15秒以上待ってからディスクを入れ直してください。
・ディスクの状態によっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。

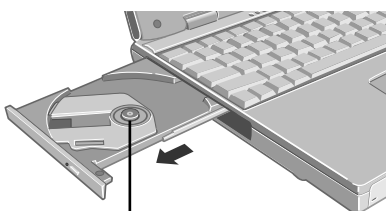
動画を再生するようなディスク（ビデオCDやMPEGデータを再生するCDなど）

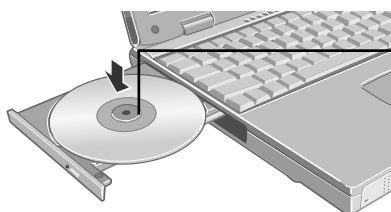
なめらかに再生できないことがあります。あらかじめご了承ください。

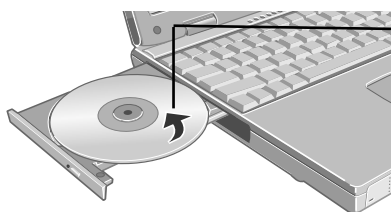
CD-ROMドライブについて

CD-ROMドライブを使う

1 本体の電源が入っていることを確認し、ディスク取り出しボタンを軽く押す。

ディスク取り出しボタン

2 手でゆっくり引き出す。

センターホルダー

3 ディスクをセットする/取り出す。
<セットする場合>

タイトル面を上にして、センターホルダーにしっかりと固定する。

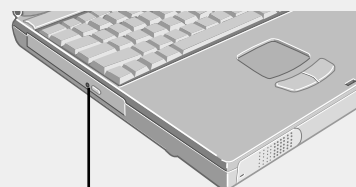
<取り出す場合>

センターホルダーに指を添え、ディスクの端を浮かせ、取り外す。

4 手でトレイを閉じる。

お願い

CD-ROMドライブアクセス中は、トレイを開けないでください。
アプリケーションソフトが入ったディスクの場合は、アプリケーションソフトを起動した後、そのアプリケーションソフトを終了するまでトレイを開けないでください。

トレイが引き出せないときは

トレイが引き出せないときや、電源を入れないでディスクを取り出したいときは、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに差し込んでトレイを引き出してください。

エマージェンシーホール

「スタンバイ」と「休止状態」機能

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使って終了すると、アプリケーションソフトを終了することなく、電源の入/切を行うことができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルが画面に表示されるので、すぐに操作を始めることができます。
＜スタンバイと休止状態の違い＞

	状態の保存先	立ち上がり速度	電源の供給
スタンバイ	メモリー	速い	必要*
休止状態	ハードディスク	やや遅い	不要

* スタンバイ時には、約3Wの電力を消費します。バッテリーパックの場合、満充電していても約2週間でバッテリー残量がなくなります。

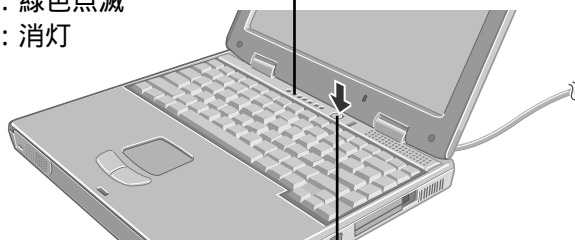
お願い
「スタンバイ」や「休止状態」機能を使う前に、必要なデータは保存してください。

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使って終了する

1 スタンバイまたは休止状態を設定する。

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を クリック
2. [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]を クリック （「電源の管理」アイコンが表示されていない場合のみ）
3. [電源の管理]を ダブルクリック
4. 「詳細設定」タブを クリック
5. 「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を 「スタンバイ」または「休止状態」に設定する。
6. [OK]を クリック

2 電源スイッチを押して終了する。

電源表示ランプ⏻
スタンバイ時：緑色点滅
休止状態時　：消灯

電源スイッチ POWER

お願い
- Windows上では、セットアップユーティリティの「省電力管理」メニューの「パワースイッチ」の設定は、動作しません。
- ファーストエイドFDなどから起動して、MS-DOSモードで使用している場合（→96ページ）

◀工場出荷時には、「電源オフ」に設定されています。
手順*1*の⑤で「休止状態」が表示されない場合
「休止状態」タブをクリックし、「休止状態をサポートする」の左側の□をクリックしてチェックマークを付けた後、[適用]をクリックしてください。

お願い
電源スイッチを４秒以上押したままにしないでください。４秒以上押し続けると、スタンバイや休止状態に入らず自動的に電源が切れます。

「スタンバイ」や「休止状態」の処理中およびリジューム時にしてはいけないこと

- 処理中（スタンバイ時は電源表示ランプが緑色点滅するまで、休止状態時は消灯するまで）はキーボード、フラットパッドなどを操作しないでください。リジューム後、それらのデバイスが操作できなくなることがあります。その場合、本体を再起動してください。
- リジューム時は、Windowsが完全に起動するまで、キーボード、フラットパッドなどを操作しないでください。

用語
リジューム　：スタンバイや休止状態から、次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを言います。

操作を再開する

1 電源表示ランプ⏻が緑色点滅または消灯していることを確認し、
電源スイッチを押し、電源表示ランプが点灯したら手を離す。

電源を切る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルが画面に表示されます。

◀電源表示ランプが点灯しているのに画面に何も表示されていない場合は、LCDの電源のみが切れていることが考えられます。その場合は、Ctrl など操作に影響のないキーを押すか、フラットパッドを操作してください。
◀バッテリー容量が少ない状態ではリジュームできない場合があります。その場合はACアダプターを接続してから電源を入れてください。

以下の場合は、スタンバイ（タイムアウト機能を含む）や休止状態に入らないでください

これらの機能や周辺機器およびWindowsが正常に動作しない場合があります。

- データの転送中・オーディオの録音および再生中
- PCカード（SCSI・ATAカード）やシリアルマウスなどの周辺装置を接続している時
- フロッピーディスクドライブ・ハードディスクドライブ・CD-ROMドライブの使用中
- 一部のUSB機器（スピーカーやDVD-RAMなど）を接続している時

上記の周辺機器にアクセスするようなアプリケーションソフトは終了してください。

「スタンバイ」や「休止状態」に入れない

- Windows以外のオペレーティングシステム（OS）ではディスプレイの電源が正常に復帰しなかったり、スタンバイや休止状態に入れないことがあります。また、MS-DOSモード（ファーストエイドFDなどから起動）では、休止状態は使用できません。
- 常駐ソフトウェアがある場合やスクリーンセーバー実行中は、スタンバイや休止状態に入れないことがあります。

リジューム後、しばらく待っても画面に何も表示されない

- MS-DOSプロンプト画面が一番手前にある状態でスタンバイや休止状態に入った場合、リジューム時、画面に何も表示されないことがあります。その場合は、Alt ＋ Tab を押してください。

スタンバイや休止状態からのリジューム時は、パスワード入力による保護機能が働きません

(Windowsで使用時)

- セットアップユーティリティでパスワードを設定していても、スタンバイや休止状態からのリジューム時にはパスワードの入力が要求されません。
- [コントロールパネル]の[パスワード]でWindows起動時のパスワードを設定し、[コントロールパネル]の[電源の管理]の「詳細設定」で「スタンバイおよび休止状態からの回復時にパスワードを入力する」にチェックマークを付けると、リジューム時にパスワード入力画面が表示されます。パスワードを間違うと再入力画面が表示されますが、間違ったパスワードを繰り返し入力すると、再入力画面が表示されるまでの時間が極端に長くなります。

他の方法で「スタンバイ」や「休止状態」に入るには

＜スタンバイへの入りかた＞

- Fn + F7 を押す。
- [スタート]→[Windowsの終了]をクリックして「スタンバイ」を選ぶ。

＜休止状態への入りかた＞（Windowsで使用時のみ）

- Fn + F10 を押す。（「コントロールパネル」の「電源の管理」の「休止状態」タブで「休止状態をサポートする」にチェックマークが付いていない場合は、スタンバイに入ります。）

通信を行う前に

インターネットに接続したり、電子メールの送受信を行ったりするためには、まず、通信環境を整える必要があります。
以下に通信を行うための操作の流れについて説明します。

通信機器を準備する（接続・設置） →次ページ

まず、通信機器を電話回線に接続する、適当な場所に設置するなどの準備を行います。

↓

プロバイダーに加入し、通信の設定をする →25ページ

インターネットを行うためには、いずれかのプロバイダー（接続サービスを行う会社）に加入する必要があります。
「インターネットスターター」を使用する（Panasonic PCオンラインメンバー登録時に「Hi-HOに加入する」を選んだ場合を含む）と、プロバイダーHi-HOにフリーダイヤルでダイヤルアップ接続し、オンライン上で加入手続きを行うことができます。
また、手続き終了後、自動的にインターネットへの接続設定やメールアカウントの設定が行われます。
複雑な通信設定を自分で行う必要がないのでとても便利です。

◀Hi-HO以外のプロバイダーに加入される場合は、各プロバイダーにお問い合わせのうえ、加入手続きを行ってください。また、加入後の通信設定も各プロバイダーの指示に従って行ってください。

◀複数のアクセスポイントを使い分けたり、通信機器を使い分けたりする場合は、新たに接続先の設定を行ってください。→30ページ

↓

通信を行う

インターネットに接続したり、電子メールを送受信したりすることができます。

用語

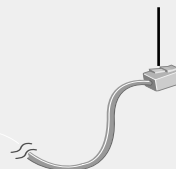
アクセスポイント　：プロバイダーへの接続ポイントです。あなたの使用場所に一番近いところを選びます。

通信機器を準備する

電話回線に接続する

1 内蔵モデムと電話コンセントを接続する。

◀「インターネットスターター」を使って自動的に通信設定を行うためには、内蔵モデムまたはターミナルアダプター*をご使用ください。携帯電話やPHS電話からでは、「インターネットスターター」は使用できません。
*接続や設定のしかたについてはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。

◀モジュラーケーブルを取り外すときは、突起部を押さえながら引き抜いてください。

◀日本国内の一般電話回線で使用してください。また、電話コンセントの形状によっては工事が必要な場合があります。

→次ページ

⚠注意

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

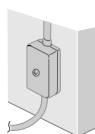
通信機器を準備する

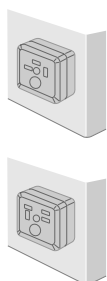
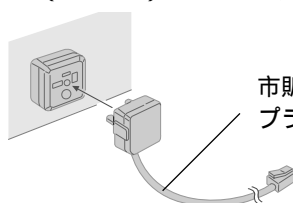
使用する電話回線について

モデムは、日本国内の一般電話回線で使用してください。
・会社、事務所等の内線電話回線等には、接続しないでください。
（→前ページの「⚠ 注意」）
・以下の特性が異なる回線に接続すると、本機が故障する恐れがあります。
NTTのピンク電話の回線
ホームテレホン（接続ボックス）
玄関ドアホン等
日本国外の回線

電話コンセントの種類

電話コンセントの種類は、モジュラージャック、ローゼット、3端子（または4端子）ジャックなどがあります。電話回線とのつなぎかたは、端子の種類によって異なります。モジュラージャックの場合、付属のモジュラーケーブルをそのままつなぎます。

＜ローゼットの場合＞

最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。
資格のない方が工事をすることは認められていません。

＜３端子（または４端子）ジャックの場合＞

以下の2とおりの方法があります。
・最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。
資格のない方が工事をすることは認められていません。
・一方がモジュラープラグで、他方が3端子（または4端子）プラグのケーブル（市販品）を用意し、以下のようにつなぎます。

本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

プロバイダーに加入し、通信の設定をする(初回のみ)

インターネットに接続するにはプロバイダー（接続サービス会社）に加入する必要があります。
「インターネットスターター」を使うと、プロバイダーHi-HO（以後、Hi-HO）への加入手続きが画面上で簡単にできます。また、手続き終了後、インターネット接続やメールの送受信のための複雑な設定が自動的に行われるので、すぐにインターネットが使えて便利です。
ここでは「インターネットスターター」を使ってHi-HOに加入する方法について説明します。

お願い

Hi-HOに加入される場合は必ず、「インターネットスターター」をご利用ください。Hi-HO以外のプロバイダーに加入する場合は、デスクトップの「インターネットに接続」を使用してください。
「インターネットスターター」を使用せずにHi-HOに加入された場合は、付属別紙（Hi-HOのご案内）に記載されている「特典」の対象外となります。

準備するもの

Hi-HOに電話をかけるために電話回線と接続します。（→23ページ）
入会の前に、あらかじめ次の準備をしておきましょう。

＜申し込みコースを決める＞
「Hi-HOのご案内」のパンフレット（付属）を見て決めておきます。

＜ご本人名義のクレジットカードを準備する＞
加入操作時、カードの会員番号や有効期限を入力する必要があります。

Hi-HOで利用できるクレジットカード
JCB・VISA・MASTER・DC・UC・ミリオン・NICOS・AMEX・ダイナース・Panaカード・松下カード（2000年7月現在）

＜希望するメールアカウントを決める＞
電子メールをやり取りするときに必要な「メールアカウント」（利用者を示す名称）の希望を決めておきます。
（「松下太郎」さんのメールアカウントの例）

matsushita_taro
matsushita
m-taro
taro_chan

◀希望のメールアカウントが、すでに誰かに割り当てられている場合、そのメールアカウントは登録できません。

メールアカウントとして使用可能な文字
英小文字・数字・ハイフン（-）・アンダーバー（_）
（半角文字のみ使用可能・ハイフンとアンダーバーは合計２つまで使用可能）
4文字以上、16文字以下で決めてください。

◀メールアカウントは、メールアドレスの一部として使用されます。
（例）
matsushita_taro@dab.hi-ho.ne.jp

「インターネットスターター」による加入、設定について

- Hi-HOにフリーダイヤルで接続するため、加入手続き中の電話料金はかかりません。
- 加入・設定時、携帯電話やPHS電話は使用できません。
- ホームページ閲覧ソフトとして「Internet Explorer (Ver.5.5)」*、メールソフトとして「Outlook Express (Ver.5.5)」*を使用することを前提として、自動的に通信設定を行います。その他のソフトウェアをご使用になる場合は、別途、通信設定を行ってください。
  *工場出荷時、インストール済みです。
- 「コントロールパネル」の「パスワード」でWindows起動時のパスワードを設定している場合は、必ずWindows起動時にパスワードを入力しておいてください。

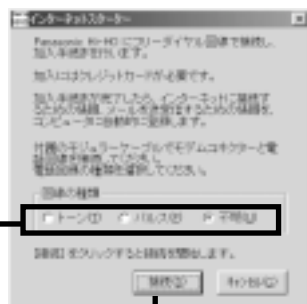
プロバイダーに加入し、通信の設定をする（初回のみ）

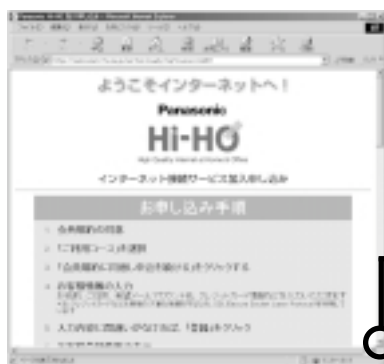
Hi-HOに加入し、通信の設定をする

設定が終わるまでに、約15～20分かかります。
下記手順に従って、続けて操作してください。

1 デスクトップの[インターネットスターター]アイコンをダブルクリックする。

[加入]を クリック

❶ 使用する電話回線の種類を クリック

❷ [接続]を クリック

Hi-HOへ自動ダイヤルし、回線に接続します。

▼をクリックし、お申し込み手順などを、よく読む。

（次ページへ続く）

お願い

「コントロールパネル」の「パスワード」でWindows起動時のパスワードを設定している場合は、必ずWindows起動時にパスワードを入力しておいてください。

◀「Panasonic PC オンラインメンバー登録」から加入操作を行った場合、左記の画面が表示されます。

◀ターミナルアダプターなどのドライバーをインストールした場合は、左記画面にモデムの選択項目が追加されます。その場合は、使用するモデムを選んでください。
詳しくは、ターミナルアダプターなどに付属の説明書をご覧ください。（内蔵モデム用は、「Panasonic Internal Softmodem」です。）

電話回線の種類について

- トーン：ダイヤル時にピッポッパッと音がする回線。
- パルス：ダイヤル時にピッポッパッと音がしない回線。
- 不明　：トーンかパルスかが不明な場合に選んでください。まず、トーンで接続を開始し、つながらなければ、パルスで接続し直すかどうかの確認メッセージが表示されます。

◀このとき、[終了]をクリックすると、接続を切断し、「インターネットスターター」が終了します。

回線がつながらないときは

- 話し中の場合（回線が混雑しているとき）は、モジュラーケーブルの接続などを確認し、少し待ってから「インターネットスターター」の操作をし直してください。
- 電話回線の種類や使用するモデムの設定が正しいか確認してください。

① ▼をクリックし、会員規約を、よく読む。

② [会員規約に同意し…]を クリック

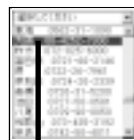
2 コースを選ぶ。

加入したいコースを選び、○を クリック

[次へ]を クリック

3 「加入申込書」に必要事項を入力する。

各欄の入力例や説明をよく読んで入力してください。

① ▼を クリック

② 使用場所に一番近いアクセスポイントを クリック

① Tab を押すとカーソルが表示されるので、入力する。

② ▼をクリックし、最後まで入力する。

お願い

- 加入申込書には「ご自宅ファックス」、「お勤め先・学校名」、「お勤め先電話番号」以外は必ずご記入ください。「ご自宅住所」には、ビル名や部屋番号など郵便物が届くのに必要な情報をきちんと入力してください。きちんと入力していないと、Hi-HOから資料などを郵送できないことがあります。
- Hi-HO加入申し込み画面の内容は、本書の説明と異なる場合があります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

全角と半角（ローマ字・数字）

各項目とも、指定の通りに入力してください。Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに全角入力モードと半角入力モードが切り換わります。

項目間のカーソル（Ｉ）移動

Tab を押す：次の項目へ

Shift ＋ Tab を押す：前の項目へ

「性別」

該当する方の○をクリックし、◉にします。

数字を入力する項目

「生年月日」やクレジットカードの「有効期限」など、１桁の数字を入力する場合、「03」のように数字の前に0を付けてください。

入力を間違えたら

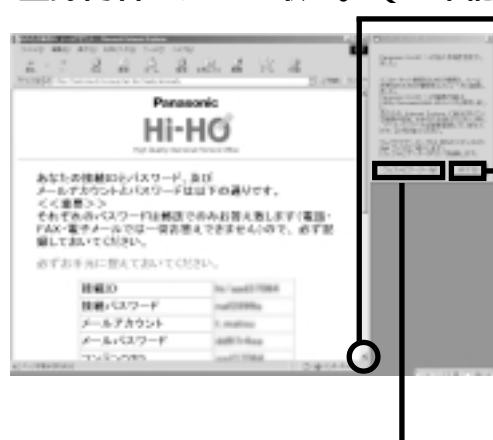
間違えた文字の右側をクリックすると、カーソルが表示されます。Back space を押すと、カーソルの左となりの文字を消すことができます。

[次へ]を クリック

入力内容をよく確認し、[登録]を クリック

加入手続きが終わると、Hi-HOに登録された情報が表示され、その情報がコンピューターに自動で設定されます。

お願い
[登録]ボタンは、ダブルクリックしないでください。また、[登録]ボタンをクリックした後、手順4の画面が表示されるまで多少時間がかかります。この間に再度クリックしないでください。2重に登録されることがあります。

4 登録内容をメモに取る。（→下記）

▼ をクリックし、最後まで内容を確認し、メモを取る。

<操作を終わるとき>
[終了]を クリック

<ウェブナビゲーターを操作するとき>
[ウェブナビゲーター]を クリック
40ページへ進んでください。
（フリーダイヤルによる接続は、上記の画面までです。ウェブナビゲーターでインターネットに接続する場合は、料金が発生します。）

お願い
- 接続ID、パスワード、メールアカウントなどは忘れないように必ずメモを取って残しておいてください。
- メールアカウントが使えるようになるまで約2時間かかります。

◀「ウェブナビゲーター」では、幅広いジャンルのホームページを一覧表示してご紹介します。

必ずメモしておいてください

接続ID、パスワード、メールアカウントなどの登録内容は必ず、取扱説明書『セットアップ編』の裏表紙の前ページにメモしておいてください。
メールパスワードは、電子メール操作時に入力する必要があります（→50ページ）ので特に気をつけてメモしてください。（その他の登録情報は、インターネットスターターが自動でコンピューターに設定してくれます。）
また、この情報は、「マイドキュメント」フォルダーに「hi-ho.txt」というファイル名で保存されています。このファイルを開いて、参照することもできます。（→『セットアップ編』「文書の呼出（ファイルを開く）」）

用 語

接続ID　　　　　：プロバイダーへの接続時に会員を識別するためのものです。
接続パスワード　：他人が自分の接続IDを使ってプロバイダーに接続するのを防ぐためのパスワードです。
メールアカウント：電子メールをやり取りするときに、利用者を示します。（→25ページ）
メールパスワード：メールサーバー上の電子メールを他人に無断で読み出されるのを防ぐためのパスワードです。
電子メールアドレス：電子メールの宛先（実際はプロバイダーが設置している「メールサーバー」というコンピューターの中の番地）です。

正式な会員証が届いたら

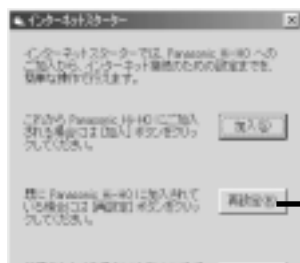
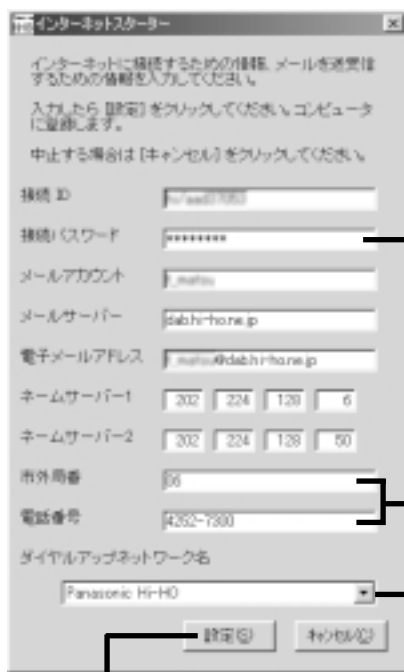
加入後、約10日後に、正式な会員証や説明書などの書類が郵送されます。
加入時にメモした登録情報と郵送された書類に違いがないか確認してください。
サーバー管理などのため、まれに「接続パスワード」などが、変更されていることがあります。そのような場合は、下記を参照して設定を変更してください。

お願い

郵送された書類は、大切に保管してください。

設定内容を変更するとき

接続パスワードが変更になったときやコンピューターの再インストール後、通信の設定を再度行いたいときには、「インターネットスターター」を使用して再設定することができます。

1 デスクトップの[インターネットスターター]アイコンをダブルクリックする。

◀再インストール後（→111ページ）、再設定する場合は、まず「ダイアルアップネットワーク」で新しい接続を作成してから（→次ページ）、左記の操作を行ってください。

2 設定内容を変更する。

ダイヤルアップネットワーク名
ダイアルアップネットワークとは、プロバイダーに接続する際のアクセスポイントとアクセスポイントへの接続方法（電話回線の種類、モデムなど）を設定したものです。
「インターネットスターター」では「Panasonic Hi-HO」という名前で自動設定されます。

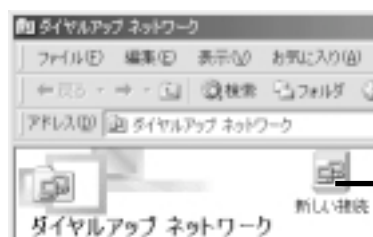
◀再インストール後の再設定時には、▼をクリックして、新しく作成したダイヤルアップネットワーク名を選んでください。

使いかた
コミュニケーション

新しく接続先を設定する

複数のアクセスポイントを使い分けたり、通信機器を使い分けたり（家では内蔵モデムを使って通信し、外出先では携帯電話やPHS電話を使って通信するなど）する場合、「ダイヤルアップネットワーク」で新しい接続先を作成します。ここでは、その方法について説明します。

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする。

2 新しく接続先を作成する。

ダブルクリック

◀初めて「新しい接続」をダブルクリックしたときには、「ダイヤルアップへようこそ」画面が表示されるので、[次へ]をクリックしてください。

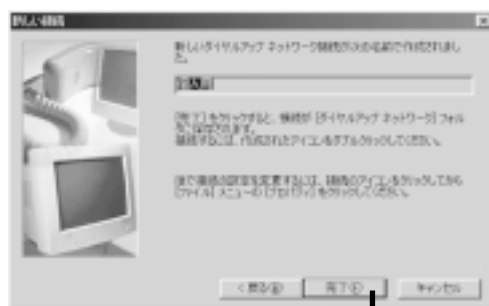
①新しく作成する接続先に名称を付ける。

②使用する機器にあったモデムを選択する。

③[次へ]を クリック

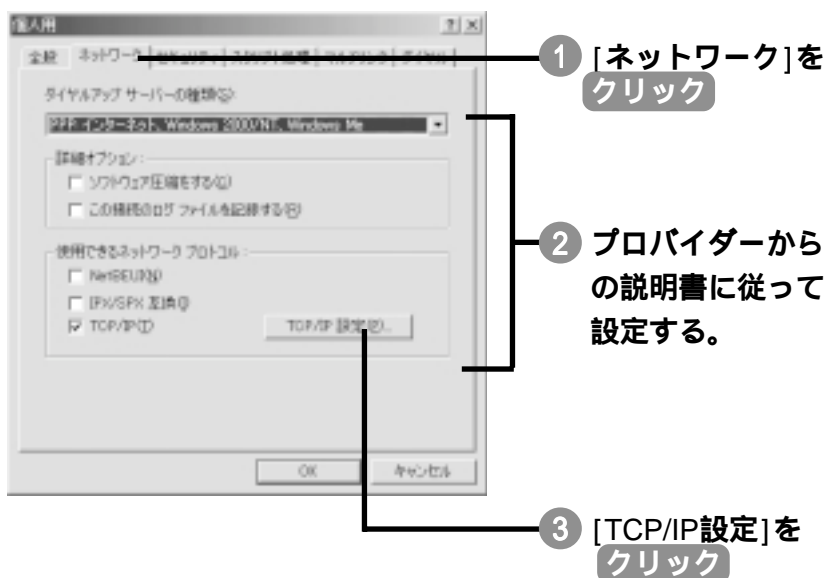
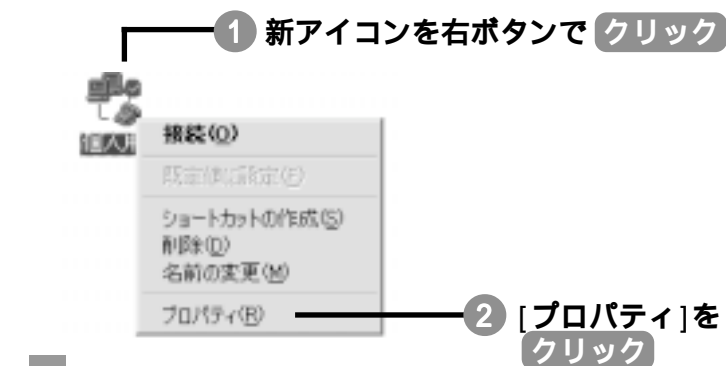
①アクセスポイントの電話番号を半角数字で入力する。

②[次へ]を クリック

（次ページに続く）

使いかた

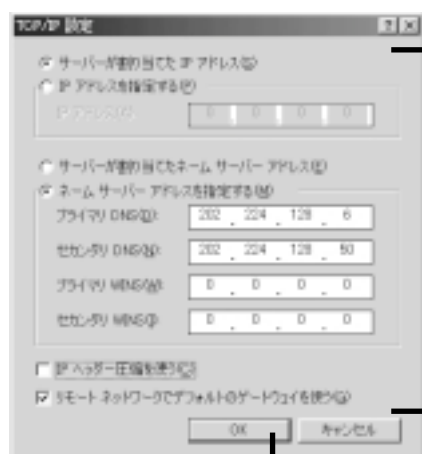
コミュニケーション

設定した接続名を持つアイコンが追加されます。

3 サーバー情報を設定する。

（次ページに続く）

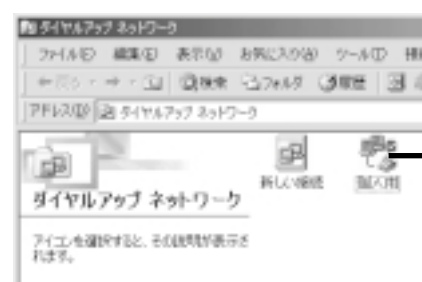
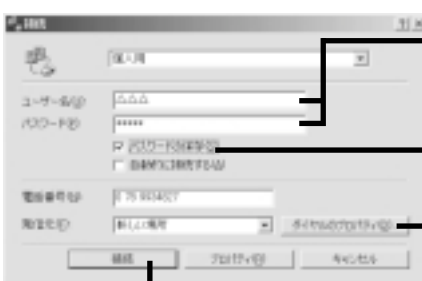
使いかた

コミュニケーション

新しく接続先を設定する

1 プロバイダーからの説明書に従って設定する。

2 [OK]を クリック

[OK]を クリック

設定した接続先につなぐとき

ダブルクリック

1 ユーザー名とパスワードを入力する。

チェックマークを付けると、次回接続時からパスワードを入力する手間が省けます。ただし、パスワードを知らない人でも接続可能になりますので、注意してください。

2 [ダイヤルのプロパティ]をクリックして、ダイヤル方法を設定する。（→次ページ）

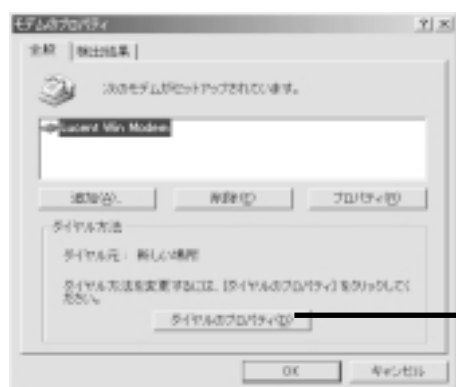
3 [接続]を クリック

接続を切断するとき

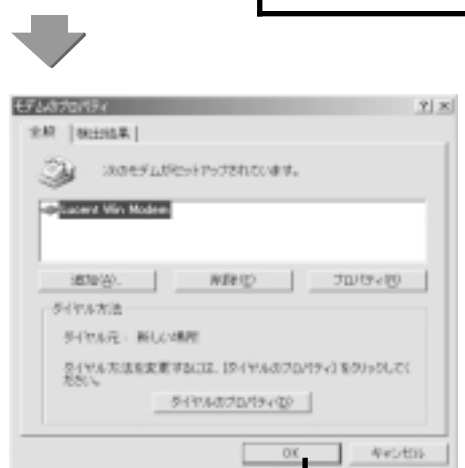
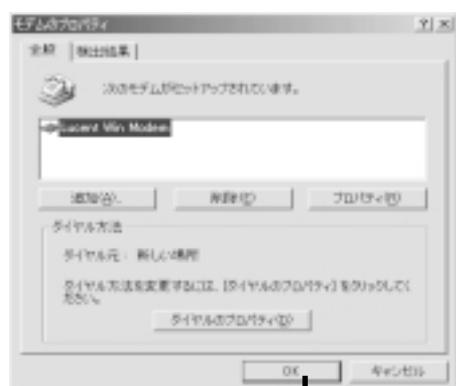
タスクバーの をダブルクリックし、[切断]をクリックします。

ダイヤル方法を設定する

発信元の使用環境や使用する通信機器にあわせて、ダイヤル方法（回線の種類）などを設定する必要があります。

1 [コントロールパネル]の[モデム]をダブルクリックする。

◀「モデム」アイコンが表示されていない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

2 電話回線の種類を設定する。

「ダイヤルのプロパティ」を クリック

❶ 必要な項目を入力する。

❷ [OK]を クリック

[OK]を クリック

お願い

「ダイヤルのプロパティ」の設定は、すべてのモデムに共通です。

「ダイヤル方法」が使用環境により異なる場合は、その都度、変更する必要があります。

◀ダイアルアップネットワークの接続アイコンをダブルクリックしても、「ダイアルのプロパティ」の設定をすることができます。

◀「登録名」に入力した名称で、設定内容を保存できます。「ダイアルアップネットワーク」からの接続時、「発信元」としてここで設定した登録名を選択できます。(→前ページ)

◀「国名/地域」では「日本」を選んでください。

◀「市外局番」には使用場所の市外局番を入力してください。
携帯電話やPHSをお使いになる可能性がある場合は、「0」を入力してください。「市外局番」に何も入力しなければ、画面を閉じることができません。

◀「ダイヤル方法」では、回線の種類を正しく選んでください。
- トーン：ダイヤル時にピッポッパッと音がする回線
- パルス：ダイヤル時にピッポッパッと音がしない回線
- ご使用中の電話回線の種類がわからない場合、お近くのNTTにお問い合わせください。

内蔵モデムの通信時の音量を調節するには

「音量の調整」画面（タスクバーの「音量」アイコンをダブルクリック）の「Phone」を使ってください。

インターネットに接続する

通信機器を接続し、プロバイダーへの加入と通信の設定（→23～29ページ）が終わったら、「Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）」を使ってインターネットに接続してみましょう。

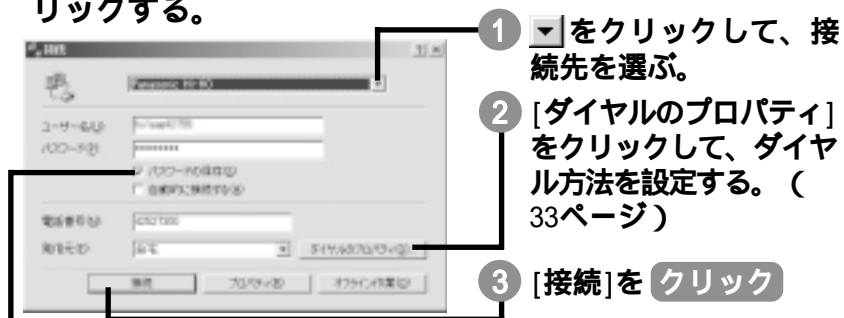
◀「Internet Explorer」は、ホームページを見るためのソフトウェア（ブラウザー）の一つです。

「Internet Explorer」を起動する

1 デスクトップの[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックする。

① [▼]をクリックして、接続先を選ぶ。

② [ダイヤルのプロパティ]をクリックして、ダイヤル方法を設定する。（→33ページ）

③ [接続]を クリック

チェックマークを付けると、次回接続時からパスワードを入力する手間が省けます。ただし、パスワードを知らない人でも接続可能になりますので、注意してください。

プロバイダーへの接続が始まります。接続が終わると、Internet Explorerで、最初に表示するページとして設定されているホームページが表示されます。

◀自分で新しく設定したダイヤルアップ接続を選ぶこともできます。その接続を初めて使用する場合には、ユーザー名とパスワードに何も表示されませんので、自分で入力してください。パスワードはセキュリティ保護のため「*」で表示されます。

（ダイヤルアップ接続の作成方法→30ページ）

◀左記は、「インターネットスタータ－」により自動作成された「Panasonic Hi-HO」を使用する場合を例にしています。

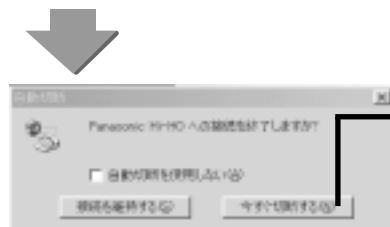
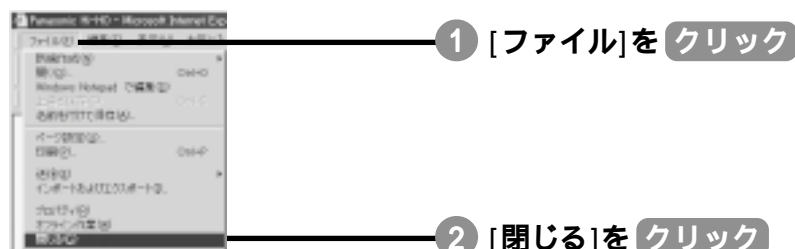
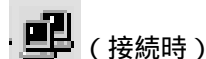
◀ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

「Internet Explorer」を終了する

次のようにして、確実に接続を切断します。

① [ファイル]を クリック

② [閉じる]を クリック

「今すぐ切断する」をクリック

画面右下のタスクバーにあるアイコンの表示が消えます。

（接続時）

◀画面右下の（接続時）アイコンをダブルクリックしても、接続を切断できます。

◀ウィンドウ右上の[×]をクリックしても、「Internet Explorer」を終了することができます。

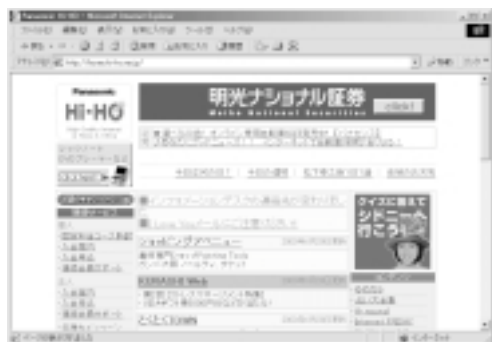
◀この画面は、他の画面の後ろに隠れてしまうことがあります。その場合、タスクバーの「自動切断」をクリックしてください。

雑誌で見つけたホームページを見る

雑誌やカタログなどで目にする「http://」というURL（ホームページの番地）を入力すると、見たいページを表示することができます。ここでは、Hi-HOのホームページを表示します。

1 「Internet Explorer」を起動する。（→前ページ）

2 URLを入力する。

しばらくすると、指定したホームページが表示されます。

◀Hi-HOのURLは、「http://home.hi-ho.ne.jp/」です。（2000年7月現在）

◀必ず半角の英数字で入力します。半角の英数字にならないときは Alt ＋ 半角/全角 を押して、英数字入力モードに切り換えます。

◀ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

◀Internet Explorerを終了するには→前ページ

表示が極度に遅いときには

画像の多いホームページを表示している、メモリーが不足している、または接続しようとした時間帯にホームページが非常に混雑しているなどが考えられます。

URL によく使われている記号の入力方法

- チルダ（〜）は Shift ＋ ～ ∧へ
- スラッシュ（/）は ? ・ / め、ピリオド（．）は > 。 . る、コロン（：）は * : け
- アンダーバー（＿）は Shift ＋ ＿ ＼ ろ

用 語

URL　：インターネット上でホームページなどのデータの場所を示す番地のようなものです。

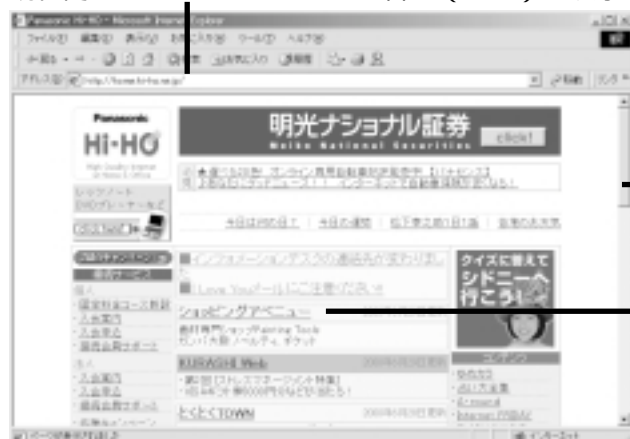
使いかた　コミュニケーション

インターネットに接続する

ホームページの見かた

現在開いているホームページの番地（URL）が表示されています。

スクロールバー

ポインターが矢印から手の形になる所を クリック
その先のホームページ(リンク先)を表示できます。

[戻る]を クリック
一つ前のホームページに戻ることができます。

◀画面を最大にする
画面右上の□をクリックすると、ホームページのウィンドウを最大にすることができます。（→取扱説明書『セットアップ編』）

◀スクロールバーをドラッグ、または▼▲をクリックすると、下または上に続いているホームページを見ることができます。

◀ 戻る 進む
いくつかのホームページを開いたときに、簡単に前に戻ったり、次に進んだりすることができます。いろいろなページを開いてみましょう。

◀Internet Explorer を終了するには
→34ページ

オフライン(回線断)の状態でホームページの内容を読む

見たいホームページを表示した状態で[ファイル]→[オフライン作業]をクリックする、またはInternet Explorer起動時に[オフライン作業]をクリックすると、回線を切断した状態（オフライン）でホームページを見ることができます。（料金を節約できます。）ただし、オフラインで見ることができるのは、履歴に残っているホームページのみです。それ以外のホームページに進もうとすると、下記のメッセージが表示されますので、[接続]をクリックしてください。

そのほかの便利な機能

（ホーム）：インターネット接続時に最初に表示されたホームページに戻ります。

検索 ：キーワード（言葉）をもとに、見たいホームページを表示します。（→次ページ）

お気に入り ：よく見るホームページを登録し、すぐに表示することができます。（→38ページ）

履歴 ：表示したホームページのURLの履歴を見ることができます。

見たいページを探す

「こんなホームページが見たいな」という場合、キーワードを入力して、ホームページを探すことができます。
たとえば、「海外旅行の懸賞に応募したい」ときは「懸賞」「海外旅行」などをキーワードとして見たいページを探せます。

◀「どんなホームページがあるのかな」という場合には、「ウェブナビゲーター」が便利です。（→39ページ）

1 「Internet Explorer」を起動する。（→34ページ）

[検索]を クリック

1 キーワードを入力する。

2 [検索]を クリック

検索条件に合致したホームページの件数が表示されます。

☒をクリックすると、検索を終了することができます。

検索結果が表示されるので、いずれかのホームページタイトルを クリック

2 インターネットへの接続を終わる。（→34ページ）

◀ Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに日本語入力モードと英数字入力モードを切り換えられます。

キーワード入力のコツ
検索されたページが多すぎて探しにくい場合は、複数のキーワードを入力してください。その際、スペースや | で区切るのが一般的です。

◀インターネットへ情報を送信する場合、いくつか、警告のメッセージが表示される場合があります。確認後、[はい] をクリックします。

◀[戻る]をクリックすると、検索を始める前の画面に戻ることができます。

気に入ったページを登録する

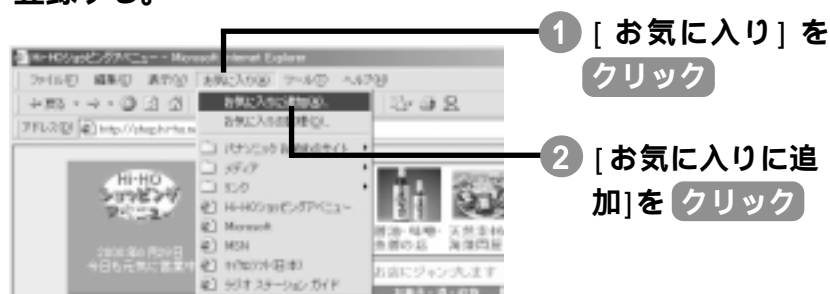
よく利用するホームページは、「お気に入り」に登録しましょう。「お気に入り」に登録しておくと、「URL」を入力することなくメニューから選ぶだけで簡単に表示できます。

1 「Internet Explorer」を起動する。（→34ページ）

2 お気に入りに登録したいホームページを表示させる。

3 登録する。

① [お気に入り]を クリック

② [お気に入りに追加]を クリック

◀ をクリックして登録することもできます。

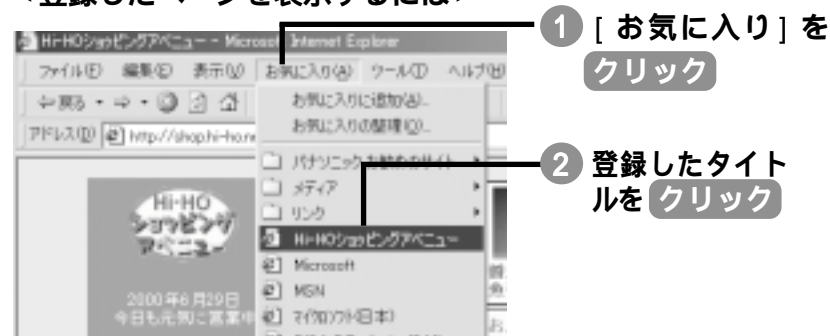
① タイトルを入力、確定する。

② [OK]を クリック

◀名前の欄をクリックすると、文字を入力できるようになります。

<登録したページを表示するには>

① [お気に入り]を クリック

② 登録したタイトルを クリック

◀「お気に入り」のメニューから削除したいときは
[お気に入りの整理]をクリックし、削除したいタイトル名をクリックして、[削除]→[はい]→[閉じる]をクリックします。

4 インターネットへの接続を終わる。（→34ページ）

最初に表示するページを設定するには

①最初に表示したいホームページを表示する。
②[ツール]→[インターネットオプション]をクリックする。
③[全般]→[現在のページを使用]をクリックし、[OK]をクリックする。

ウェブナビゲーターでホームページを見る

ウェブナビゲーターを使用する前に

ウェブナビゲーターを使用するには、以下の準備が必要です。
・通信機器を接続してプロバイダーに加入し、通信の設定をしてください。（→23〜29ページ）
・画面のプロパティで、画面の領域を1024×768ピクセル、色をHigh Color（16ビット）以上、「詳細」設定でフォントサイズを「小さいフォント」に設定してください。

◀工場出荷時は、1024×768ピクセル、High Color （16ビット）、「小さいフォント」に設定されています。

ウェブナビゲーターの楽しみかた

＜まずは、ネットサーフィン＞

どんなホームページがあるの、
どうしたらもっとホームページを楽しめるの？というときに。
（標準ビュー）

ウェブナビゲーターを起動してホームページ情報を取得します。取得後は、オフラインになるので料金がかかりません*。

１画面に６グループのホームページを一覧できます。
（右の画面は一例です。）

標準ビューでは、登録されている性別や年齢などをもとに「ニュース」「旅行」などのジャンル別ホームページや、「おまかせ」としてあなたに合いそうなホームページを提案します。

＜さらに使い込む＞

興味を持った分野（ジャンル）のホームページをたくさん探したいときに。（探険ビュー）

興味を持ったホームページを指定するだけで、６つのグループすべてに同じジャンルのホームページを取得することができます。

気に入ったホームページを残しておきたいというときに。
（カスタムビュー）

標準ビューや探険ビューで見つけたホームページや、「Internet Explorer」（→34ページ）の「アドレス」や「お気に入り」など、あちこちにあるお気に入りのホームページを簡単な操作でウェブナビゲーターの「カスタムビュー」に集めて登録できます。（→43ページ）

＜ホームページの更新＞

必要に応じて簡単にホームページの情報を更新できます（→48ページ）。また、ホームページリスト（URL集）も更新できますので、最新の情報を入手することができます（→49ページ）。

ホームページ情報の取得とは
・本機にはあらかじめたくさんの厳選されたホームページリスト（URL集）が登録されています。
・ホームページリストをもとにインターネットに接続し、最大24個（工場出荷時は18個）のホームページ情報を自動で取得します。（登録されているURLが提供者側で休止、終了された場合、そのホームページの内容を取得・表示できなくなることがあります。）

*リンク先のホームページを表示する場合、インターネットに接続するため、料金がかかります。また、オンライン状態からホームページの更新を行った場合などは、取得後もオンライン状態が続きます。その場合は接続を切断し、オフライン状態にしてから閲覧するようにしてください。

◀標準ビュー、探険ビュー、カスタムビューは、簡単に切り換えることができます。（各ビューのホームページの内容は保持されます。）

ウェブナビゲーターでホームページを見る

ウェブナビゲーターを起動する

インターネットスターター（26ページの画面）に続けて操作する場合は手順2から、それ以外は手順*1* から操作してください。

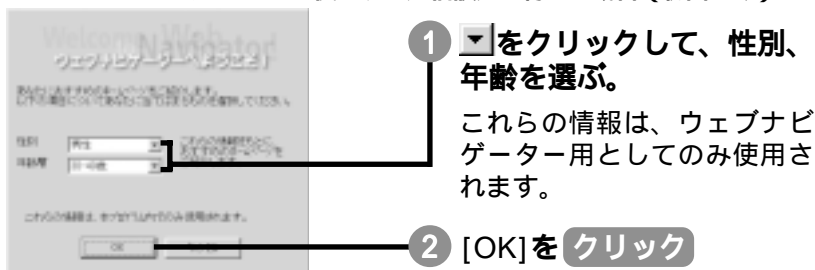
1 [ウェブナビゲーター2]アイコンをダブルクリックする。

<インターネットスターターを使って通信設定を行った場合（初回のみ）>

「ウェブナビゲーターへようこそ」画面で[OK]をクリックする。

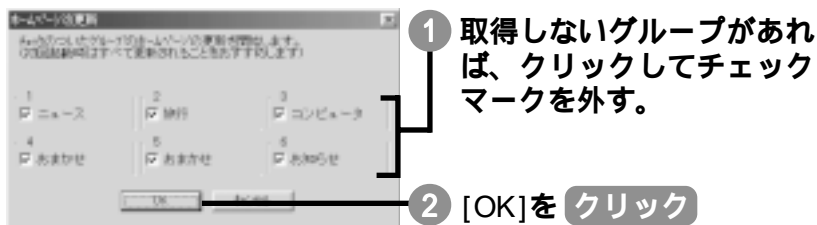
<インターネットスターターを使わずに通信設定を行った場合（初回のみ）>

1 ▼をクリックして、性別、年齢を選ぶ。

これらの情報は、ウェブナビゲーター用としてのみ使用されます。

2 [OK]を クリック

この後、画面の指示に従って[OK]をクリックする。

2 ホームページの情報を取得する（初回のみ）。

1 取得しないグループがあれば、クリックしてチェックマークを外す。

2 [OK]を クリック

3 ダイヤルアップの「接続」画面で[接続]を クリック
（「自動的に接続する」にチェックマークを付けている場合、[接続]をクリックする必要はありません。）

画面右側の「ホームページの更新」画面に取得中のホームページが表示されます。１つ取得するごとに、６分割された画面にはめ込まれていきます。

2回目以降は、前回に取得した情報をもとに、すぐにウェブナビゲーターの画面（前回終了時のビュー）が表示されます。

3 更新終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

<ウェブナビゲーターを終了する場合>

ホームページの更新中は、終了できません。

1 [ファイル]を クリック

2 [終了]を クリック

・ウィンドウ右上の☒をクリックしても、終了することができます。

◀６つのグループをすべて取得するかどうかを選ぶことができます。表示されているグループ名は、登録されている年齢、性別などにより異なります。

◀<u>プロバイダー経由のホームページ取得はインターネットへ接続するため、接続料金、電話料金がかかります。（オンライン）</u>
接続時間は自分で設定することができます。（工場出荷時は最長約14分間接続します。→49ページ）

◀画面右側の「ホームページの更新」画面で[スキップ]をクリックするとそのホームページの取得が中断され、次のホームページの取得が始まります。

お願い

- 回線の状況などにより、１つのホームページを1分以内に取得できない場合、そのホームページは表示されません。
- 認証、Javaアプレットのロードなどにより、取得できないホームページや、Javaアプレットやスクリプトなどによって表示内容が自動的に変化するようなホームページは表示されません。

ウェブナビゲーターの基本機能

標準ビュー

初めてホームページを取得した直後に表示される画面です。登録した性別、年齢をもとに、また、使用を重ねるうちにどのようなホームページをよく見ているかを記録し、コンピューターがあなたに合ったジャンルやホームページを選んで表示します。

ビュー名

実際には、各ジャンルのホームページ情報が表示されます。

グループ名

グループ1　グループ2　グループ3

更新日時

グループ4　グループ5　グループ6

取得したホームページ情報

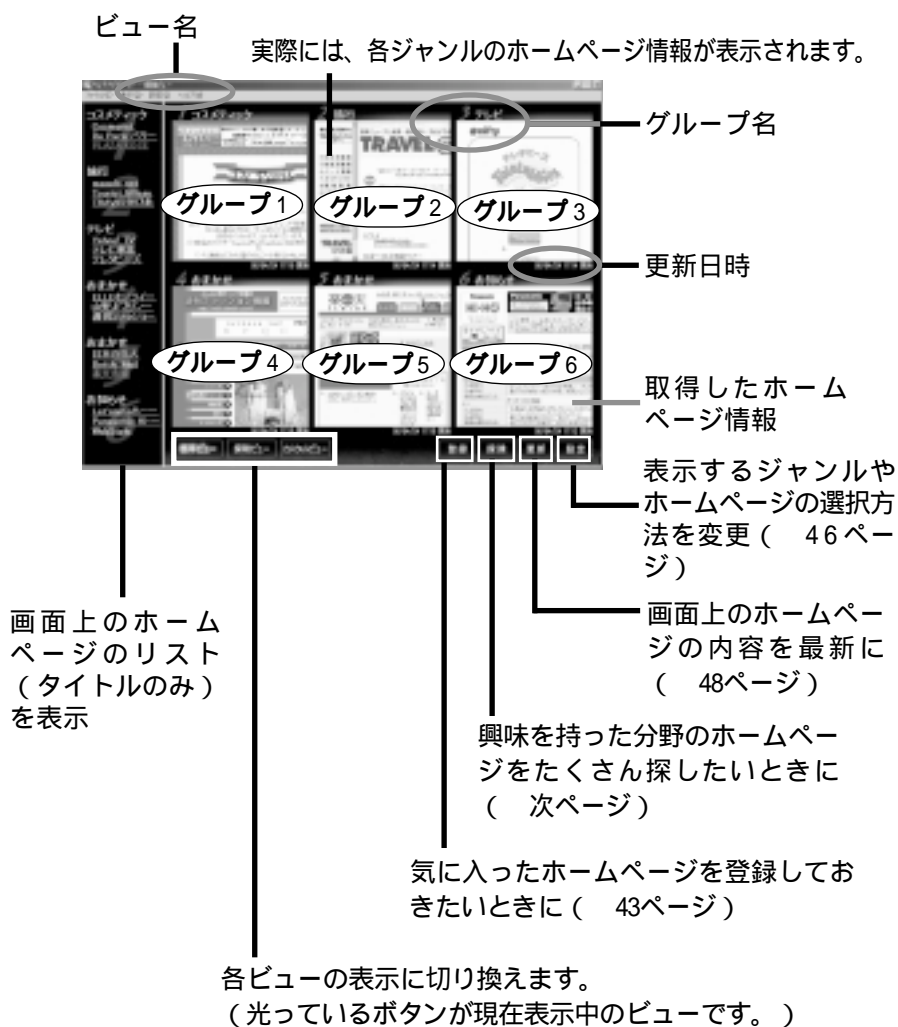
表示するジャンルやホームページの選択方法を変更（→46ページ）

画面上のホームページのリスト（タイトルのみ）を表示

画面上のホームページの内容を最新に（→48ページ）

興味を持った分野のホームページをたくさん探したいときに（→次ページ）

気に入ったホームページを登録しておきたいときに（→43ページ）

各ビューの表示に切り換えます。
（光っているボタンが現在表示中のビューです。）

◀この画面では、インターネットに接続していませんので、電話料金、接続料金はかかりません。（オフライン）

お願い

オンライン状態からホームページの更新を行った場合などは、取得後もオンライン状態が続きます。その場合は接続を切断し、オフライン状態にしてから閲覧するようにしてください。

◀１つのグループに、ホームページが３種類ずつ、一定間隔で順番に表示されます。（工場出荷時は約1秒間隔に設定されています。→49ページ）

それぞれのホームページを詳しく見る

いずれかのホームページをダブルクリックすると、「Internet Explorer」が起動し、その内容が開きます（通常、オフライン）。（→45ページ）

◀ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

ビューの切り換え

[探険]や[登録]を実行していない場合、探険ビュー、カスタムビューをクリックすると、ホームページの枠内は空欄になります。

各グループの「ホームページ選択方法」について

<おまかせ>

登録した性別、年齢やどのようなホームページをよく見ているかの記録などをもとに、コンピューターがあなたにあったホームページを選んで表示します。

<お知らせ>

当社の製品情報などをお知らせするホームページを表示します。

<その他>

グループ名が「おまかせ」「お知らせ」以外のグループでは、ジャンル別にホームページを表示します。表示するジャンルやホームページを変更することもできます。「おまかせ」や「お知らせ」と区別して、これらのグループを「ジャンル選択」グループといいます。

- グループ1～3は「おまかせ」、「お知らせ」に変更できません。
- グループ4～6は「ジャンル選択」、「おまかせ」、「お知らせ」に変更することができます。（→46ページ）

ウェブナビゲーターでホームページを見る

探険ビュー

興味を持ったホームページを選択して「探険」をクリックするだけで、６つのグループすべてに同じジャンルのホームページを探して取得することができます。

1 「標準ビュー」の画面から[探険]を実行する。

③ メッセージを確認して[はい]を クリック

④ ダイヤルアップの「接続」画面で[接続]を クリック

画面右側の「ホームページの更新」画面に取得中のホームページが表示されます。
更新終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

＜「探険ビュー」の画面＞

◀[探険]は「標準ビュー」の画面から行います。探険を行っても標準ビューのホームページ情報は消えません。「探険ビュー」にホームページ情報がある状態で探険を行うと、その内容は消えます。

その他の始めかた
「標準ビュー」で目的のページを右クリックして、「このホームページを探険」を選びます。

◀「自動的に接続する」にチェックマークを付けている場合、[接続]をクリックする必要はありません。

◀プロバイダー経由のホームページ取得はインターネットへ接続するため、接続料金、電話料金がかかります。（オンライン）

◀6つのグループすべてが同じジャンルになります。各グループを「おまかせ」や「お知らせ」に変更することはできません。

お願い

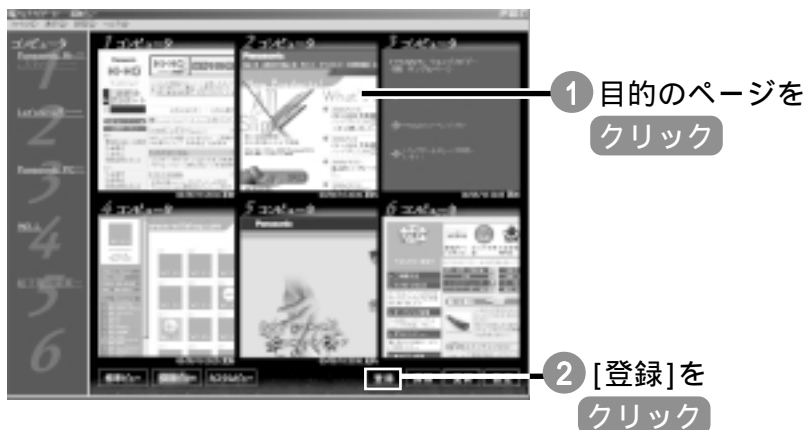
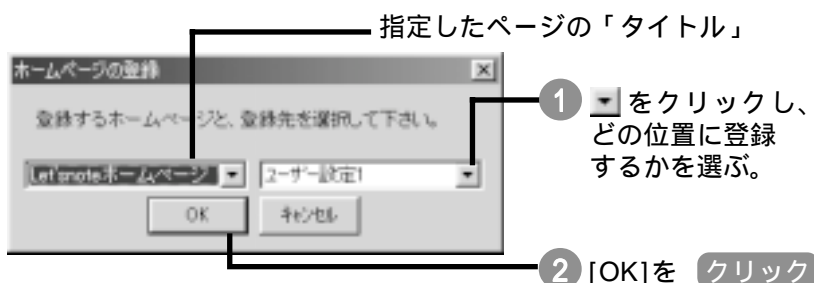
- オンライン状態からホームページの更新を行った場合などは、取得後もオンライン状態が続きます。その場合は接続を切断し、オフライン状態にしてから閲覧するようにしてください。
- 標準ビューに戻った後、再度[探険]を実行すると、前回の探険で取得した内容は消えてしまいます。
残しておきたいホームページは、カスタムビューに登録してください。

それぞれのホームページを詳しく見る
いずれかのホームページをダブルクリックすると、「Internet Explorer」が起動し、その内容が開きます（通常、オフライン）。（→45ページ）

カスタムビュー

標準ビューや探険ビューで見つけたホームページや、「Internet Explorer」（→34ページ）の「アドレス」や「お気に入り」など、あちこちにあるお気に入りのホームページを簡単な操作で「カスタムビュー」に登録できます。

＜「標準ビュー」「探険ビュー」のホームページを登録する場合＞

1 ホームページを登録する。

◀「標準ビュー」や「探険ビュー」でホームページの更新を行うと、異なるホームページが取得されます。気に入ったホームページは登録して残しておくことができます。

2 登録位置を指定する。

◀「タイトル」の右横の▼をクリックすると、そのグループ内のページのタイトル一覧が表示されます。目的のホームページを選び直すことができます。

◀「ユーザー設定1」～「ユーザー設定6」は「グループ1」～「グループ6」に対応します。

＜「カスタムビュー」の画面＞

その他の登録のしかた
「標準ビュー」または「探険ビュー」で目的のページを右クリックし、登録位置を[ユーザー設定1へ登録]～[ユーザー設定６へ登録]の中から選びます。この場合、各グループにあといくつ登録することができるかが表示されます。（最大４つまで）

◀1つのグループに登録できるホームページは４つまでです。すでに４つ登録されているグループに登録しようとすると、代わりにどのホームページを削除するかを選択する画面が表示されます。その画面で削除するホームページを選ぶか他のグループに登録するかしてください。

それぞれのホームページを詳しく見る
いずれかのホームページをダブルクリックすると、「Internet Explorer」が起動し、その内容が開きます（通常、オフライン）。（→45ページ）

（次ページへ続く）

ウェブナビゲーターでホームページを見る

カスタムビュー（つづき）

＜「Internet Explorer」のアドレス欄などから登録する場合＞

「Internet Explorer」のアドレス欄やお気に入りに登録したホームページから「カスタムビュー」にドラッグ＆ドロップするだけで、お気に入りのホームページを集めることができます。

❶ 登録したいURLを、目的のグループにドラッグ＆ドロップする。

＜Internet Explorerのアドレス欄からの場合＞

❷ メッセージを確認して、[OK]を クリック

❸ 登録したホームページを更新する。（→48ページ）

◀この方法でホームページを登録できるのは「カスタムビュー」だけです。「標準ビュー」や「探険ビュー」にドラッグ＆ドロップしてもそのホームページを登録できません。

◀1つのグループに登録できるホームページは４つまでです。必要に応じて、ホームページを削除してから登録してください。
登録されているホームページを削除する
→次ページ

◀URLを登録しても、更新を行わないと、そのホームページの内容や左側しおり欄の名称*は表示されません。
* 左側しおりの名称欄には「新しいホームページ」と表示される場合があります。更新を行うと、そのホームページの名称が表示されるようになります。

＜「カスタムビュー」のホームページを整理する＞

次のようにして簡単にホームページを移動できます。

❶ 移動したいページが表示されたときに矢印をあわせ、左ボタンを押す。

❷ 左ボタンを押したまま、移動先のグループ上へ矢印を移動し、左ボタンを離す。
（ドラッグ＆ドロップ）

❸ メッセージを確認して、[OK]を クリック

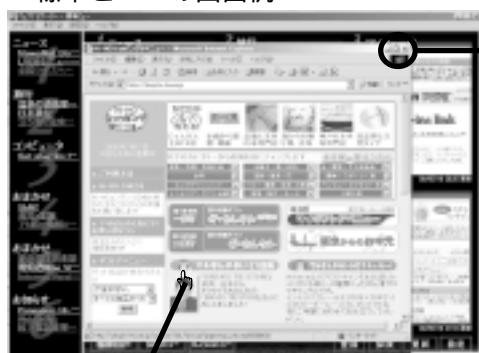
◀この方法でホームページを移動できるのは「カスタムビュー」だけです。

◀1つのグループに登録できるホームページは４つまでです。必要に応じて、移動先のグループのホームページを削除してください。
登録されているホームページを削除する
→次ページ

「Internet Explorer」で詳しく見る

標準ビュー/探険ビュー/カスタムビューでいずれかのホームページをダブルクリックすると、「Internet Explorer」が起動し、その内容が開きます。（通常、オフライン）

1. 目的のホームページが表示されたら、そのホームページ上を ダブルクリック

＜標準ビューの画面例＞

☒ をクリックすると、「Internet Explorer」を終了します。

矢印が の形に変わった所をクリックすると、その項目に関連する（リンク先の）ページが表示されます。

- 画面取得後に、実際のホームページが変更になり、指定したリンク先がない場合があります。その場合は、メッセージが表示されます。必要に応じて、ホームページの更新を行ってください。（→48ページ）
- 「データ更新中」と表示されることがあります。これは、どのようなホームページをよく見ているかの情報を集め、次回の標準ビューの「おまかせ」に生かすためです。

◀ホームページによってはインターネットへの接続が必要な場合があります。その場合、接続するかどうかを確認するメッセージが表示されます。また、Internet Explorerなどがすでに起動されていてオンライン状態の場合は、オンライン状態で開きます。

◀取得したホームページは特別なフォルダーにファイルとして一時的に蓄えられます。これらのファイルを消す*とInternet Explorerでホームページ情報を見ることができなくなります。

*「Internet Explorer」の[ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→[ファイルの削除]を実行するとファイルが消えます。また、ファイルが一定容量を超えると古いものから順に自動的に削除されます。

◀リンク先のページを表示する場合、インターネットに接続しますので、電話料金、接続料金がかかります。

（オンライン）

インターネットへ接続する際には、電話回線の接続を確認してください。（→23ページ）

◀Internet Explorerの使いかたについて詳しくは→34ページ

ホームページを削除する

標準ビュー/探険ビュー/カスタムビューで不要になったホームページを次のようにして削除できます。

1. 削除するホームページ上で右ボタンをクリックし、[このホームページを削除]を選択する。

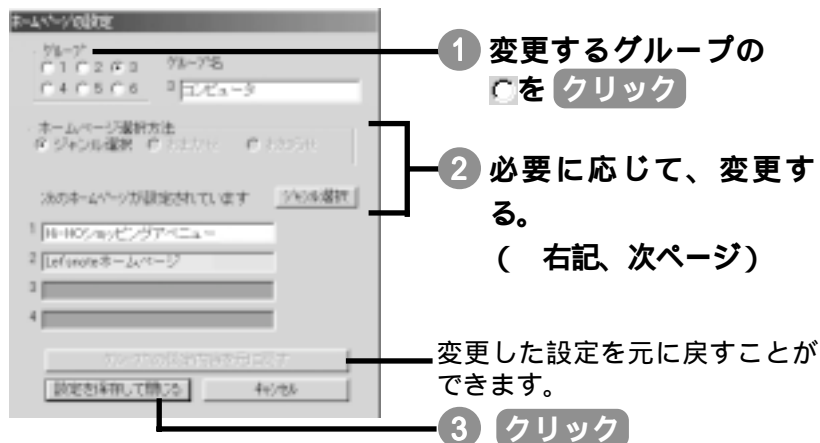
2. 確認のメッセージが表示されたら[OK]を クリック

ウェブナビゲーターでホームページを見る

表示するジャンルやホームページを変更する（設定）

各ビューで画面に表示するジャンルやホームページを、約60ジャンル、約500種類の中から選んで、変更することができます。
標準/探険/カスタムの各ビューによって、設定できる内容が異なります。

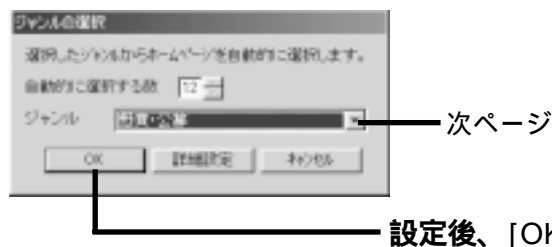
1 設定 — クリック

＜「標準ビュー」から始めた場合＞

① 変更するグループの ○を クリック

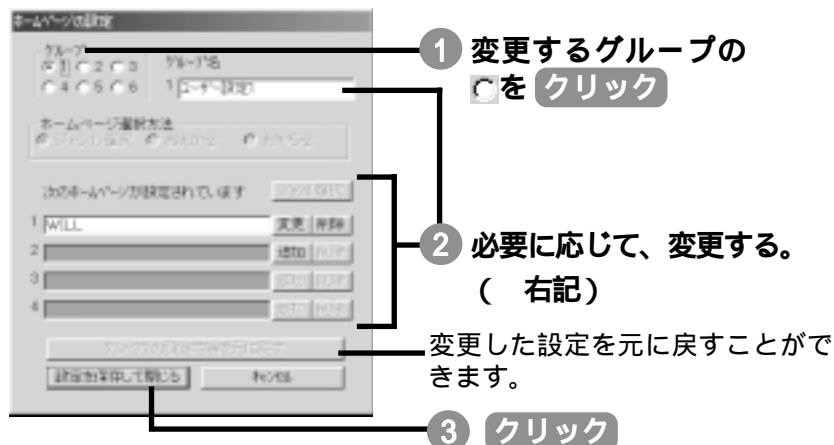
② 必要に応じて、変更する。（→右記、次ページ）

変更した設定を元に戻すことができます。

③ クリック

＜「探険ビュー」から始めた場合＞

次ページ

設定後、[OK]を クリック

＜「カスタムビュー」から始めた場合＞

① 変更するグループの ○を クリック

② 必要に応じて、変更する。（→右記）

変更した設定を元に戻すことができます。

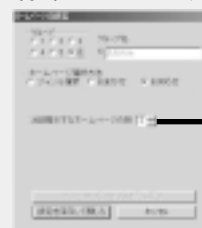
③ クリック

◀ウィンドウ左上の[設定]→[ホームページの設定]でも、左記の設定画面を表示することができます。

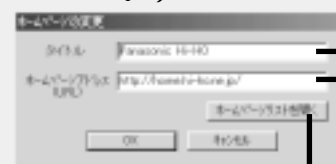
グループ
＜標準ビュー、カスタムビューのみ＞
設定を変更するグループの番号（画面上の6グループの位置と対応）を選びます。

グループ名
＜標準ビュー、カスタムビューのみ＞
選択中のグループのグループ名が表示されます。また「カスタムビュー」の場合のみ、グループ名を変更できます。（空白にすると、設定を保存できません。）

ホームページ選択方法
＜標準ビューのみ＞
各グループごとに表示するホームページの選択方法を変更できます。ただし「グループ」で1～3を選んだ場合、選択できるのは「ジャンル選択」のみです。また、「お知らせ」に設定できるのは、4～6の1つのグループのみです。

「おまかせ」または「お知らせ」を選んだ場合
＜標準ビューのみ＞

表示するホームページの数を選びます。

ホームページの変更・追加・削除
＜カスタムビューのみ＞
左記の画面で[変更]または[追加]をクリックすると次の画面が表示されます。

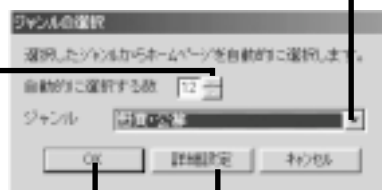
タイトルやURLを変更できます。（空白のままでは設定を終了できません。）

ここをクリックすると、あらかじめ登録されているホームページリストの中から選ぶことができます。

ジャンル選択について

＜標準ビュー、探険ビューのみ＞

（自動設定）

1 標準ビューの[設定]をクリックし、[ジャンル選択]をクリックする。または、探険ビューの[設定]をクリックする。（→前ページ）

2 ここをクリックして、ジャンルを選ぶ。

3 ここをクリックして、自動で選択するホームページの数を選ぶ。

4 [OK]をクリックする。

（詳細設定）

1 上記画面で、[詳細設定]をクリックする。

2 ここをクリックして、ジャンルを選ぶ。

3 目的のホームページにチェックマークを付ける。

4 [OK]をクリックする。

自動設定画面（→上記）に戻ります。

2 ジャンルなどを変更したグループのホームページ情報を更新する（→次ページ）。

◀グループのジャンルを変えることができます。

自動設定
選んだジャンルのホームページをコンピューターに自動的に選択させる場合に、その数を設定します。

詳細設定
自分でホームページを選択したい場合は、「詳細設定」を選択します。

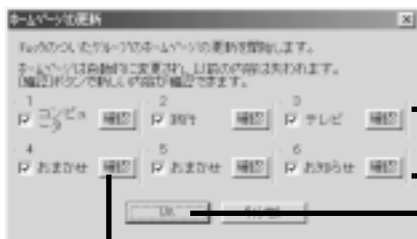
選択できるホームページの数
・標準ビュー：最大4個*
・探険ビュー：最大24個*
*ジャンルにより、登録されているホームページの数が選択できる最大数より少ない場合があります。

ウェブナビゲーターでホームページを見る

ホームページの更新

インターネットに接続し、表示中のビューのホームページ情報を更新することができます。ウェブナビゲーターの２回目以降の起動時に、必要に応じて更新してください。（URLがホームページの提供者側で休止、終了された場合、そのホームページを取得できなくなる場合があります。）

クリック

＜標準ビューでの操作例＞

❶ 更新しないグループがあれば、クリックしてチェックマークを外す。

❷ [OK]を クリック

標準ビューの場合のみ、２回目以降の更新時、[確認]ボタンが表示されます。クリックすると、新たに取得するホームページを確認できます。

＜[確認]をクリックしたときの画面例＞

「おまかせ」「お知らせ」の場合、取得するホームページを変更することができます。
（「ジャンル選択」では変更ボタンは表示されません。）

❸ 更新完了のメッセージが表示されたら[OK]を クリック

◀ホームページの更新は、インターネットに接続しますので、電話料金、接続料金がかかります。
インターネットへ接続する際には、電話回線の接続を確認してください。（→23ページ）

更新について
制限時間内（工場出荷時最長約14分*、１つのホームページあたり最長約１分以内）にすべて更新できなかった場合でも、途中までのデータは蓄えられます。そのため、２回目以降は同じページを速く更新できます。
*次ページの詳細設定で接続時間の制限（時間制限）を変更できます。

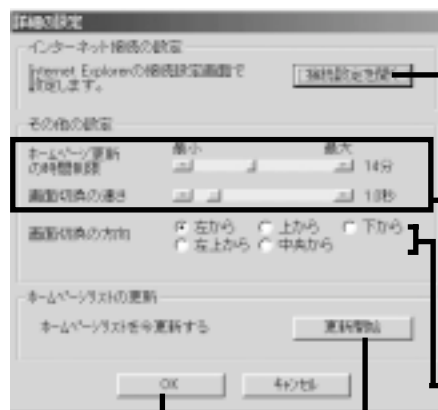
◀更新中、スクリーンセーバーは起動しません。

◀更新するとホームページは変更され、以前の内容は失われます。現状のホームページを残しておきたい場合、「カスタムビュー」の特定のグループに登録してそのグループは更新しないでください。（→43ページ）

使いかた　コミュニケーション

表示スピードや更新時の条件を変更する（詳細設定）

画面上でホームページが切り換わる速さを変えたり、ホームページ更新時のさまざまな条件を変更できます。また、最新のホームページリスト（URL集）に更新できます。

1. 「設定」を クリック
2. 「詳細設定」を クリック

ダイヤルアップの設定で設定されている接続先を選んだり、新しく接続先を設定したりすることができます。

◀▶をクリックするか、□をドラッグして設定します。
時間制限：3分〜30分
切り換えの速さ：0.5秒〜5.0秒

画面切り換えの表示方法を選びます。お好みに応じて変更してください。

インターネットに接続して、Hi-HOのホームページから最新のホームページリスト（URL集）を取得します。画面の指示に従って操作してください。

クリック

◀接続設定が正しくないと、ホームページを更新できません。「Internet Explorer」などを使って、変更後の設定でインターネットに接続できること確認した後、ウェブナビゲーターを起動してください。

◀ホームページのデータ量や更新時の回線の状態によっては、インターネットへ接続する時間を延長する必要がある場合があります。

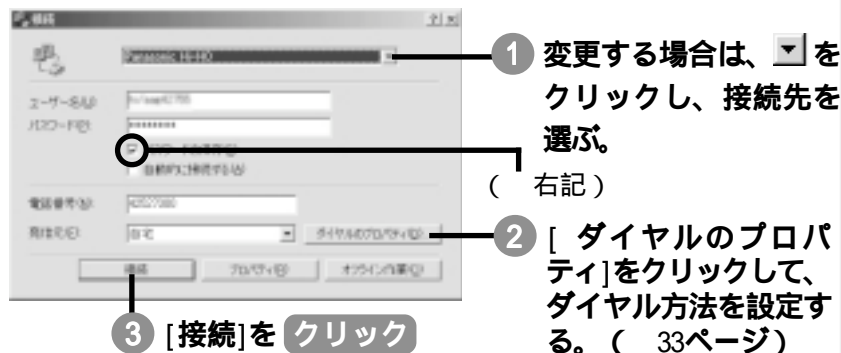
◀ホームページリストの更新は、インターネットに接続しますので、電話料金、接続料金がかかります。
URL集は、データ料金なしで取得できます。

電子メールを送受信する

通信機器を接続し、プロバイダーに加入し、通信の設定が終わったら（→23〜29ページ）、メールソフトの「Outlook™ Express（アウトルックエクスプレス）」を使って、メールを送受信してみましょう。

◀以降Outlook Expressと記載します。

電子メールを送信する

1 デスクトップの「Outlook Express」アイコンをダブルクリックする。

❶ 変更する場合は、▼をクリックし、接続先を選ぶ。

（→右記）

❷ [ダイヤルのプロパティ]をクリックして、ダイヤル方法を設定する。（→33ページ）

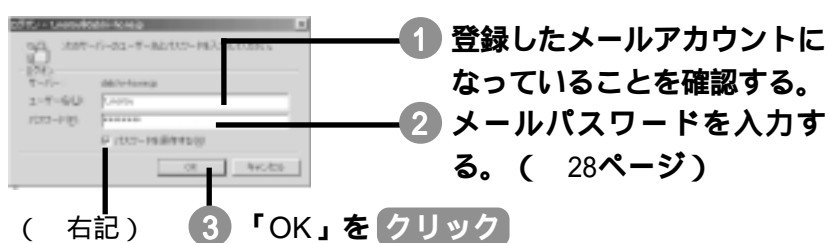
❸ [接続]を クリック

◀自分で新しく設定したダイヤルアップ接続を選ぶこともできます。その接続を初めて使用する場合には、ユーザー名とパスワードに何も表示されませんので、自分で入力してください。パスワードはセキュリティ保護のため「*」で表示されます。
（ダイヤルアップ接続の作成方法→30ページ）

◀左記は、「インターネットスタータ一」により自動作成された「Panasonic Hi-HO」を使用する場合を例にしています。

❶ 登録したメールアカウントになっていることを確認する。

❷ メールパスワードを入力する。（→28ページ）

（→右記）

❸ 「OK」を クリック

パスワードを保存する
チェックマークを付けると、次回接続時からパスワードを入力する手間が省けます。ただし、パスワードを知らない人でも接続可能になりますので、注意してください。

2 メッセージを作成する画面を表示する。

<初期画面>

「メッセージの作成」を クリック

◀購入後初めてOutlook Expressを起動すると、「デフォルトのメールクライアントが設定されていないか現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります・・・」と表示されます。[OK]をクリックし、そのまま操作を続けてください。

◀「Outlook Expressは通常使用するメールクライアントとして選択されていません。通常使用するメールクライアントとして選択しますか？」と表示される場合は、[はい]を選択してください。

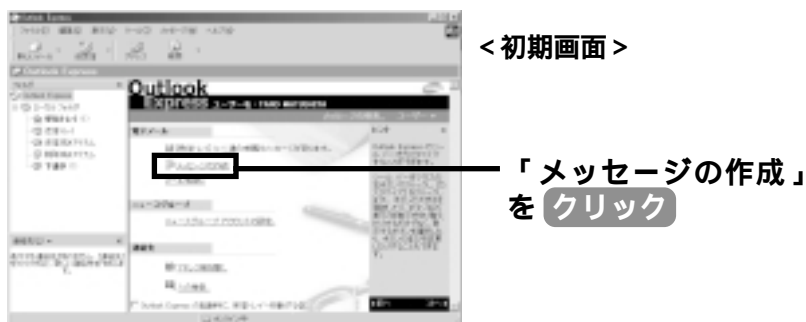
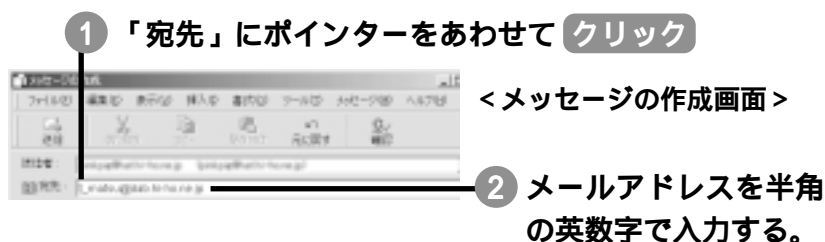
3 「宛先」を入力する。

❶ 「宛先」にポインターをあわせて クリック

<メッセージの作成画面>

❷ メールアドレスを半角の英数字で入力する。

◀最初は試しに自分宛にメールを送ってみましょう。

◀ Alt ＋ 半角/全角 を押して英数字入力モードに切り換えると、英数字を入力できるようになります。

メールアドレスに使われる記号の入力方法

・アットマーク（@）は @ 、ピリオド（．）は ＞ . る 、ハイフン（-）は = - ほ

・アンダーバー（＿）やチルダ（～）については→35ページ

4 「件名」を入力する。

❶ ポインターをあわせて クリック

❷ 件名（タイトル）を入力する。

5 「本文」を入力する。

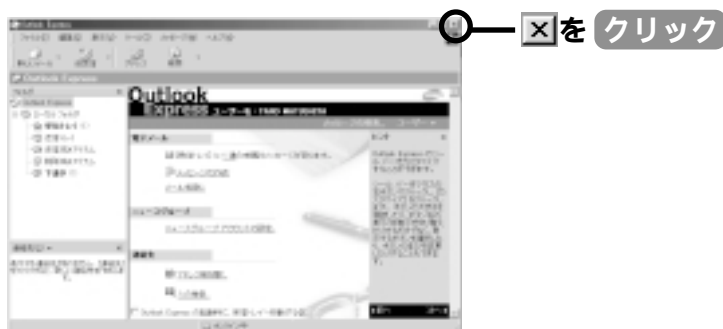
❶ ポインターをあわせて クリック

❷ 本文を入力する。

6 送信する。

[送信]を クリック

送信中はこのマークが回転します。回転が止まるまでOutlook Expressを終了しないでください。終了すると、送信されません。

＜「Outlook Express」を終わるには＞

☒を クリック

「今すぐ切断する」を クリック

◀電子メールには、半角のカタカナと丸付き数字（①②）などの特殊文字は使わないでください。相手先で読めなくなる場合があります。必ず、前ページ手順*2*の画面で、[ツール]→[オプション]→[送信] をクリックして「テキスト形式」にチェックマークを付けておいてください。

◀オフライン状態で[送信]ボタンをクリックするとメールは[送信トレイ]に入ります。[送受信]ボタンをクリックすると前ページ手順*1*の画面が表示されます。

◀送信と同時にメッセージの作成画面を終了し、「Outlook Express」の初期画面に戻ります。

送信トレイにメールを入れるには
[送信]ボタンをクリックするかわりに、メッセージの作成画面で[ファイル]→[後で送信する]をクリックしてください。

[送信トレイ]の中のメールの送信
[送受信]ボタンをクリックすると送信されます。
また、Outlook Express終了時に[送信トレイ]にメールが残っている場合は、送信するかどうかの確認メッセージが表示されます。

◀「自動切断」画面は、他の画面の後ろに隠れてしまうことがあります。その場合、タスクバーの「自動切断」をクリックしてください。

◀すでにインターネットに接続している状態でOutlook Expressを起動した場合、「自動切断」画面が表示されません。手動で接続を終了してください。

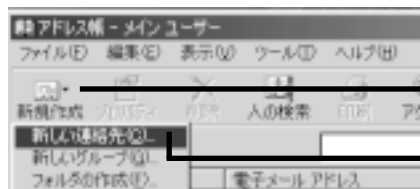
アドレス帳を利用する

よくメールを送る相手のメールアドレスは、アドレス帳に登録しておくと便利です。

アドレス帳に登録する

1 「Outlook Express」の初期画面を表示する。
(→50ページ)

[アドレス]を クリック

2 アドレス帳に新規登録する。

❶ [新規作成]を クリック

❷ [新しい連絡先]を クリック

❶ 「姓」「名」を入力する。

❷ メールアドレスを入力する。

❸ [追加]を クリック

❹ [OK]を クリック

3 アドレス帳を終わる。

✕を クリック

登録したアドレス

◀メッセージの作成画面からアドレス帳に登録する場合は、「ツール」→「アドレス帳」を順にクリックしてください。

◀受信メール一覧画面(→55ページ)でも[アドレス]をクリックしてアドレス帳に登録することができます。

◀Alt + 半角/全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。

◀表示名
「姓」と「名」の欄に入力した内容がそのまま「表示名」に表示されます。必要に応じて変更してください。「表示名」は、アドレス帳からメールアドレスを入力したときに、「宛先」として表示されます(→次ページ)。

使いかた

コミュニケーション

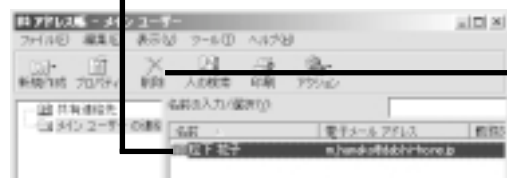
登録したメールアドレスを入力するには

1 「Outlook Express」のメッセージの作成画面を表示する。
（→50ページ）

2 アドレス帳のメールアドレスを宛先に入力する。

アドレス帳からメールアドレスを削除するには

1 アドレス帳の画面を表示する。（→前ページの手順*1*）

① 削除するアドレスを クリック

② [削除]を クリック

③ 確認メッセージが表示されたら[はい]を クリック

2 アドレス帳を終わる。

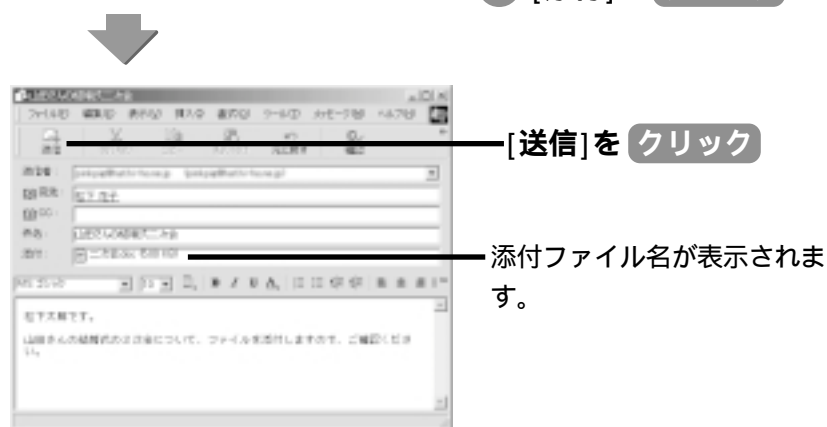
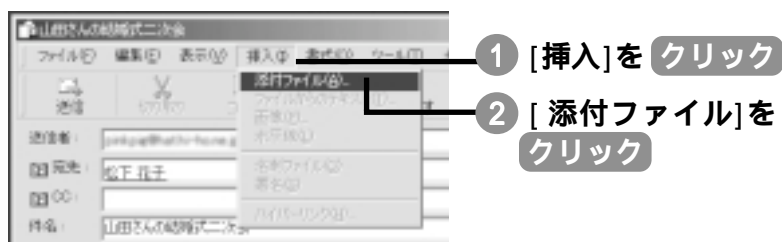
使いかた

コミュニケーション

メールにファイルを添付して送る

まとまった量の文書や画像の入った文書をメールに添付して送ることができます。

1 メッセージの作成画面を表示し、宛先、件名、メッセージを入れる。（→50、51ページ）

2 ファイルを添付する。

◀「マイ ドキュメント」フォルダーに保存したファイルを添付する例で説明します。

◀「Outlook Express」を終わるには→51ページ

◀「メッセージの作成画面」のみを開いた状態で、添付ファイル付きのメールを送信すると、送信後自動的に切断するように設定していても、切断の確認画面が表示される場合があります。このときすでに接続は切断されています。「今すぐ切断する」をクリックしてください。

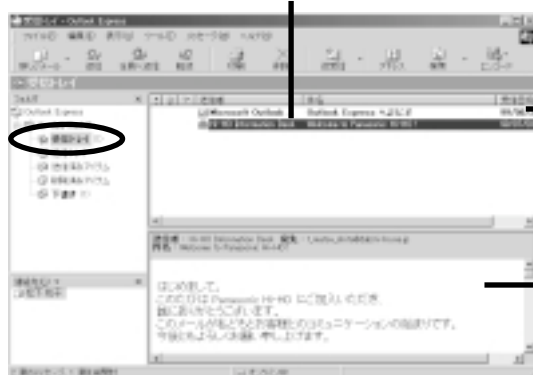
電子メールを受信する

1 「Outlook Express」の初期画面を表示する。
（→50ページ）

❶「送受信」を クリック
メールを受信すると同時に、「送信トレイ」にメールがある場合は、送信します。

❷[メールを読む]を クリック

2 受け取ったメールを読む。

<受信メール一覧画面>
目的のメールの件名を ダブルクリック

未読メールは太字で表示されます。

反転しているメールの一部が表示されます。

メールを読み終わったら ☒ を クリック

▼ ▲ で上下に隠れている部分を読んでください。

トレイの種類
- 受信トレイ
  受信したメールが保管されます。（左記画面）
- 送信トレイ
  作成したメールを一時的に保管する場所です。複数個のメールが送信トレイにたまったら[送受信]をクリックして、まとめてメールを送信できます。
  （送信トレイにメールを入れるには→51ページ）
- 送信済みアイテム
  送信したメールが保管されます。
- 削除済みアイテム
  削除したメールはここに一時保管されます。（→下記）

◀表示するトレイを変更する場合、目的のトレイをクリックしてください。

添付ファイルを受け取ったら

添付ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って添付ファイルを開くか、保存するかしてください。その際はウィルスチェックプログラムを常駐させておくことをおすすめします。

受け取ったメールを削除するには

受信メール一覧画面で削除したいメールに矢印をあわせて、 Del を押すか[削除]ボタンをクリックします。その時点で、削除済みアイテムに一時保管されます。
削除済みアイテムからも削除するにはそのメールに矢印をあわせて、 Del を押すか[削除]ボタンをクリックしてください。また、「Outlook Express」終了時にまとめて削除するよう設定することもできます。

受け取ったメールに返事を出すには

受信メール一覧で[返信]ボタンをクリックします。

イラストメールを送信する

イラストメール機能を使って、文字で形作られたイラストサンプルの中から好きなイラストを選んで、電子メールで送ってみましょう。
たくさんのイラストサンプルの中から、用途やそのときの気分に合ったものを選ぶことができます。また、イラストの登録や削除を自由に行い、自分専用のイラスト集を作ることもできます。

◀選んだイラストは、いったんクリップボードにコピーして文書に貼り付けることもできます。

イラストメールを送信する

ここでは、選んだイラストを電子メールに挿入して送信するまでの手順について説明します。

1 使用するメールソフトの環境を設定する。

使用するメールソフトで、フォントを「MSゴシック」などの等幅フォントに設定し、送信の形式をテキスト形式に設定してください。
また、[E-メール]ボタンを使ってメールソフトを起動するには（→61ページの手順7）、メールソフトをMAPI対応に設定しておく必要があります。

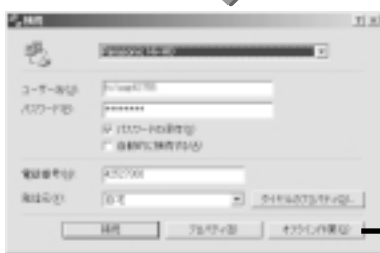
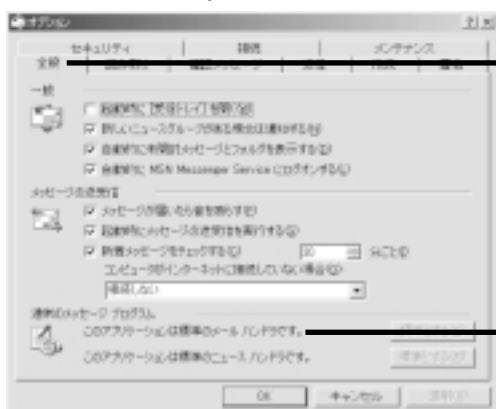
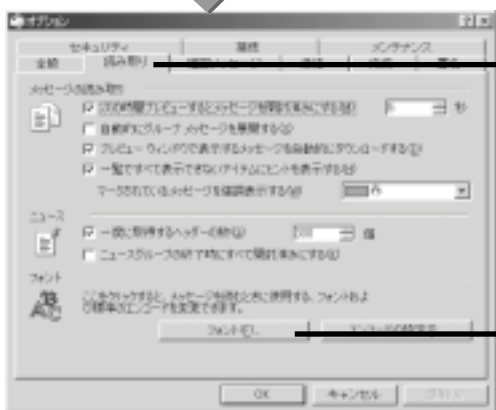
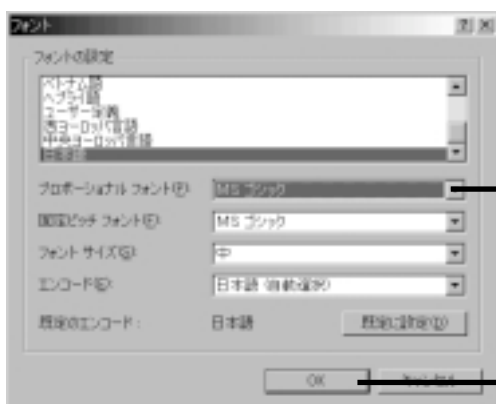
◀字詰めを行う「MS Pゴシック」などを使用すると、イラストがくずれる場合があります。また、HTML形式に設定していると、一部の文字が別の制御コードに変換され、イラストが正しく表示されないことがあります。

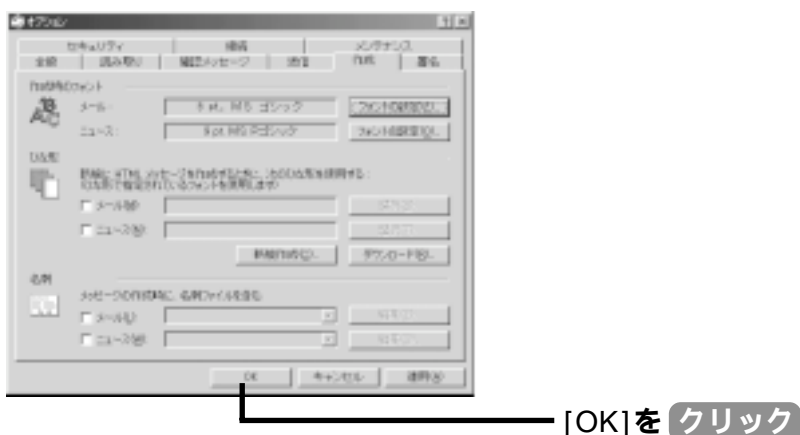
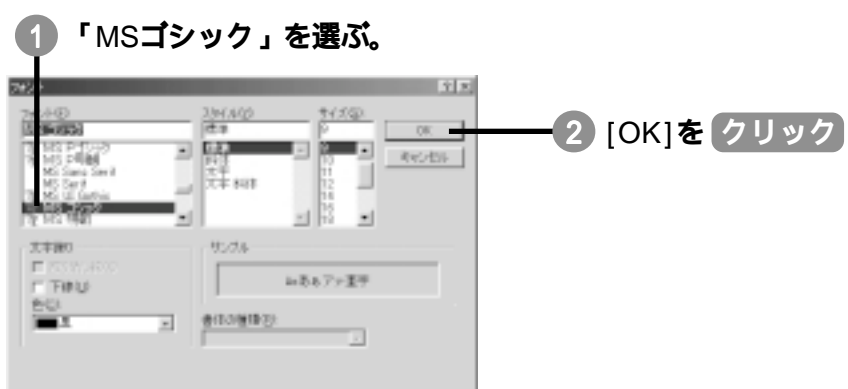
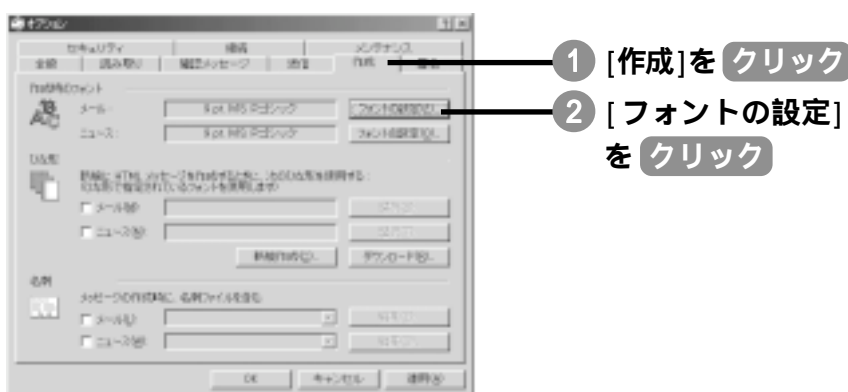
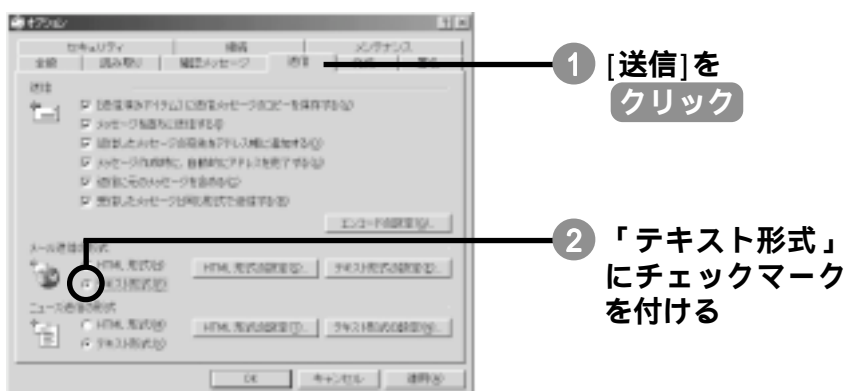
MAPI対応の設定
メールソフトによっては、はじめからMAPI対応になっているものもあります。また、MAPI対応にはできないものもあります。

◀その他の主なメールソフトについては、イラストメール画面で[ヘルプ]→[イラストメールのヘルプ]をクリックして、「表示フォントの設定方法」と「MAPIの設定方法」をご覧ください。

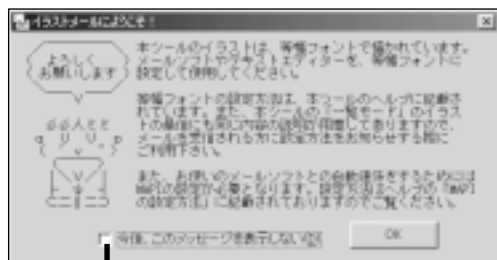
<Outlook Express （Ver.5.5）を使用する場合の設定方法>

（次ページへ続く）

用 語

MAPI (Messaging API) ：電子メッセージングアプリケーションソフトのための標準システムインターフェースのことで、アプリケーションソフトが個別に持っている情報を一元的に管理します。

◀ [通常のメッセージプログラム] に「このアプリケーションは標準のメールハンドラではありません。」と表示されている場合は、[標準とする] をクリックしてください。（MAPI対応に設定されます。）

（次ページへ続く）

イラストメールを送信する

使いかた

コミュニケーション

2 デスクトップの[イラストメール]アイコンをダブルクリックする。

次回起動時からこの画面を表示したくなければ、
ここにチェックマーク✓を付ける。

◀[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[イラストメール]をクリックしても、起動することができます。

3 画面の説明を読んで、[OK]をクリックする。

イラストのジャンルを示す「フィーリングマップ」を切り換えます。

表示中のイラストをクリップボードにコピーします。

電子メールのメッセージ作成画面を起動します。

イラストの候補を表示します。

自分でテキストイラストを作り、登録します。

◀ここでコピーしたイラストは、メールソフトのメッセージ作成画面やワードパッドの文書などに「貼り付け」や「ペースト」機能を使って挿入することができます。

4 [フィーリングマップ]をクリックして、マップの種類を選ぶ。

マップには、下記の3種類があります。

春夏秋冬：季節にあったイラストを選ぶことができる。
喜怒哀楽：感情や感性にあったイラストを選ぶことができる。
用途別　：「祝福」や「案内」など様々な用途にあったイラストを選ぶことができる。

◀[フィーリングマップ]をクリックするごとに、3種類のマップが順に切り換わります。

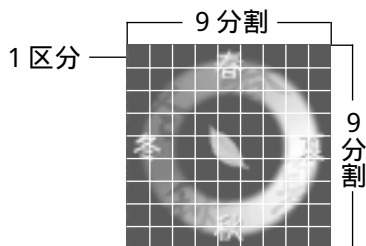
5 フィーリングマップ上をクリックしてイラストを選ぶ。

例えば「春」と表示された周辺をクリックすると、春らしいイラストを選ぶことができ、「夏」と表示された周辺をクリックすると、夏らしいイラストを選ぶことができます。

◀クリックした位置にポインター（、、）が移動します。

イラストメールを送信する

フィーリングマップの区分について

各区分に対して、複数個のイラストが登録されています。
[次候補]をクリックすると、選んだ区分に登録された次の候補が表示されます。[前候補]をクリックすると1つ前の候補が表示されます。

◀ ポインター（✎、♡、○）は、←、→、↑、↓で各区分ごとに移動させることもできます。

「春夏秋冬」の場合

「喜怒哀楽」の場合

「祝福」「案内」など用途別の場合

学習機能について

学習機能とは、使用頻度の高いイラストが優先的に表示されるように、フィーリングモードでの表示順序を入れ替える機能です。一覧モード（→下記）の順番は入れ替えません。学習機能を使用する場合は、イラストメール画面で[設定]→[学習ON]をクリックしてチェックマークを付けてください。工場出荷時には学習ONに設定されています。

＜表示順序を工場出荷時の状態に戻すには＞
イラストメール画面で[設定]→[学習内容のリセット]をクリックしてください。ただし「学習ON」にチェックマークが付いていない状態では、「学習内容のリセット」を選ぶことができません。

一覧モードでイラストを選ぶ方法

表示モードを切り換えてイラストを一覧から選ぶこともできます。

①[表示]→[一覧モード]をクリックする。
　イラストが一覧で表示されます。[次ページ][前ページ]をクリックすると、ページ単位で画面表示が切り換わります。

②好きなイラストをクリックする。または、←、→、↑、↓を使って選ぶ。
　選択されたイラストは青色の枠で囲まれます。
　フィーリングモードに戻したい場合は、[表示]→[フィーリングモード]をクリックしてください。

6 [設定]をクリックし、「E-メール連携ON」にチェックマーク✓が付いていることを確認する。

工場出荷時には、すでにチェックマークが付けられています。

◀ チェックマークが付いていない場合は、「E-メール連携ON」を選んでチェックマーク✓を付け、確認のメッセージが表示されたら[OK]をクリックしてください。

お願い

[E-メール]ボタンを使ってメールメッセージ作成用画面を起動したい場合は、必ず「E-メール連携ON」にチェックマークを付けてください。

7 [E-メール]をクリックする。

確認のメッセージが表示された場合は、内容を確認のうえ、[はい]をクリックしてください。
選んだイラストが挿入された状態で、メールメッセージ作成用の画面が起動します。

(例)「Outlook Express」を使用する場合

お願い

[E-メール]ボタンを使ってメールメッセージ作成用画面を起動するには、メールソフトをMAPI対応に設定しておいてください。(→56、57ページ)

◀ [E-メール]ボタンを使用時には、メールメッセージ作成用画面に署名を自動で追加することはできません。

◀ [コピー]をクリックすると、選んだイラストがクリップボードにコピーされます。2つ以上のイラストをメッセージに挿入する場合や、イラストを文書に貼り付ける場合などにご利用ください。

8 宛先、メッセージ等を書き加えて、メールを送信する。

◀ 送信のしかたなどについて詳しくは50ページをご覧ください。

テキストイラストを挿入した文書を読む

- フォントを「MSゴシック」などの等幅フォントに設定しておく必要があります。字詰めを行う「MS Pゴシック」などを使用すると、イラストがくずれる場合があります。
  イラストサンプルの中に、主なメールソフトの等幅フォントの設定についての説明文を用意しています。(一覧表示モードの最後のほうにあります。)テキストイラストをはじめて読むかたには、メッセージにその説明文を挿入して送ると便利です。内容は[ヘルプ]→[イラストメールのヘルプ]の「表示フォントの設定方法」と同じです。
- 一部のメールソフトやワープロソフト、また携帯電話のメール機能では、連続するスペースを省略するなど自動的に文字列を変換するものがあります。その場合、等幅フォントに設定しても、イラストが正しく表示されないことがあります。

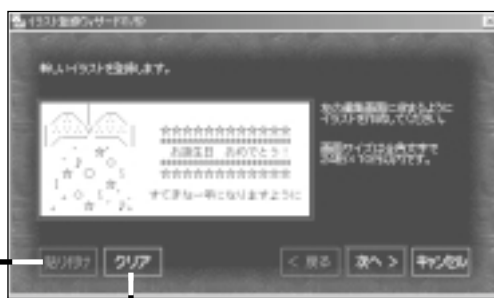
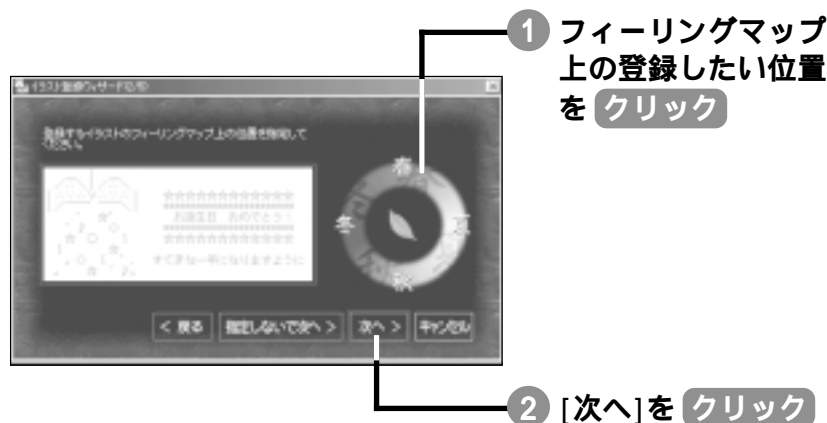
イラストメールを送信する

自分専用のテキストイラスト集を作る

自分で作成（変更）したイラストを登録する

1 フィーリングモードまたは一覧モードから元となるイラストを選んで（59ページ手順2〜59ページ手順5）、[登録]をクリックする。

2 イラストを編集する。

他のテキストエディター（メモ帳など）で作成したテキストイラストを登録したい場合には、いったんそのイラストをクリップボードにコピーした後、[貼り付け]を クリック

表示されているイラストを削除して、新規にイラストを作成する場合は、[クリア]を クリック

◀ 桁数：全角24文字、行数：10行の範囲内で編集してください。
また、半角カタカナ、ローマ数字、丸数字や一部の記号など、通常、電子メールソフトで正しく表示されない文字は使用しないでください。
送信したイラストが正しく表示されない場合があります。

3 イラストが完成したら、[次へ]をクリックする。

◀ 1つ前の画面に戻るには、[戻る]をクリックしてください。
◀ 登録操作を途中で中断して終了するには、[キャンセル]をクリックしてください。

4 「春夏秋冬」のマップ上に登録する。

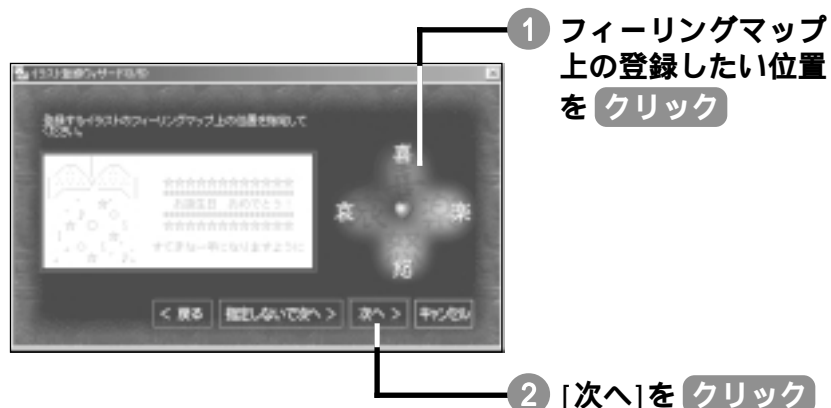
① フィーリングマップ上の登録したい位置を クリック

② [次へ]を クリック

◀ 表示されているマップに登録しない場合は、[指定しないで次へ]をクリックしてください。

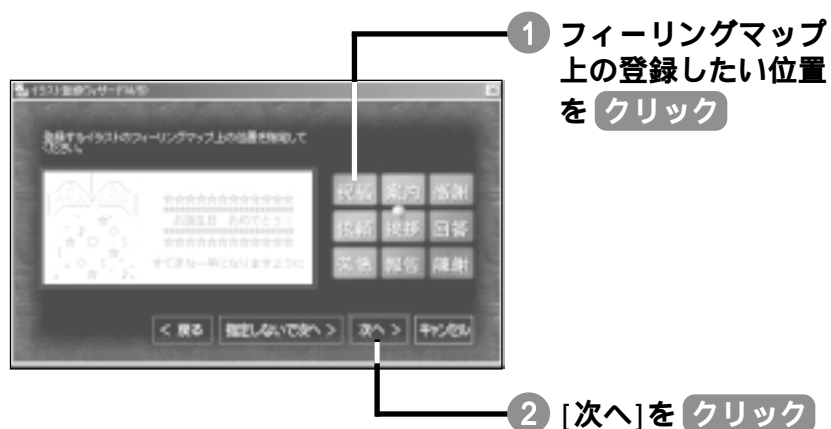
使いかた
コミュニケーション

5 「喜怒哀楽」のマップ上に登録する。

1 フィーリングマップ上の登録したい位置を クリック

2 [次へ]を クリック

◀ 表示されているマップに登録しない場合は、[指定しないで次へ]をクリックしてください。

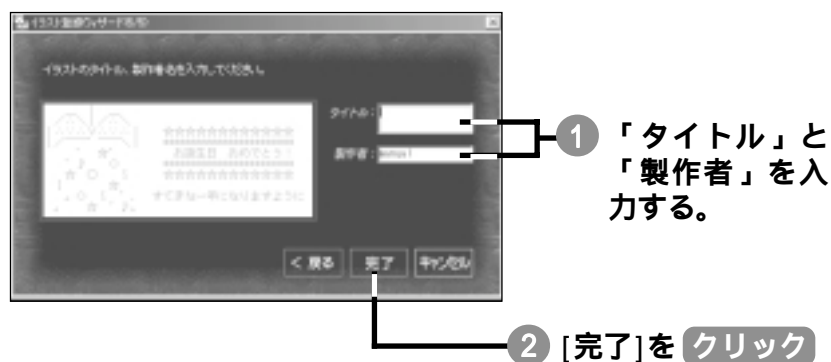
6 用途別のマップ上に登録する。

1 フィーリングマップ上の登録したい位置を クリック

2 [次へ]を クリック

◀ 表示されているマップに登録しない場合は、[指定しないで次へ]をクリックしてください。

7 イラストにタイトルなどを付ける。

1 「タイトル」と「製作者」を入力する。

2 [完了]を クリック

◀ 「タイトル」は全角16文字以内、「製作者」は全角8文字以内で入力してください。

◀ 最初、「製作者」にはWindowsのログイン名が表示されています。

フィーリングマップ上の指定した位置に、イラストが登録されます。
一覧モードでは、一番最後の位置に登録されます。

イラストメールを送信する

登録されているイラストを削除する

1 フィーリングモードまたは一覧モードから、削除したいイラストを選んだ状態で、[編集]→[イラスト削除]をクリックする。

2 確認メッセージが表示されるので、よければ[はい]をクリックする。

お願い

一度削除したイラストを、元に戻すことはできません。よく確認してから削除してください。

省電力機能を使う

外出先などコンセントのない場所では、コンピューターをバッテリーだけで使うことが多くなります。次のようなことに注意して、バッテリーを効率よく使いましょう。

省電力機能のコツ

●使わないときは電源を切る　→取扱説明書『セットアップ編』

● Fn + F1 でディスプレイの明るさを調整（暗く）する→100ページ

● Fn + F7 でスタンバイ状態、または Fn + F10 で休止状態にしてから席を外す→21ページ
操作を再開するときは、電源スイッチを押してください。

●「電源の管理」で省電力機能を設定する　→下記
しばらくの間コンピューターを放置したときに自動的にスタンバイや休止状態に入ったり、LCDやハードディスクドライブの電源を切ったりすることができます。

お願い
データの転送中などは、スタンバイや休止状態に入らないでください。（→21ページ）

「電源の管理」の省電力機能

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を クリック

2 [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]を クリック （「電源の管理」アイコンが表示されていない場合のみ）

3 [電源の管理]を ダブルクリック

◀タスクバーの「電源の管理」アイコン（ACアダプター接続時）または（バッテリーで使用時）を右ボタンでクリックし、「電源のプロパティの調整」をクリックしても起動することができます。

4 [電源設定]タブを クリック

「電源設定」から選ぶ

① ▼をクリックして、「ホーム/オフィスデスク」「ポータブル/ラップトップ」「常にオン」の中から選択します。

② [OK]を クリック

◀工場出荷時は「ポータブル／ラップトップ」に設定されています。

お願い
システムスタンバイなどのタイムアウト機能の設定を変更した後、再度、工場出荷時の設定に戻す場合は、次ページを参照して設定しなおしてください。

使いかた
モバイル

省電力機能を使う

「電源設定」の工場出荷時の設定は以下のとおりです。

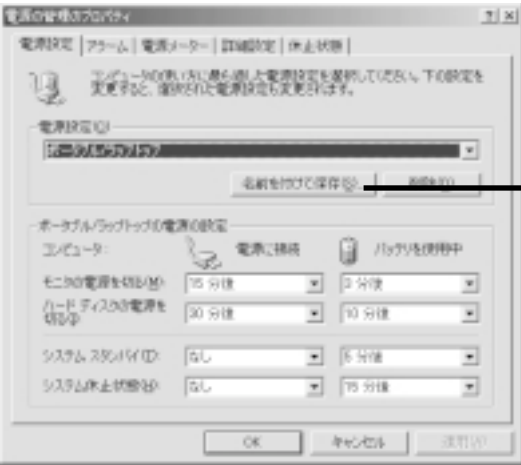
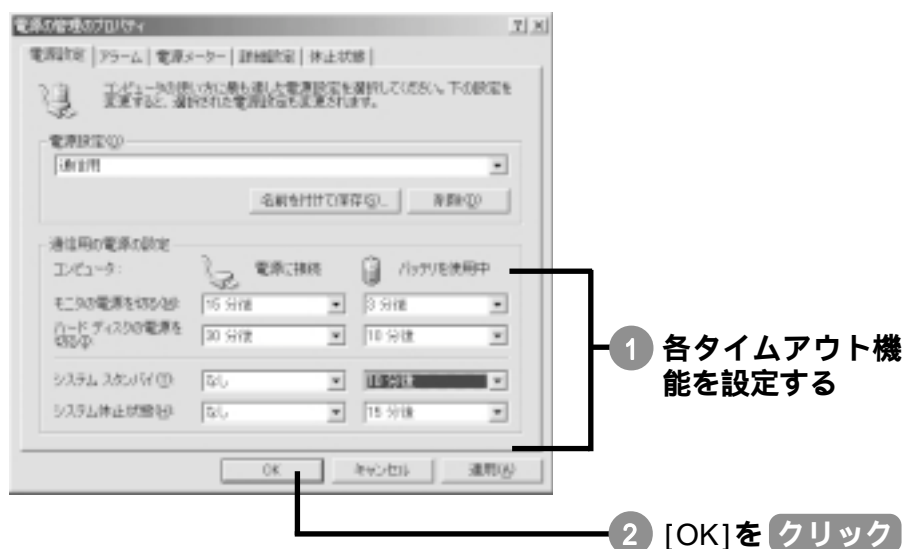
・「ポータブル／ラップトップ」

項目	電源に接続	バッテリ使用
モニタの電源を切る	15分後	3分後
ハードディスクの電源を切る	30分後	10分後
システムスタンバイ	なし	5分後
システム休止状態	なし	15分後

お願い

「コントロールパネル」の「画面」でスクリーンセーバーを設定する場合は、「モニタの電源を切る」を「なし」に設定してください。
「なし」以外に設定すると、ディスプレイの電源が正常に復帰しなかったり、スタンバイや休止状態から正常にリジュームできなかったりする場合があります。

「電源設定」を追加する

「電源設定」を追加して、タイムアウト機能を新しく設定することができます。

各タイムアウト機能について

<モニタの電源を切る>
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、ディスプレイの電源を切ります。ディスプレイの電源を入れるときは、キーボードやマウスを操作してください。

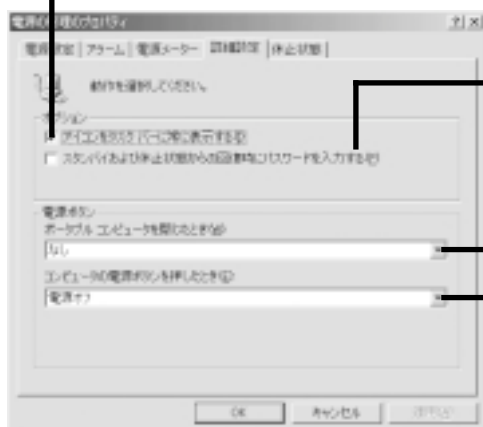
<ハードディスクの電源を切る>
コンピューターを放置してから、設定した時間後に*、ハードディスクの電源を切ります。ハードディスクの電源を入れるときは、ハードディスクへのアクセスが必要です。
* 設定した時間が経過してもハードディスクの電源が切れない場合、Windowsにより自動的にハードディスクへのアクセスが発生したと考えられます。

<システムスタンバイ>
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、使用中の画面やファイルをメモリー内に保存します。操作を再開するときは、電源スイッチをスライドしてください。

<システム休止状態>
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、使用中の画面やファイルをハードディスク内に保存し、すべての電源を切ります。操作を再開するときは、電源スイッチを押してください。

省電力機能を使う

「詳細設定」画面

左側の□にチェックマークを付けると、タスクバーに「電源の管理」アイコンが表示されます。

左側の□にチェックマークを付けると、スタンバイおよび休止状態からのリジューム時にパスワード入力が要求されます。（→21ページ）

→11ページ

→11ページ

◀「電源の管理のプロパティ」の「詳細設定」タブをクリックすると、左記の画面が表示されます。
◀工場出荷時には、表示するように設定されています。

◀工場出荷時には、設定されていません。

使いかた

モバイル

バッテリーパックを使う

ここでは、バッテリーパックの取り扱いについての注意事項や取り付けかた、充電のしかたなどについて説明します。

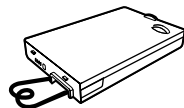
バッテリーパックに関する注意　⚠危険

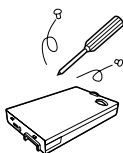
火中に投入したり加熱したりしない

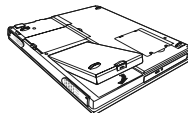
液漏れ･発熱･破裂の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

液漏れ･発熱･破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

液漏れ･発熱･破裂の原因になります。

分解したり改造したりしない

液漏れ･発熱･破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-G1シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ･発熱･破裂の原因になります。

取り扱い上のお願い

- 交換用のバッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをお薦めします。
- 水などで濡らさないでください。端子がさびる原因となります。
- 端子部分には触れないでください。端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。
- 万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服についた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

使用温度についての留意点

- 使用環境温度5 ℃～35 ℃の範囲で操作してください。
  使用環境温度が低い場合、バッテリーの稼働時間が短くなります。
- 通常の使用時にあたたかくなることがありますが、異常ではありません。

バッテリーパックを使う

取り付けかた/取り外しかた

本機で使用できるバッテリーパックは、付属のバッテリーパックと以下の別売りのバッテリーパックです。
別売りバッテリーパック
・バッテリーパック　　　：品番　CF-VZSU18J（同等品が付属）

お願い
指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。

1 操作を終わり、電源が切れたことを確認してACアダプターを取り外す。

2 本体を裏返す。

3 バッテリーパックを取り付ける／取り外す。
<取り付ける場合>

バッテリーパックをコネクターのない側から挿入し、カチッと音がするまで矢印の方向に軽く押し込む。

<取り外す場合>

ラッチを矢印の方向に押さえたまま、つまみを持ってバッテリーパックを取り外す。

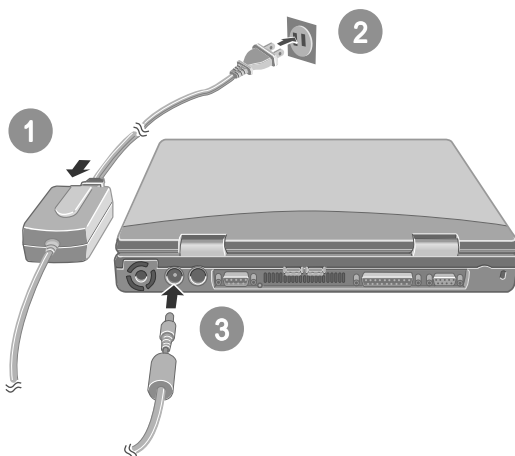
不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

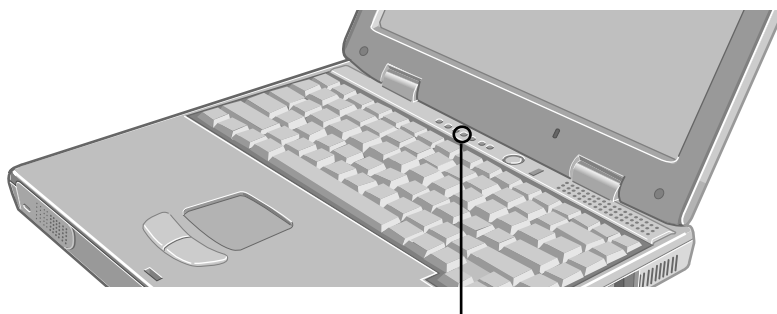
使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
・お買い上げの販売店、または最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
詳しくは、社団法人電池工業会にご確認ください。
電話：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp/
2000年7月現在

充電のしかた

付属のバッテリーパックは、工場出荷時には充電されていません。
コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

1 ACアダプターを接続する。

◀ACアダプターを取り外す場合は、❸→❷→❶の手順で行ってください。

2 充電状態を確認する。

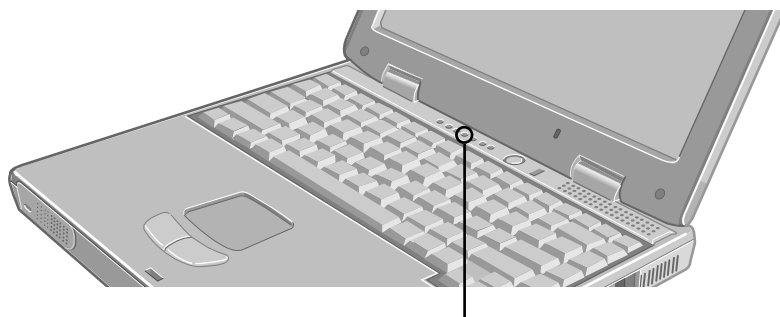
バッテリー状態表示ランプ

◀充電が完了するとバッテリー状態表示ランプが消灯します。

充電時間	
電源入時	約8〜10 時間
電源切時	約4 時間

稼働時間
約2 時間

充電時間
使用条件により長くかかることがあります。（低温の場合など）
また、左記の電源入時の充電時間は、最短の場合です。コンピューターの動作状態により変わります。

稼働時間
左記はLCDバックライト輝度最低時の稼動時間です。稼動時間はその他使用条件によって異なります。

バッテリー状態表示ランプについて

バッテリー状態表示ランプ

バッテリー状態表示ランプの状態	充電状態
緑色に点灯	充電中
消灯	充電完了
緑色に点滅（ACアダプターを接続していない時）	バッテリー残量10%以下 ACアダプターを接続し、充電してください。
緑色に点滅（ACアダプターを接続している時）	充電できない ・バッテリーパックの温度が使用環境温度（5 ℃～35 ℃）の範囲外にあるため、充電できない可能性があります。充電可能な温度に戻してから、再度、充電を始めてください。 ・消費電力が大きすぎると、充電できなくなる場合があります。消費電力の大きい周辺機器を使用している場合には、それらの周辺機器の使用を控えるなどしてください。 上記を行っても点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

充電についてのお願い

- 長期間（約1か月以上）使わない場合は、バッテリーパックの性能維持のため、30％～40％程度の充電状態でコンピューターから取り外し、冷暗所に保管してください。
- バッテリーパックを長期間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
- バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの駆動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。
- 使用環境温度（5 ℃～35 ℃）の範囲内で充電してください。使用環境温度の範囲外では、また、使用環境温度の範囲内であっても、使用条件によりバッテリーパックの温度が高温あるいは低温になりすぎているときには、充電できないことがあります。このようなときは、室温を調節したり、しばらくコンピューターの使用を控えるなどしてください。バッテリーパックの温度が範囲内に戻ると、自動的に充電が始まります。
- 満充電に近い状態のため、充電が行われていないとき、バッテリーパックから微量の電流が放電されます。そのため、電池残量が多少減っていることがあります。

バッテリー残量の確認

バッテリーのみで使用することが多い場合、こまめに残量確認するようにしてください。バッテリー残量が少なくなったら、ACアダプターを接続してください。
バッテリー残量を確認するには、以下の4つの方法があります。

- 電源メーターで確認する。
- アラームで確認する。
- バッテリー状態表示ランプで確認する。
- 残量ランプで確認する。

◀電源が切れている状態でも、約60 mWの電力を消費します。また、満充電していても約30日でバッテリー残量がなくなります。

電源メーターによる残量確認

「コントロールパネル」の[電源の管理]をダブルクリックし、「電源メーター」をクリックして確認することができます。
（タスクトレイの または をダブルクリックしても電源メーター表示することができます。 はACアダプター接続時、 はバッテリーパックのみで使用しているときに表示されます。）

◀「電源の管理」アイコンが表示されていない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

お願い

ACアダプターの抜き挿しをしても または のアイコン表示が正しく切り換わらない場合は、 または をダブルクリックし、[タスクバーにメーター表示]のチェックマークを外し、再度チェックマークを付け直してみてください。

アラームによる残量確認

アラーム機能により確認することもできます。
「コントロールパネル」の[電源の管理]をダブルクリックし、「アラーム」をクリックして設定します。

◀「電源の管理」アイコンが表示されていない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。
◀ Fn + F4 や Fn + F5 のキー操作で音量をミュートしている場合、アラームは鳴りません。

＜バッテリ低下の警告＞

バッテリー容量が一定のレベルに達したら、バッテリーの低下をアラームで知らせるよう設定します。「電源レベルが次に達したらバッテリ低下の警告で知らせる」にチェックマークを付け、%値を設定します。工場出荷時は10%に設定されています。

アラームが鳴ったら
充電が必要です。すぐにACアダプターを接続してください。ACアダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windowsも終了して電源表示ランプ⏻が消えていることを確認してください。

使いかた　モバイル

バッテリーパックを使う

<バッテリ消耗の警告>

バッテリー容量が一定のレベルに達したら、バッテリーの消耗をアラームで知らせるよう設定します。

「電源レベルが次に達したらバッテリ消耗の警告で知らせる」にチェックマークを付け、%値を設定します。工場出荷時は「5 %」に設定されています。

また、「警告の動作」ボタンをクリックすると、「通知方法」と「電源レベル」を設定することができます。

「警告後のコンピュータの動作」を設定した場合は

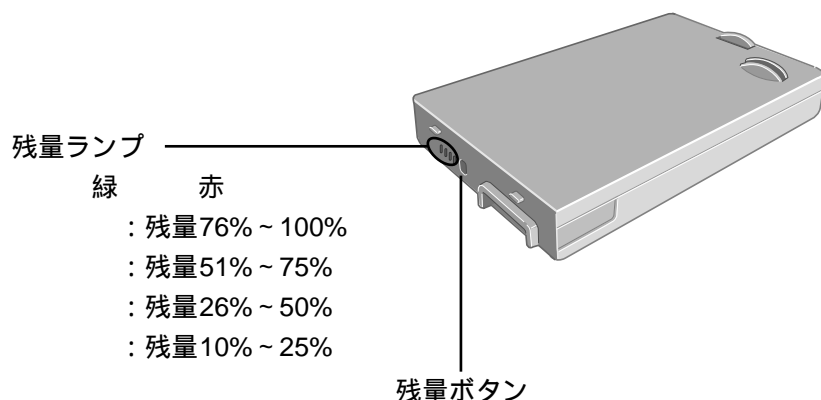
この機能により、コンピューターが電源オフ、休止状態またはスタンバイ状態になったときは、ACアダプターを接続してください。ACアダプターを接続せずに起動およびリジュームすると、Windowsが正常に動作しなかったり、以降アラーム動作が働かなくなる場合があります。

残量ランプによる残量確認

誤差が生じることがあります。目安として使用してください。

1 バッテリーパックを取り外す。

→ 70ページ

2 残量ボタンを押す。

◀残量が10%以下になると赤ランプが点滅します。

使いかた

モバイル

付属ソフトウェアを活用する

統合ソフト (Microsoft® Office 2000 Personal)

Microsoft® Office 2000 Personalには、以下のソフトウェアが含まれています。

- Microsoft® Word 2000　(日本語ワードプロセッサー)
- Microsoft® Excel 2000　(統合型表計算ソフトウェア)
- Microsoft® Outlook® 2000　(電子メール、情報管理ソフト)
- Microsoft® IME 2000　(日本語入力システム)
- Microsoft® /Shogakukan Bookshelf® Basic　(マルチメディア統合辞典)

Microsoft® /Shogakukan Bookshelf® Basicは工場出荷時にはインストールされていません。お使いになる場合はパッケージに付属の説明書に従ってインストールを行ってください。

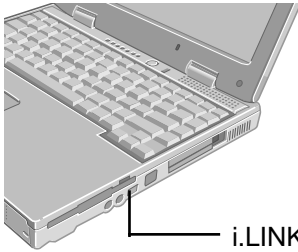
お願い

- 左記ソフトウェアのお問い合わせについては、ソフトウェアパッケージに付属の説明書をご覧ください。
- コンピューターの再インストール(→111ページ)を行った後はパッケージに付属の説明書に従って、Microsoft® Office 2000 Personalのセットアップ(インストール)を行ってください。
  ただし、IME 2000はWindows MEに付属しているバージョンの方が新しいためインストールする必要はありません。

DV動画編集ソフト（MotionDV STUDIO）

MotionDV STUDIOは、デジタルビデオ機器で撮影した映像を取り込み、編集するソフトウェアです。
MotionDV STUDIOでは以下のようなことができます。
- 映像に特殊効果を入れたり、音声ファイルの音声を追加したり、タイトルを入れたりする。
- 編集した映像をテープに録画する。
- デジタルビデオ機器を2台つなぎ、再生・編集しながら録画したり、テープをダビング（コピー）したりする。

取扱説明書(オンラインマニュアル)を見るには

取扱説明書は画面で見るオンラインマニュアルとなっています。
[スタート]をクリックし、[プログラム]→[Panasonic]→[MotionDV STUDIO]→[取扱説明書]の順にクリックします。
オンラインマニュアルの操作の方法については98ページをご覧ください。

なお、本機にはMotionDV STUDIOがあらかじめインストールされています。その他、取扱説明書の内容で本機に該当しない記述があります。次ページを参照願います。

はじめて起動したとき
「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されるので、内容を確認の上、[同意する]をクリックしてください。

お願い

はじめてオンラインマニュアルを起動した場合、エラーメッセージが表示されることがあります。その場合は［OK］をクリックしてエラーメッセージ画面を閉じてください。

項　目(タイトル名)		補　足　説　明
ご使用前に	内容物	**下記のものは、本機に付属しておりません。** ・MotionDV STUDIOのCD-ROM ・DVインターフェースカード*1 ・DVケーブル*2 *1本機にはi.LINK端子が装備されているため、不要です。 *2別売りの「i.LINKケーブル（→下記）」をご使用ください。
	MotionDV STUDIOのインストール	MotionDV STUDIOのインストールは、不要です。 （本機にはあらかじめインストールされています。）
編集の前に	接続	●MotionDV STUDIO取扱説明書に従って、本機のi.LINK端子に別売りの「i.LINKケーブル（4ピン-4ピン）」を接続してください。 <i.LINKケーブル> 本機のi.LINK端子とデジタルビデオ機器のIEEE1394準拠DV端子を接続するケーブルです。本機の場合、［4ピン-4ピン］端子付きものをご使用ください。ケーブルの呼び名は商品によって異なることがあります（DVケーブルなど）。 （お問い合わせ先：お客様ご相談センター→122ページ） i.LINK端子 ●最初の接続時に「メッセージ ①」は表示されません。
	MotionDV STUDIOの起動	●デスクトップの「MotionDV STUDIO」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。 ●手順2の左横に記載されている「お願い」は不要です。 （本機にはあらかじめAdobe Acrobat® Readerがインストールされています。）
DVハードディスクエディター（別売）を使っての編集	接続	●MotionDV STUDIO取扱説明書に従って、本機のi.LINK端子に別売りの「i.LINKケーブル（4ピン-4ピン）」を接続してください。（→上記）
	MotionDV STUDIOの起動	●最初の接続時に「メッセージ ③」は表示されません。 「編集の前に」の「MotionDV STUDIOの起動」と同様です。
DVインターフェースカード編		本機には「DVインターフェースカード」が必要ないため、「カード編」の説明はすべて不要です。
保証とアフターサービス		MotionDV STUDIO取扱説明書の「保証とアフターサービス」の「■修理を依頼されるとき」は、本機には該当しません。本機については122ページをご覧ください。

はがき作成ソフト（筆ぐるめ）

「筆ぐるめ」は富士ソフトＡＢＣが開発・提供・品質保証・サポートするソフトウェアです。
以下のソフトウェア使用許諾書に承諾いただくことがご使用の条件になっています。
ご承諾の上、セットアップしてからご使用ください。

ソフトウェア使用許諾書

第1条　権利
お客様は本ソフトウェアの使用権を得ることができますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェア及びそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターでは使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、富士ソフトＡＢＣでは一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても富士ソフトＡＢＣ、松下電器産業株式会社及び販売店はその責任を負いません。

第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、富士ソフトＡＢＣインフォメーションセンターまで、電話、E-mail、FAXにてお問い合わせください。（次ページご参照）
お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、富士ソフトＡＢＣが知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
なお、本ソフトウェアのインストール手順、操作方法、不具合に関する問い合わせについては、松下電器産業株式会社ではお受けすることができません。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する富士ソフトＡＢＣの責任は、上記第6条のみとさせていただきます。
本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、富士ソフトＡＢＣ、松下電器産業株式会社及び販売店等はその責任を負いません。

第8条　ユーザー登録
上記第6条のアフターサービスには、ユーザー登録が必要です。
富士ソフトＡＢＣインフォメーションセンター行きのユーザー登録はがきが付属されていますので、詳しくはそちらをご覧ください。

取扱説明書(オンラインマニュアル)を見るには

取扱説明書は画面で見るオンラインマニュアルとなっています。
[スタート]をクリックし、[プログラム]→[筆ぐるめVer.xx]→[筆ぐるめPDF説明書]→[取扱説明書]の順にクリックします。
オンラインマニュアルの操作の方法については98ページをご覧ください。

はじめて起動したとき
「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されるので、内容を確認の上、[同意する]をクリックしてください。

お願い

はじめてオンラインマニュアルを起動した場合、エラーメッセージが表示されることがあります。その場合は［OK］をクリックしてエラーメッセージ画面を閉じてください。

ユーザー登録について

本ソフトウェアのユーザー登録は、付属の「ユーザー登録カード」の記載内容をよくお読みの上、行ってください。
（ユーザー登録を行うことにより、前ページ「ソフトウェア使用許諾書 第６条」のアフターサービスを受けることができます。）

お問い合わせ先

富士ソフトＡＢＣインフォメーションセンター
受付　：9:30-12:00 13:00-17:00
土・日・祝日・富士ソフトABC指定休業日を除く
TEL　：03-5600-2551　FAX　：03-3634-1322
E-mail　：users@fsi.co.jp
（電話がつながりにくい場合はFAX、E-mailをご利用ください）

※本ソフトウェアの操作方法などについてのお問い合わせは、松下電器産業株式会社ではお受けすることができません。ご了承願います。

使いかた

アプリケーション

周辺機器を拡張する

RAMモジュール（カード）を使う

現在のメモリー容量は、セットアップユーティリティの「メイン」メニュー（→90ページ）で確認することができます。
工場出荷時は、64 Mバイトです。さらに別売りのRAMモジュールを増設することによってメモリー容量を拡張することができます。RAMモジュールを増設または取り外す場合は、以下の手順に従って操作してください。

64 Mバイト RAMモジュール
品番：CF-BAF1064J
128 Mバイト RAMモジュール
品番：CF-BAF0128J

推奨RAMモジュール仕様
144ピン、SO-DIMM、3.3 V、SDRAM、100 MHz *

* 66 MHzのRAMモジュールは使用しないでください。

お願い

左記指定以外のRAMモジュールを増設すると、正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。

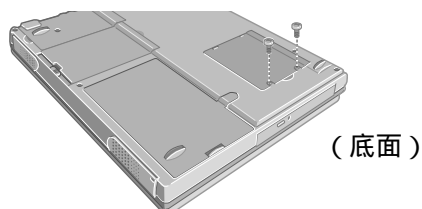
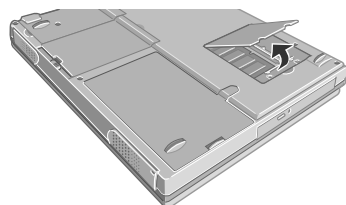
1 操作を終わり、電源が切れたことを確認し、ACアダプターを取り外す。

2 本体を裏返して下図のようにネジを2箇所取り外す。

（底面）

◀詳しくは
→取扱説明書『セットアップ編』

お願い

・スタンバイや休止状態のときは、機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。
・バッテリーパックを取り付けている場合は、取り外してください。

3 カバーを取り外す。

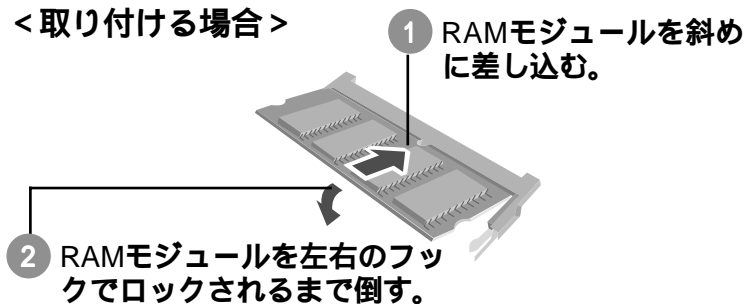
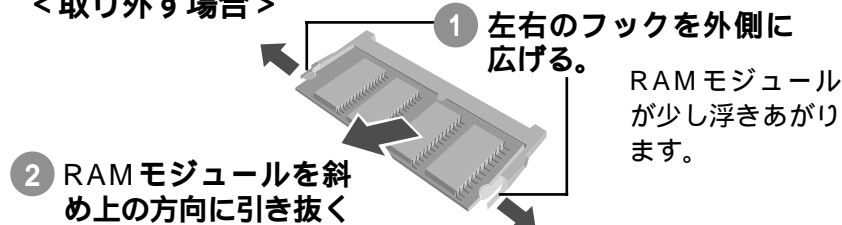
4 RAMモジュールを取り付ける/取り外す。

＜取り付ける場合＞

＜取り外す場合＞

◀向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。

お願い

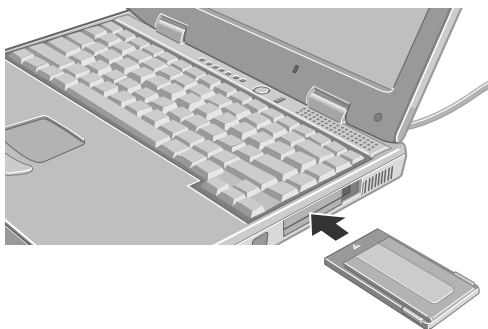
RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などにも触れないでください。

5 手順2,3で取り外したカバーを取り付ける。

6 ACアダプター、バッテリーパックを取り付ける。

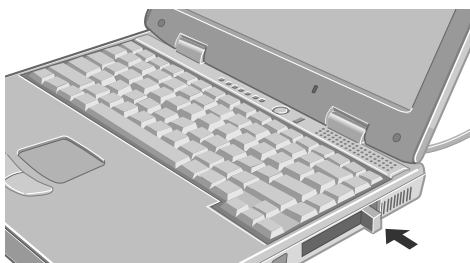
周辺機器を拡張する

PCカードを使う

本機にはPCカード用スロットが１つあります。
市販されているPCカードを使うことによりLANや携帯電話を使った通信機能を利用したり、SCSI機器などの周辺機器を接続することができます。カードは厚みによってタイプⅠ（3.3 mm）、タイプⅡ（5.0 mm）、タイプⅢ（10.5 mm）の３つの種類に分けられます。

＜取り付ける場合＞

カードを下段のPCカードスロットにしっかりと差し込む。

＜取り出す場合＞

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックする。
2. [PCカード（PCMCIA）]*をダブルクリックし、「PCカードのプロパティ」画面で取り出すカードを選んで[停止]をクリックする。
3. 「このデバイスは安全に取り外せます」というメッセージが表示されたら[OK]をクリックする。
4. 「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」画面で[OK]をクリックする。
5. 取り出しボタンを押すと、取り出しボタンが飛び出すので（下図）、再度押してカードを取り出す。

お願い

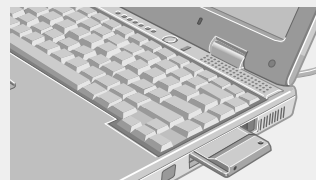
ご使用の前に

- 必ず、PCカードの消費電力を確認してください。PCカードスロットの許容電流（許容電流：3.3 Vで750 mA、5 Vで500 mA、12 Vで75 mA）を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- PCカードの操作方法は、PCカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- スタンバイや休止状態時には、取り付け・取り外しは行わないでください。
- 本機はZVカードには対応していません。
- PCカードスロットは下段のみです。

取り付けるとき

カードの形状によっては、装着後、外に突き出たままになるものもあります。（→下図）無理に押さないよう注意してください。無理に押すとスロットが破損する場合があります。

持ち運ぶとき

コンピューターを持ち運ぶ際には、下図のように突き出たカードは、必ず取り外してください。

* 「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」アイコンが表示されていない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。。

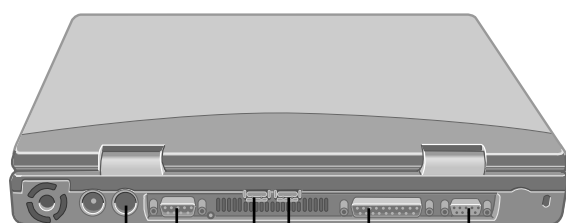
お願い

CardBusおよびネットワークカードを取り出す場合は、必ず電源を切ってから取り外してください。

使いかた

拡張

各種周辺機器を接続する

各周辺機器の設定・準備などについては、各周辺機器に付属の説明書をお読みください。

ディスプレイコネクター

外部ディスプレイや液晶プロジェクターなどを接続します。

パラレルコネクター

プリンターなどを接続します。

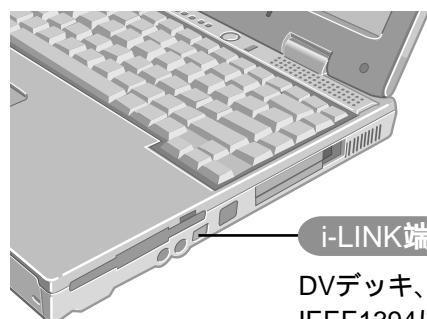
USBコネクター

電源を入れたままで､USB対応のマウス、キーボード、プリンター、スキャナーなどいろいろな周辺機器を接続できます。使用するにはUSB機器に付属のドライバープログラムをインストールする必要があります。

シリアルコネクター

シリアルマウスやターミナルアダプターを接続します。「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」で、必要なドライバーをインストールしてください。

マウス/外部キーボード端子

IBM PS/2タイプのマウスまたは外部キーボードを接続します。

i-LINK端子

DVデッキ、デジタルビデオカメラなど、IEEE1394に準拠した機器を接続します。

お願い

USB機器には、スタンバイや休止状態機能に対応していないものがあります。対応していない機器をご使用の場合は、スタンバイや休止状態機能を使用する前に、その機器を取り外してください。
また、設定、接続のしかたについては、USB機器に付属の説明書をご覧ください。

デュアルディスプレイモードを使う

別売りの外部ディスプレイを接続している場合、デュアルディスプレイモードを使うと内部LCDと外部ディスプレイを連続した表示領域として使うことができます。

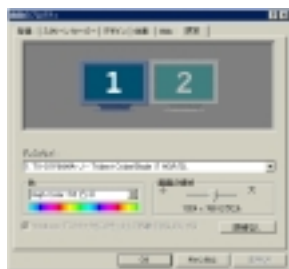
外部ディスプレイ

内部LCDから外部ディスプレイにウィンドドウのドラッグ移動ができます。
（上記はサンプル画面です。実際の画面と異なることがあります。）

◀アプリケーションソフトによっては、デュアルディスプレイモードを使用できないことがあります。

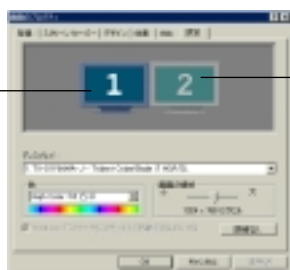
デュアルディスプレイモードを設定する

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[画面]をダブルクリックする。

2 [設定]をクリックする。

3 外部ディスプレイ[2]をクリックする。

4 「このモニタを使用可能にしますか？」で[はい]をクリックし、[OK]をクリックする。

5 画像の領域・色数を設定する。

内部LCDと外部ディスプレイにはそれぞれモニター番号が付けられています。内部LCD[1]と外部ディスプレイ[2]をクリックし、それぞれに対して画面領域・色数を指定してください。

[2]：外部ディスプレイ

再起動後、デュアルディスプレイモードにならない場合

「コントロールパネル」の「画面」の「設定」で外部ディスプレイ[2]を右ボタンでクリックし、「使用可能」メニューにチェックマークを付けてください。

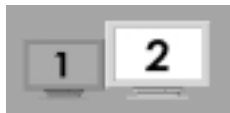
画面領域・色数について
→86ページ

モニター番号を確認するには

画面のプロパティのモニター番号をクリックしたままにしておくと、その番号に対応したモニター側に番号が表示されます。

6 **拡張表示位置を設定する。**

モニター番号をドラッグ＆ドロップし、実際の外部ディスプレイの配置位置にあわせると、操作がしやすくなります。

外部ディスプレイの配置例：

右側に配置する場合　上側に配置する場合　左側に配置する場合

7 [OK]**をクリックする。**

デュアルディスプレイモードを解除する

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[画面]をダブルクリックする。**

2 **[設定]をクリックする。（→84ページ）**

3 **外部ディスプレイ[2]をクリックする。**

4 **「Windowsデスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のチェックマークを外す。**

5 [OK]**をクリックする。**

デュアルディスプレイモードを設定すると

・最大化ボタンをクリックするとどちらか一方のディスプレイに最大表示されます。
・最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
・デュアルディスプレイモードを設定しても、電源を切った状態で外部ディスプレイを取り外し起動すると、デュアルディスプレイモードは自動的に解除されます。

起動アプリケーションソフトが画面に表示されないとき

アプリケーションソフトが外部ディスプレイ（モニター２）にある状態、または外部ディスプレイでそのアプリケーションソフトを終了したあとで、拡張表示位置を変更したりデュアルディスプレイモードを終了したりすると、次回、起動したアプリケーションソフトが画面に表示されないことがあります。

＜拡張表示位置を変更したあと、表示されなくなった場合＞

起動したアプリケーションソフトは変更前の拡張表示位置に表示されています。
いったん、拡張表示位置を変更前の状態に戻してから、アプリケーションソフトを内部LCD（モニター１）に移動したあと、拡張表示位置を変更してください。

＜デュアルディスプレイモードを終了したら、表示されなくなった場合＞

起動したアプリケーションソフトは外部ディスプレイ（モニター２）に表示されています。再度、デュアルディスプレイモードに設定し、アプリケーションソフトを外部ディスプレイ（モニター２）から内部LCD（モニター１）に移動した後、デュアルディスプレイモードを終了してください。

（次ページ下部につづく）

画面領域・色数について

デュアルディスプレイモードで設定できる画面領域・色数の組み合わせは以下のとおりです。

外部ディスプレイ	内蔵LCD		
	1024×768		
	256色	High Color	True Color
640×480 256色	○	○	○
640×480 High Color	○	○	○
640×480 True Color	○	○	○
800×600 256色	○	○	○
800×600 High Color	○	○	○
800×600 True Color	○	○	○
1024×768 256色	○	○	○
1024×768 High Color	○	○	○
1024×768 True Color	○	○	-
1280×1024 256色	○	○	○
1280×1024 High Color	○	○	○
1600×1200 256色	○	○	○
1600×1200 High Color	○	○	-

色数について

High Color：65,536色

True Color：約1,600万色

壁紙、アイコン位置がずれるとき

壁紙　　：壁紙を設定しなおしてください。

アイコン：アイコンの自動整列を実行してください。

省電力機能を使うとき

「電源の管理」（→65ページ）の「電源設定」で「モニタの電源を切る」を「なし」に設定してください。「なし」以外に設定すると、正常に表示できないことがあります。

マウスポインターにアニメーションポインターを使うときはスタンバイや休止状態に入らないでください

「コントロールパネル」の「デスクトップテーマ」でテーマを変更したときなど、アニメーションポインターを使用しているとスタンバイや休止状態からリジュームしたときにエラーが発生することがあります。スタンバイや休止状態を使う場合は、次の手順でマウスポインターを下記のように変更してください。

①「コントロールパネル」の［マウス］をダブルクリックする。
（[マウス]アイコンが表示されていない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。）

②「ポインタ」タブをクリックする。

③「配色」の中から「Windowsスタンダード」を選択する。

④［OK］をクリックする。

必要なときに

セットアップユーティリティの設定のしかたやオンラインマニュアルの見かたなど、必要に応じてご覧いただきたいことについて説明しています。

もくじ

セットアップユーティリティ

ここでは、動作環境を設定するためのユーティリティ（セットアップユーティリティ）について説明します。

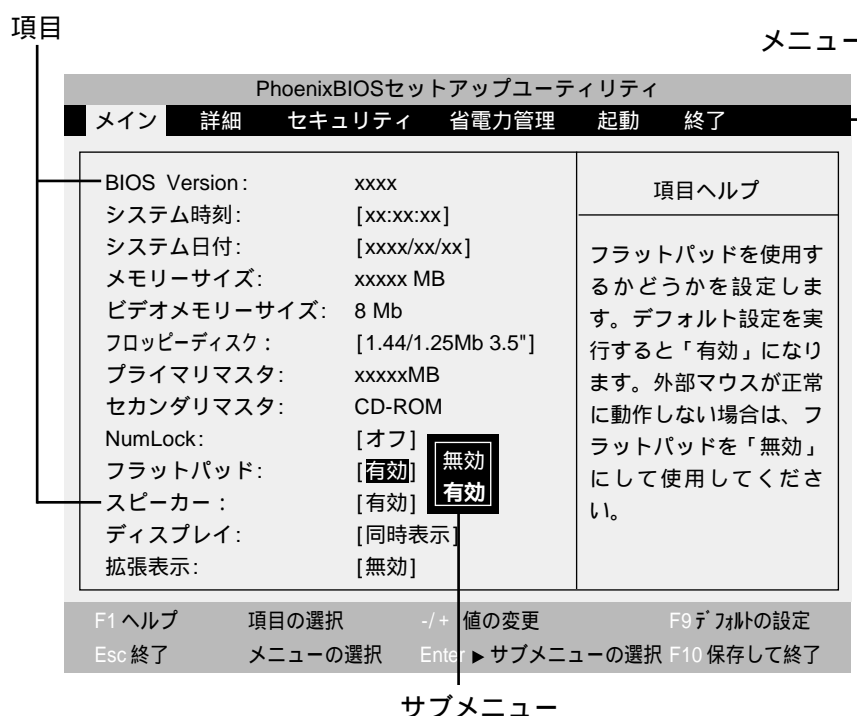
起動する

1 Windowsを終了して再起動する。

[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[再起動する]を選んで[OK]をクリックする。

2 「<F2>キーを押すと、セットアップが起動します」が表示されているときに F2 を押す。

◀ F2 を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。その場合、Windowsを終了して再度やり直してください。

◀ 「パスワードを入力してください」と表示されたら、パスワードを入力してください。

キー操作

下記のキーのうち、画面下側に表示されているものが使用できます。

F1 :一般ヘルプが画面に表示されます

← → :「メイン」「詳細」「セキュリティ」「省電力管理」「起動」「終了」の各メニューを選ぶときに使用します。

↑ ↓ :カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。

− + :各項目の設定値を選ぶときに使用します。

Enter : ↑ ↓ で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニュー画面が表示されます。

F9 :各項目の設定値を工場出荷時の値（デフォルト）にします。

F10 :設定を保存して終了します。

Esc :「終了」メニューが表示されます。

Tab :日時設定のとき、カーソルの移動に使用します。

終了する

1 ← → で「終了」メニューを選ぶ。

設定を保存して終了
設定を保存しないで終了
デフォルト設定
設定を戻す
設定を保存する

セットアップユーティリティ起動時の状態、または「設定を保存する」で保存した状態に戻します。

標準設定にします。(工場出荷状態)

2 設定を保存して終了するか、保存せずに終了するかを選び、Enter を押す。

コンピューターが再起動し、Windowsが起動します。

◀ パスワードが有効になっている場合は、Windowsが起動するまでにパスワードの入力が必要です。

セットアップユーティリティ

メインメニュー

1 ← → で「メイン」メニューを選ぶ。

現在のメモリー容量やBIOSのバージョンなどを確認することができます。

コンピューターに設定されている日付と時刻を確認できます。
また、設定を変更することができます。

項目	設定
BIOS Version:	xxxx
システム時刻:	[xx:xx:xx]
システム日付:	[xxxx/xx/xx]
メモリーサイズ:	xxxxx MB
ビデオメモリーサイズ:	8 Mb
フロッピーディスク：	[1.44/1.25Mb 3.5"]
プライマリマスタ:	xxxxxMB
セカンダリマスタ:	CD-ROM
NumLock:	[オフ]
フラットパッド:	[有効]
スピーカー：	[有効]
ディスプレイ:	[同時表示]
拡張表示:	[無効]

次ページ

「無効」に設定するとフロッピーディスクドライブのアクセスを禁止することができます。

セットアップユーティリティやファーストエイドFDなどから起動したMS-DOSモードの画面をLCDいっぱいに拡張して表示する拡張表示機能の[有効]または[無効]を設定します。

スピーカーの[有効]または[無効]を設定します。

フラットパッドの[有効]または[無効]を設定します。外部マウスが正常に動作しない場合は、[無効]に設定してください。

起動時にテンキー（キー上に青色で印刷された数字など）による入力を[オン]にするか[オフ]にするかを設定します。

◀ 左記は標準設定（工場出荷状態）の画面例です。

◀ メモリーサイズとビデオメモリーサイズの合計がシステムに搭載されているメモリーサイズになります。

Windows MEで800×600以下の画面をLCDいっぱいに拡張して表示するとき

コントロールパネルの「画面」をダブルクリックし、[設定]→[詳細]→[フラットパネル]をクリックして、「ディスプレイストレッチ」にチェックマークを付けてください。
ただし、画面色数がTrue Colorの場合はこの機能は使えません。

ディスプレイ

起動時、どのディスプレイに表示するかを[内部LCD][外部ディスプレイ][同時表示]の中から選びます。

表示可能な解像度・色数

	ディスプレイ設定		
	外部ディスプレイ	内部LCD	同時表示
640×480　256色	○	○*1	○*1
640×480　65,536色（High Color）	○	○*1	○*1
640×480　約1,677万色（True Color）	○	○*2*4	○*2*4
800×600　256色	○	○*1	○*1
800×600　65,536色（High Color）	○	○*1	○*1
800×600　約1,677万色（True Color）	○	○*2*4	○*2*4
1024×768　256色	○	○	○
1024×768　65,536色（High Color）	○	○	○
1024×768　約1,677万色（True Color）	○	○*2	○*2
1280×1024　256色	○	○*3	○*3
1280×1024　65,536色（High Color）	○	○*3	○*3
1600×1200　256色	○	○*3	○*3
1600×1200　65,536色（High Color）	○	○*3	○*3

◀[外部ディスプレイ]や[同時表示]に設定していても、起動時に外部ディスプレイが接続されていない場合は、内部ＬＣＤ表示となります。

*1 画面の中央に小さく表示されますが、セットアップユーティリティで「拡張表示」を有効（→前ページ）に設定すると画面いっぱいに表示することができます。この場合、表示が粗くなります。

*2 内部LCDには、ディザリング機能により約1,600万色までの表示が可能です。

*3 画面全体の一部（1024×768の範囲）が表示されます。
カーソルを画面の端に移動すると、画面表示がスクロールします。

*4 画面が中央に小さく表示されます。
メインメニューの「拡大表示」を「有効」に設定しても、画面いっぱいに表示することはできません。

キー操作による切り換え

Fn ＋ F3 で表示先を切り換えることもできます。
詳しくは→100ページ

詳細メニュー

1 ← →で「詳細」メニューを選ぶ。

それぞれのポートの設定を行います。

◀ 左記は標準設定（工場出荷状態）の画面例です。

シリアルポートA：	[使用する]
I/Oベースアドレス:	[3F8]
割込み：	[IRQ 4]
パラレルポート：	[使用する]
モード:	[ECP]
I/Oベースアドレス：	[378]
割込み：	[IRQ 7]
DMAチャンネル：	[DMA 3]
Sound Blaster：	[使用する]
I/Oベースアドレス：	[220-22F]
割込み：	[IRQ 5]
8ビットDMAチャンネル：	[DMA 1]

I/Oベースアドレス
パラレルポートのI/Oポートアドレスを[378]、[278]、[3BC]のいずれかに設定します。

モード
パラレルポートのデータ送信方向を[ECP]、[単方向]、[EPP]のいずれかに設定します。

パラレルポート
パラレルポートを[使用する]または[使用しない]に設定します。

割込み
シリアルポートの割込み要求を[IRQ 4]または[IRQ 3]に設定します。

I/Oベースアドレス
シリアルポートのI/Oポートアドレスを[3F8]、[2F8]、[3E8]、[2E8]のいずれかに設定します。

シリアルポート
シリアルポートを[使用する]または[使用しない]に設定します。

シリアルポート A**：**	**[使用する]**
I/O **ベースアドレス:**	[3F8]
割込み：	[IRQ4]
パラレルポート：	**[使用する]**
モード:	[ECP]
I/O **ベースアドレス：**	[378]
割込み：	[IRQ 7]
DMA **チャンネル：**	[DMA 3]
Sound Blaster**：**	**[使用する]**
I/O **ベースアドレス：**	[220-22F]
割込み：	[IRQ 5]
8 **ビット** DMA **チャンネル：**	[DMA 1]

8**ビット**DMA**チャンネル**
サウンドデバイスに8**ビット**DMA**チャンネルとして、**[DMA1]**、**[DMA0]**、**[DMA2]**、**[DMA3]**のいずれかを設定します。**

割込み
サウンドデバイスの割込み要求を[IRQ 5]**または**[IRQ 7]**に設定します。**

I/O**ベースアドレス**
サウンドデバイスのI/O**ポートアドレスを**[220-22F]**、**[240-24F]**、**[260-26F]**、**[280-28F]**のいずれかに設定します。**

Sound Blaster
MO-DOS**プロンプトにおいて、**Sound Blaster Pro**互換の機能を[使用する]または[使用しない]に設定します。**

DMA**チャンネル**
モードを「ECP**」に設定すると**DMA**チャンネルの設定が可能になり、**[DMA 3]**、**[DMA 1]**のいずれかに設定します。**

割込み
パラレルポートの割込み要求を[IRQ 7]**または**[IRQ 5]**に設定します。**

セキュリティメニュー

1 ← →で「セキュリティ」メニューを選ぶ。

コンピューターの起動およびセットアップユーティリティの起動をパスワードによって機密保護します。

◀ 左記は標準設定（工場出荷状態）の画面例です。

パスワード設定のしかた

1 セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューを選び[スーパーバイザーパスワード設定]を選んで Enter を押す。

2 パスワードを設定する。
<パスワードを新規に設定する場合>

▶スーパーバイザーパスワード設定	
新しいパスワードを入力して下さい	[ ]
新しいパスワードを確認して下さい	[ ]

❶ パスワードを入力して Enter を押す。
❷ 手順❶で入力したパスワードを入力して Enter を押す。

◀ 入力したパスワードは画面に表示されません。

お願い
パスワードは忘れないようにしてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。
忘れた場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。（パスワードを解除する場合は、修理扱い（有償）となります。）

<パスワードを変更する場合>

❶ 設定済みのパスワードを入力して Enter を押す。
❷ 新しいパスワードを入力して Enter を押す。
❸ 手順❷で入力したパスワードを入力して Enter を押す。

必要なときに

<設定済みのパスワードを無効にする場合>

▶スーパーバイザーパスワード設定	
現在のパスワードを入力して下さい	[　　　]
新しいパスワードを入力して下さい	[　　　]
新しいパスワードを確認して下さい	[　　　]

❶ 設定済みのパスワードを入力して Enter を押す。

❷ 何も入力せずに Enter を押す。

❸ 何も入力せずに Enter を押す。

3 「変更が保存されました。」と表示されたら、任意のキーを押す。

パスワード入力の制限

- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字までです。大文字、小文字の区別はありません。
- Shift や Ctrl およびスペースキーなどの特殊キーとあわせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字は、キーボード上段の数字キーを使って入力してください。

無断でパスワードを変更されることを避けるために

セットアップユーティリティを起動したままコンピューターから離れないでください。

パスワードを設定時の起動

以下のようにパスワードの入力を求められますので、設定したパスワードを入力してください。
コンピューター起動時のパスワード要求はパスワードを設定していて起動時のパスワードが有効になっている場合に表示されます。

　パスワードを入力してください。[　　　　]

Windowsで使用している場合は、スタンバイや休止状態からのリジューム時には、パスワード入力は要求されません。

パスワードの入力を3回間違えると

- 「システムは使用できません」の画面が表示されます。電源スイッチを4秒以上押して、電源を切ってください。
- スタンバイからのリジューム時には、スタンバイに戻ります。*

*ファーストエイドFDなどから起動してMS-DOSモードで使用しているときのみ。

省電力管理メニュー

1 ← → で「省電力管理」メニューを選ぶ。

Windows上での「パワースイッチ」および「パネルスイッチ」の動作設定は、「コントロールパネル」の「電源の管理」で設定します。
ファーストエイドFDなどから起動して、MS-DOSモードで使用している場合（→下記）

パワースイッチ：	[サスペンド]
パネルスイッチ：	[LCDオフ]

◀セットアップユーティリティでは、「スタンバイ」を「サスペンド」、「休止状態」を「ハイバーネーション」と呼んでいます。

お願い

「パネルスイッチ」を「サスペンド」に設定していると、LCDパネルを閉じた状態ではスタンバイからリジュームできません。

ファーストエイドFDなどから起動して、MS-DOSモードで使用している場合

セットアップユーティリティの以下の設定は、MS-DOSモードで使用しているときのみ動作します。Windowsを起動しているときの動作設定は、Windowsで設定します。

- 「パワースイッチ」→上記（Windowsの設定→11ページ）
  電源オン時に、コンピューターの電源スイッチを押したときの動作を[サスペンド][パワーオフ]のどちらかに設定します。
  （MS-DOSモードでは、ハイバーネーション機能は働きません。）
- 「パネルスイッチ」→上記（Windowsの設定→11ページ）
  LCDパネルを閉じたときの動作を[LCDオフ][サスペンド]のどちらかに設定します。
  （MS-DOSモードでは、ハイバーネーション機能は働きません。）

起動メニュー

1 ← →で「起動」メニューを選ぶ。

システムを起動するドライブの優先順位を設定します。

```
+Diskette Drive
+ハードディスク
 CD-ROM
```

工場出荷時の設定は、[フロッピードライブ]→[ハードディスクドライブ]→[CD-ROMドライブ]の順です。

- 優先順位を1つ上げる場合は、↑↓でデバイスを選択して＋を押す。
- 優先順位を1つ下げる場合は↑↓でデバイスを選択して－を押す。

必要なときに

オンラインマニュアルの見かた

画面で見ることができるオンラインマニュアル（PDF形式ファイル）として、以下のものが用意されています。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。ここでは、オンラインマニュアルの見かたについて説明します。

<困ったときのQ&A>

本機が思ったとおりに動かないなど、トラブルが発生したときの対処方法をQ&A方式でまとめています。

<パソコン・サポートとつきあう方法>

初めてのかたを対象に、電話サポート窓口を上手に利用する方法やコンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。
（編集：社団法人　日本電子工業振興協会）

◀ その他付属のソフトウェアの取扱説明書もオンラインマニュアルで用意しています。（→75ページ）

オンラインマニュアルの起動のしかた

1 「スタート」→「プログラム」→「Panasonic」→「オンラインマニュアル」をクリックし、見たいマニュアルを選ぶ。

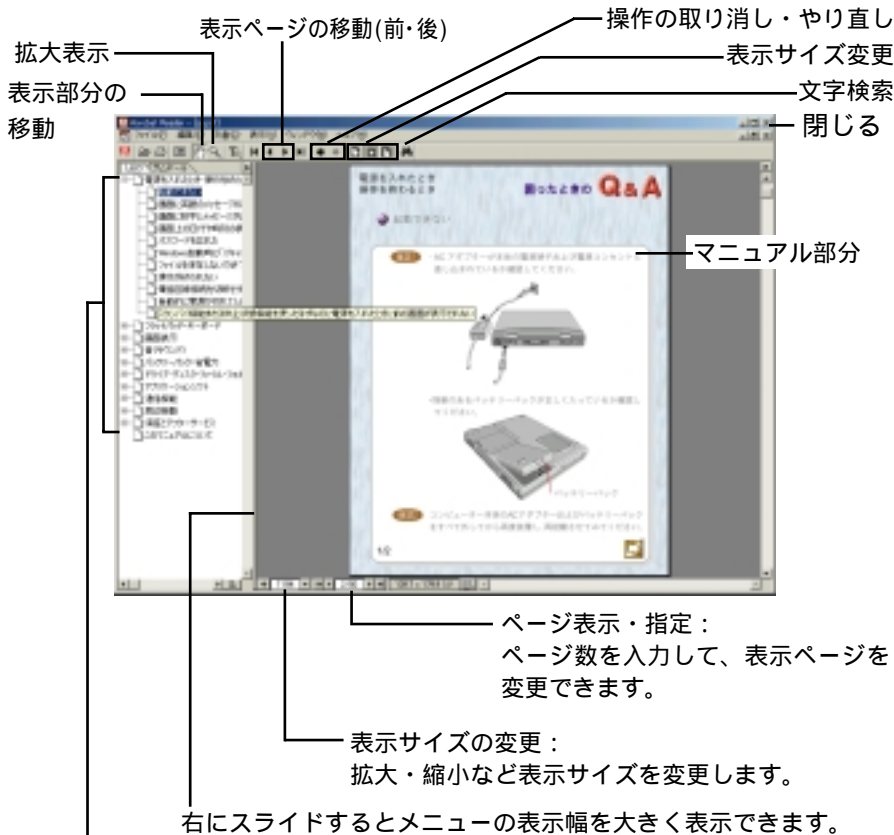
「困ったときのQ&A」はデスクトップの「困ったときのQ&A」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。

はじめて起動したとき
「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されるので、内容を確認の上、[同意する]をクリックしてください。

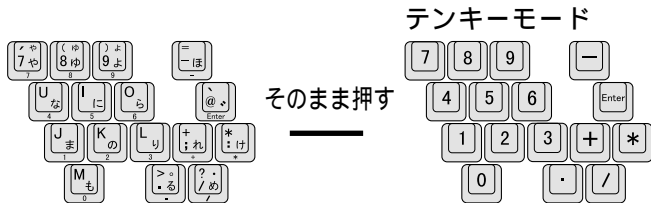
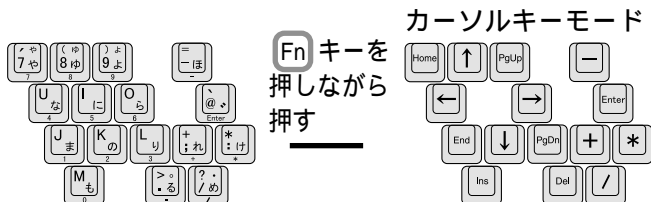
拡大表示
表示部分の移動
表示ページの移動(前･後)
操作の取り消し・やり直し
表示サイズ変更
文字検索
閉じる
マニュアル部分

ページ表示・指定：
ページ数を入力して、表示ページを変更できます。

表示サイズの変更：
拡大・縮小など表示サイズを変更します。

右にスライドするとメニューの表示幅を大きく表示できます。

⊞をクリックすると、詳細項目が表示されます。
それぞれの項目名をクリックするとそのページが表示されます。

お願い

左記以外の方法（エクスプローラなどから、マニュアルのファイルをダブルクリックするなど）で、はじめてオンラインマニュアルを起動した場合、エラーメッセージが表示されることがあります。その場合は［OK］をクリックしてエラーメッセージ画面を閉じてください。

◀ 下部の「ページ表示・指定」がタスクバーに隠れて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。

オンラインマニュアルを表示できない
→104ページ

キーボードの操作

ここでは、そのキー自体に特殊な機能をもつキー（特殊キー）や、Fn キーといっしょに押すことによって特殊な機能が有効になるキー（ホットキー）の使いかたについて説明します。

特殊キー

キー	機　能
(Windowsキー)	[スタート]メニューのクリックと、同じ操作を行うことができます。
(アプリケーションキー)	右ボタンのクリックと、同じ操作を行うことができます。
NumLk	Shift を押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り換えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。 ＜NumLkインジケーター点灯時：テンキー有効時＞ そのまま押す　→　テンキーモード ＜NumLkインジケーター消灯時：テンキー無効時＞ Fn キーを押しながら押す　→　カーソルキーモード
CapsLock/英数	英数字入力になります。 Shift を押しながら押した場合は、CapsLock状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。
Enter	コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。
Shift	通常、このキーを押しながらアルファベットキーを押すと、大文字入力になります。また、このキーを押しながら数字キーか特殊キーを押すと、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。
Ctrl 、Alt	このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションソフトによって機能が異なります。
Esc 、ScrLk 、Pause/Break	アプリケーションソフトによって機能が異なります。

◀ CapsLock状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、 Shift を押しながらアルファベットキーを押すと小文字入力になります。

キーボードの操作

キーコンビネーション（ホットキー）

Fn を押しながら下記のキーを押すことによって、特殊機能が有効になります。
この操作を「ホットキー」と呼びます。

キーとアイコン	機　能
Fn + F1	LCDバックライトの輝度を下げます。
Fn + F2	LCDバックライトの輝度を上げます。
Fn + F3	画面の表示先を切り換えます。キーを押すごとに（内部LCD→同時表示→外部ディスプレイ）の順に表示先が切り換わります。
Fn + F4	内蔵スピーカーから出る音を消します。 再度押すと元に戻ります。
Fn + F5	内蔵スピーカーの音量を下げます。 キーを押している間、音量が下がります。
Fn + F6	内蔵スピーカーの音量を上げます。 キーを押している間、音量が上がります。
Fn + F7	本機をスタンバイ状態にします。
Fn + F10	本機を休止状態にします。
Fn + F11	Outlook Expressを起動します。
Fn + F12	Internet Explorerを起動します。

◀ 外部ディスプレイが接続されていない場合でも切り換え処理が行われます。（デュアルディスプレイモード時は無効です。）

◀ Fn + F5 あるいは Fn + F6 が押されると、自動的にスピーカーオンの状態になります。

◀「音量の調整」画面（→14ページ）でミュートや音量ゼロにしている場合、スピーカーオンでも音は出ません。

ホットキーの操作について

- システム起動中、あるいはスタンバイや休止処理を実行中は一部のホットキーは使用できません。
- 高速なシリアル通信中などにホットキーを使用すると、通信エラーになることがあります。通信中はホットキーを使用しないでください。
- 音声再生、録音中にホットキーを使用すると、音が乱れることがあります。
- Fn + F3、Fn + F4 で変更した設定は一時的なものです。再起動後はセットアップユーティリティで設定されている状態に戻ります。

困ったときは

本機を動かそうとして思ったとおりに動かないときの対処方法や再インストールのしかたなどについて説明しています。

もくじ

困ったときのQ&A

本機を動かそうとして、思ったとおりに動かないことがあります。おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。また、「オンラインマニュアル」の「困ったときのQ&A」もご覧ください。（→「オンラインマニュアルの見かた」98ページ）
その他、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windowsやアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

起動時の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作できない	確認1 • ACアダプターは、本体の電源端子および電源コンセントに差し込まれているか確認してください。 • 残量のあるバッテリーパックが正しく入っているか確認してください。 • 電源を切った直後は、電源スイッチを押しても電源が入らない場合があります。5秒以上待ってから操作してください。 確認2 本体のACアダプターおよびバッテリーパックをすべて外してから再度装着し、再度起動してみてください。 確認3 ハードディスクにアクセス可能かどうか確認し、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。 ＜確認方法＞ ①「ファーストエイドFD」をドライブにセットする。 ②電源を入れる。 ③「再インストールを完了するため、ファイルを更新します。ファイルをコピーしますか。」と表示されたら N を押す。 ④「A:\>」と表示されたら、「C:」と入力し、Enter を押す。 • [C:\>]が表示された場合 Windowsを起動するために必要なファイルが壊れている可能性があります。111ページの手順に従って再インストールを行うと、ハードディスクを工場出荷状態に戻すことができます。ただし、作成したデータなどは消えてしまいます。あらかじめご了承ください。 • [C:\>]が表示されない場合 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
画面上の日付/時刻の表示が違っている	確認1 • コントロールパネルの「日付と時刻」を使って、またはセットアップユーティリティを起動して正しい日付/時刻を設定してください。 • LAN（ネットワーク）に接続している場合、サーバーの日付や時刻を確認してください。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 確認2 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付/時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

起動時の問題（つづき）

こんなときは	ここをお調べください
「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」と表示される	・システムを起動できないフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされています。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ・フロッピーディスクがセットされていないのに左記メッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
数字とメッセージが表示される	表示されている番号はエラーコードです。コンピューターに何か問題が発生しています。 「エラーコード一覧」（→110ページ）に従って確認してください。
「スキャンディスク」が起動している	前回終了時に、コンピューターを正しい方法で終了しなかった場合には、次にコンピューターを起動したときにハードディスクのエラーを検出するプログラム「スキャンディスク」が自動的に動作します。その場合は、画面に従って操作してください。 また、コンピューターは必ず正しい方法で（[スタート]→[Windowsの終了]から）終了するようにしてください。
画面に何も表示されない	表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。Fn ＋ F3 を押してディスプレイの表示先を切り換えてみてください。
スーパーバイザーパスワードを忘れた	忘れたパスワードを変更・解除する方法はありません。 パスワードを変更・解除したい場合は、お買い上げの販売店または『ご相談窓口』にご相談ください。

操作中の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作中に動かなくなった	確認1 ・バッテリーパックを使って操作していたときは、バッテリーの残量がない可能性があります。ACアダプターを接続してください。 ・使っていたアプリケーションソフト上の問題でシステムが止まってしまった可能性があります。以下の手順で操作中のアプリケーションソフトを終了してください。 ① Alt ＋ Ctrl ＋ Del を押す。 ②動作しなくなったアプリケーションソフトを選び、[終了]をクリックする。 ③確認のメッセージが表示されたら[終了]をクリックする。 確認2 上記操作を行っても動かない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて電源を切り、5秒以上待ってから、再度電源を入れてください。 再起動するとハードディスクのエラーを検出するプログラム「スキャンディスク」が自動的に動作することがあります。画面に従って操作してください。
バッテリー状態表示ランプが点滅している	バッテリー残量がありません。ACアダプターを接続してください。
「コントロールパネル」の「電源の管理」の「電源メーター」での残量表示がおかしい	「電源メーター」画面を表示したまま、バッテリーパックの取り付け/取り外しを行うと残量表示の更新に時間がかかります。この場合、タスクバーの「電源メーター」アイコンをダブルクリックすると、すぐに現在の残量が表示されます。今後、バッテリーパックの取り付け/取り外しは、コンピューターの電源を切った状態で行ってください。（→70ページ）
オンラインマニュアルを表示できない	確認1 Acrobat Readerをアンインストールしませんでしたか？アンインストールした場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]で「c:\util\reader\setup.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。 その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、デスクトップのアイコンやスタートメニューからオンラインマニュアルを起動できません。 （Acrobat ReaderはAdobe社のホームページhttp://www.adobe.co.jpからダウンロードすることもできます。） 確認2 「C:\UTIL\MANUAL」フォルダーに次のファイルがありますか？ない場合は「プロダクトリカバリーCD-ROM 2」の「\JA\UTIL\MANUAL」からコピーしてください。 ・QA.PDF（困ったときのQ&A） ・SUPPORT.PDF（パソコン・サポートとつきあう方法）
F11 （Mail）や F12 （Internet）のキーを押しても何も動作しない	Fn キーを押しながら F11 を押すとOutlook Expressが起動し、 Fn キーを押しながら F12 を押すと、Internet Explorerが起動します。
サウンドレコーダーできれいに録音できない	「サウンドレコーダー」の画面で[ファイル]→[プロパティ]→[今すぐ変換]をクリックし、「属性」で「44.100 kHz，16ビット，モノラル 86 KB/秒」を選んでください。

操作中の問題（つづき）

こんなときは	ここをお調べください
Windows Media Playerでエラーが発生した	True Color色でWindows Media Playerを使用して動画（AVIファイルやMPEGファイル等）を再生中に、Windows Media Player画面を移動させたり、最大化や元のサイズに戻す操作を繰り返し行ったりすると、エラーが発生する場合があります。その場合はWindowsを再起動してください。
画面が消えた	確認1 省電力機能によって、自動的にディスプレイが消えることがあります。電源表示ランプが点灯している場合は Ctrl などのキーを押してください。 * 選択の際に使われるキー（Enter、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl、Shift など）を押してください。 また、省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅）または休止状態（電源表示ランプが消灯）に入っていることも考えられます。電源を入れてください。 確認2 バッテリー残量がなくなっていませんか？ ACアダプターを接続してください。 確認3 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn + F3 を押してディスプレイの表示先を切り換えてみてください。 確認4 リジューム時に画面が消えた場合、MS-DOSプロンプトが起動されている可能性があります。Alt ＋ Tab を押してみてください。また、スタンバイ・休止状態に入る前には、MS-DOSプロンプトを閉じてください。
スタートメニューの一部しか表示されない	・簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に 表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 をクリックすると、その下にあるメニューが表示されます。 ・常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]→[設定]→[タスクバーとスタートメニュー]をクリックし、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
Windows Me関連ファイルがどこにあるかわからない	Windows Me関連ファイルは、工場出荷時は「C:\winmeadd」フォルダーにあります。

ディスプレイ画面の問題

こんなときは	ここをお調べください
残像が残る	同じ画面を長時間表示すると、イメージが画面に焼きつき、残像となることがあります。これは、異常ではありません。別の画面が表示されてしばらくすると、残像は消えます。
画面に緑、赤、青のドットが残る または正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
画面の表示が乱れる （ウィンドウを閉じた後、画像が残るなど）	・残った画像を消すには、壁紙上のウィンドウやアイコンのない部分を右クリックし、「最新の情報に更新」をクリックしてください。 ・[コントロールパネル]→[画面]→[設定]を選び、[詳細]をクリックして[パフォーマンス]の「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定してみてください。
「コントロールパネル」の「画面」で「画面の領域」や「色」が変更できない	「画面」の[設定]→[詳細]→[モニタ]で「中断／再開したときはディスプレイをリセットする」のチェックマークを外すと、「画面の領域」や「色」を正常に変更できなくなる場合があります。
「コントロールパネル」の「画面」で壁紙を変更した直後、マウスカーソルが見えなくなる・待ち状態表示のままになる	「コントロールパネル」の「デスクトップテーマ」で設定しているテーマの種類によっては、このような症状が現れます。 マウスカーソルが見えなくなった場合は、フラットパッドをこすってください。また、待ち状態表示になった場合は、右ボタンをクリックしてショートカットメニューを表示してみてください。
画像がモザイク状になる	True Color色で動画（AVIファイルやMPEGファイル等）を再生しているときに、動画ウィンドウの右上のコマンドボタンにカーソルを置いたり、動画ウィンドウのサイズを変更したりすると画像がモザイク状になることがあります。 この場合、コマンドボタンからカーソルを移動するか、動画ウィンドウのサイズを元に戻すと正常な画像に戻ります。
Windows Media Playerの画面表示が残る	True Color色でWindows Media Playerを使用して動画（AVIファイルやMPEGファイル等）を再生中に、Windows Media Playerを終了すると、Windows Media Player画面の跡が残る場合があります。その場合はWindowsを再起動してください。

ドライブの問題

こんなときは	ここをお調べください
フロッピーディスクドライブにアクセスしない	・フロッピーディスクは正しくセットされているか確認してください。 ・フロッピーディスクは初期化されているか確認してください。 ・ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていないか確認してください。 ・セットアップユーティリティの「メイン」メニューで「フロッピーディスクドライブ」の設定が「1.44/1.25Mb 3.5"」になっているか確認してください。
フロッピーディスクが初期化できない	・デスクトップ上の「マイコンピュータ」から[3.5インチFD(A:)]を選んで[ファイル]→[フォーマット]をクリックした後、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットしてください。
ハードディスクドライブにアクセスできない	原因がわからない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
CDの再生や読み込みができない	・指定の方法（→16ページ）でCDのクリーニングを行ってください。 ・CDが変形していたり、傷や汚れが付いていませんか？
突然、MPEG画像が残った青い画面になった	ドライブから、MPEGのCDを取り出しませんでしたか？CDをセットして Enter を押してください。
CDが取り出せない	コンピューターの電源が入っていますか？電源が入っていない状態でCDを取り出すには、ゼムクリップなどを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに差し込んでトレイを引き出してください。（→18ページ）
CD-ROMドライブの振動や動作音が大きい	変形したCDや、ラベルをはったCDを使用していませんか？

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
「Windows ムービーメーカー」で正常に取り込みができない	DV編集ソフト「MotionDV STUDIO」を使って、取り込み（キャプチャー）を行ってください。

周辺機器の問題（つづき）

<table>
<tr><th>こんなときは</th><th>ここをお調べください</th></tr>
<tr><td>割り込み要求（IRQ）、I/Oポートアドレス等、アドレスマップがわからない</td><td>下記の方法で確認することができます。
・システムツールで確認する。
①［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］をクリックする。
②「ハードウェアリソース」の左横の□をクリックする。
・システムのプロパティで確認する。
①「コントロールパネル」の[システム］アイコンをダブルクリックする。（「システム」アイコンが表示されていない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。）
②「デバイスマネージャ」をクリックする。
③「コンピュータ」を選んで「プロパティ」をクリックする。</td></tr>
<tr><td>USB機器が動かない</td><td>・正しく接続されているか確認してください。
・適切なドライバーがインストールされているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>USBキーボード・USBテンキーボードを装着した後、キー入力が正常にできない
＜入力文字対応表＞
<table><tr><th>入力したいキー</th><th>押下するキー</th></tr><tr><td>"</td><td>[*]</td></tr><tr><td>&</td><td>[']</td></tr><tr><td>'</td><td>[:]</td></tr><tr><td>(</td><td>[)]</td></tr><tr><td>)</td><td>[SHIFT]+[0]</td></tr><tr><td>=</td><td>[^]</td></tr><tr><td>~</td><td>[SHIFT]+[半角 / 全角]</td></tr><tr><td>^</td><td>[&]</td></tr><tr><td>|</td><td>[}]</td></tr><tr><td>\</td><td>[]]</td></tr><tr><td>@</td><td>["]</td></tr><tr><td>`</td><td>[半角 / 全角]</td></tr><tr><td>[</td><td>[@]</td></tr><tr><td>{</td><td>[`]</td></tr><tr><td>+</td><td>[~]</td></tr><tr><td>:</td><td>[+]</td></tr><tr><td>*</td><td>[(]</td></tr><tr><td>]</td><td>[[]</td></tr><tr><td>}</td><td>[{]</td></tr><tr><td>_</td><td>[=]</td></tr></table>キー表面に刻印されている文字・記号を［　］で囲んで表示しています。</td><td>キーボード配列が英語キーボードとして扱われています。以下に従って操作してください。
①Windows起動時にパスワード入力画面が表示された場合は、左記対応表を参照してパスワードを入力する。または[キャンセル]をクリックする
②[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]をクリックする。（「システム」アイコンが表示されていない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。）
③「キーボード」の横の⊞をクリックし、[106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)]をダブルクリックする。
④「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)のプロパティ」画面で[ドライバ]→[ドライバの更新]を選択する。
⑤「デバイスドライバの更新ウィザード」画面で、「ドライバの場所を指定する...」を選択し、[次へ]をクリックする。
⑥[特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する]を選択し、[次へ]をクリックする。
⑦「モデル」の欄で[106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)[6-8-2000]]を選択し、[次へ]をクリックする。
⑧「デバイス用のドライバファイルの検索：106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」と表示されたら、[次へ]をクリックする。
⑨[完了]をクリックする。
⑩「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)のプロパティ」画面で[閉じる]をクリックする。
⑪「システムのプロパティ」画面で[閉じる]をクリックする。
⑫コンピューターを再起動する。</td></tr>
<tr><td>プリンターが動かない</td><td>確認1 ・ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
・プリンターの電源が入っているか確認してください。
確認2 ・プリンターがパラレルコネクターに接続されている場合、セットアップユーティリティで「パラレルポート」を「使用する」、パラレルポートの「I/Oベースアドレス」を「378」、パラレルポートの「割込み」を「IRQ7」に設定してください。
・適切なプリンタードライバーが選択されているか確認してください。</td></tr>
</table>

困ったときは

周辺機器の問題（つづき）

こんなときは	ここをお調べください
マウスが使えない	確認1 マウスケーブルが正しく接続されているか確認してください。 確認2 マウスがシリアルまたはUSBコネクターに接続されている場合はドライバーをインストールする必要があります。 ドライバーをインストールしても動作しない場合： セットアップユーティリティで「フラットパッド」を「無効」に設定し、「シリアルポート」を「使用する」、シリアルポートの「I/Oベースアドレス」を「3F8」、シリアルポートの「割込み」を「IRQ 4」に設定してください。 確認3 シリアルマウスによっては、スタンバイや休止状態からリジュームした後に動作しなくなることがあります。その場合、⊞を押して「スタート」メニューを表示し、コンピューターを再起動してください。また、シリアルマウス使用時は、スタンバイや休止状態機能は使用しないでください。
フラットパッドが使えない	セットアップユーティリティの「フラットパッド」の設定が「有効」になっているか確認してください。
PCカードが使えない	確認1 カードが正しくセットされているか確認してください。 確認2 適切なドライバープログラムがインストールされているか確認してください。

通信時の問題

こんなときは	ここをお調べください
接続できない	確認1 電話回線とモデムが正しく接続されているか確認してください。（→23ページ） 確認2 • 電話回線の種類は正しく設定されているか確認してください。（→33ページ） • 通信環境の設定が正しく行われているか確認してください。（→23～29ページ）

終了時の問題

こんなときは	ここをお調べください
Windowsが終了しない、または再起動できない	• プロバイダーへの通信やLAN*の設定は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 • プロバイダーについては、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。LANの設定については、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

*LANに接続する場合は別途LANカード等が必要です。

エラーコード一覧

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。- デフォルト値が設定されました。	システムＣＭＯＳのチェックサムが正しくありません。CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 確認1 セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 確認2 それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、「ご相談窓口」にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時間が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時間を正しく設定してください。
0280 前回の起動が正常終了しませんでした。- デフォルト値が設定されました。	電源を入れてからOSが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。
02B0 フロッピーディスクAのエラーです。	フロッピーディスクAのエラーです。 確認1 ドライブが正しく接続されているか確認してください。 確認2 正しく接続してもエラーになる場合は、ドライブの故障が考えられます。「ご相談窓口」にご相談ください。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録して「ご相談窓口」にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス:nnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス:nnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス:nnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。- バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。- キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

再インストールのしかた

コンピューターが正常に動作しなくなったり、ハードディスクの内容が壊れてしまったりした場合、「再インストール」と呼ばれる操作を行って工場出荷状態に戻すことができます。

お願い

再インストールすると、ハードディスクの内容がすべて消えますので、必要なデータはバックアップしておいてください。

再インストールの準備

1 下記のものを準備する。

- あらかじめ作成しておいたバックアップディスク（ファーストエイドFDなど→『セットアップ編』）
- 「プロダクトリカバリーCD-ROM 1」（付属）
- 「プロダクトリカバリーCD-ROM 2」（付属）

◀ 必ず、ライトプロテクトタブを書き込み不可の状態にしておいてください。

2 ハードディスクを圧縮している場合は、Windowsを起動して解除する。

◀ Windowsを起動できない場合などで圧縮を解除できないときは、次ページの手順7で「1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。」を選んでください。

3 Windowsを終了して操作を終わり、電源が切れたことを確認する。（→『セットアップ編』）

お願い

必ず、ACアダプターを装着してください。ACアダプターを装着していないと、再インストールは行えません。

再インストールする

1 コンピューターの電源を入れ、「 <F2>キー を押すと、セットアップを起動します」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

→88ページ

2 「終了」メニューから「デフォルト設定」を選んで、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押す。

3 「起動」メニューで「CD-ROM」が1番目、「Diskette Drive」が2番目、「ハードディスク」が3番目になるように + − を押して、設定する。

4 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCD-ROMドライブにセットする。

5 「終了」メニューから「設定を保存して終了」を選んで、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押し、設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。

6 「再インストールを開始しますか」と表示されたら Y を押す。

7 ＜ハードディスクの内容をすべて工場出荷の状態にする場合＞
[1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選ぶ。
＜パーティションを区切って、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合＞
[2.最初のパーティションにWindowsを再インストールする。]を選ぶ。

◀ハードディスクを1つのパーティション（Cドライブのみ）にして、再インストールを行います。
◀最初のパーティションには、2 GB以上の領域が必要です。（また、システムの復元などWindows Meの機能を正常に動作させるために、最初のパーティション領域を4 GB以上に設定することをおすすめします。）

8 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。

◀再インストールが始まります。（30分程度かかります。）

9 「ファイル“ I:\ja\install1.002 ”が入っているメディア2をドライブL：に挿入してください。」というメッセージが表示されたら、「プロダクトリカバリーCD-ROM2」をCD-ROMドライブにセットし、［OK］を選ぶ。

10 ファーストエイドFDを使って更新操作を行う。

(1)「. . . ファーストエイド FD を挿入して R を押してください。ファーストエイド FD が準備できない場合は、A を押してください。」と表示されたら、「ファーストエイド FD」を挿入して R を押す。

(2)「再インストールを完了しました。」と表示されたら、「プロダクトリカバリー CD-ROM2」と「ファーストエイド FD」を取り出して、Alt + Ctrl + Del を押して再起動する。

11 「 <F2>キーを押すと、セットアップを起動します」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

セットアップユーティリティ
→88ページ

12 「終了」メニューから「デフォルト設定」を選んで、Enter を押す。

確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押す。

13 「終了」メニューから「設定を保存して終了」を選んで、Enter を押す。

確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押す。

◀ 途中でプロダクトキーの入力画面が表示されます。

◀ バックアップディスク作成時に、「アップデートFD」を作成した場合

14 Windows Meのセットアップを行う。(→『セットアップ編』)

＜「アップデートFD」がある場合＞
アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

15 Office 2000 Personalのセットアップを行う。

右記ソフトウェアパッケージ一式を用意し、パッケージに付属の説明書に従って再インストールを行ってください。
その際、IME2000は再インストールしないでください。
（Office 2000 Personalに付属のIME2000より、Windows Meに付属のIME2000の方が新しいため、更新する必要はありません。）

Office 2000 Personalには、以下のソフトウェアが付属しています。

Microsoft® Excel 2000
Word 2000
Outlook® 2000
IME2000
Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic 2.0

上記ソフトウェアのサポートについては、付属のソフトウェアパッケージの説明書をご覧ください。

◀ 左記ソフトウェアのうち、Bookshelf® Basicは工場出荷時にはインストールされていません。
お使いになる場合は、パッケージに付属の説明書に従ってインストールを行ってください。

各種ドライバーやパナソニック製のソフトウェアおよびMicrosoft® Office 2000 Personal以外のアプリケーションソフトウェアを個々に復元したいときは：

「プロダクトリカバリーCD-ROM 3」の「\JA\UTIL」フォルダーにあります。ただし、CD-ROM内のそれらのファイルを使用するときには、更新が必要な場合があります。その場合は、パナソニックPCのホームページに新しい情報が掲載されている場合もありますので、そちらもご覧ください。

もくじ

ソフトウェア使用許諾書

この製品にインストールされているソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっています。

第1条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、コンピューター1台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

仕様 日本国内専用

機種			CF-G1
CPU			3DNow!™テクノロジ モバイルAMD-K6(R)-2+プロセッサ 500 MHz
メモリー	メインメモリー[*1]		64 Mバイト(最大256 Mバイト[*2])
	キャッシュ	L1	64 Kバイト
		L2	128Kバイト
	ROM		512 Kバイト
	ビデオメモリー		8 Mバイト(メインメモリー共有)
ハードディスクドライブ			10 G[*3]バイト
CD-ROMドライブ			読み出し：最大24倍速
フロッピーディスクドライブ			3.5型ドライブ (1.44 Mバイト/1.2 Mバイト/720 Kバイト)
表示機能	テキスト表示		80文字×25行
	グラフィック表示		タイプ:13.3 型(TFT) 解像度:1024×768ドット 色数:1600万色[*4]
入力装置	キーボード		総数90キー
	ポインティングデバイス		フラットパッド
インターフェース	音声	マイク入力	ミニジャックM3(コンデンサーマイク使用のこと)
		オーディオ出力	ステレオミニジャックM3
	ディスプレイコネクター		ミニDsub15ピン
	USBコネクター		4ピン×2 Universal Serial Bus
	モデム端子		本体内蔵(RJ-11) データ: 56 kbps(V.90 & K56flex両対応) FAX: 14.4 kbps
	i.LINK端子		S400/4-pin
	外部キーボード/マウス等		PS/2タイプミニDIN6ピン
カードスロット	PCカード専用		タイプI、タイプIIまたはタイプIII×1スロット
			CardBusサポート (3.3 V: 750 mA,5 V: 500 mA,12 V: 75 mA)[*5]
	RAMモジュール専用		144ピン,SO-DIMM,3.3 V,SDRAM,100 MHz[*6] 2スロット[*7]
オーディオ機能			PCM音源（16ビットステレオ） ステレオスピーカー搭載
時計機能			クロックバッテリーバックアップ 月差±60秒
電源			DC 19 V
消費電力[*8]			約60 W
外形寸法(幅×奥行×高さ)			310 mm×260 mm×41 mm
質量			3.6 kg[*9]
使用環境条件			温度:5 ℃〜35 ℃ 湿度:30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）
導入済みソフトウェア			Microsoft® Windows® Millennium Edition, Microsoft® Internet Explorer 5.5, Acrobat® Reader, インターネットスターター, イラストメール, ウェブナビゲーター, Microsoft® Office 2000 Personal, MotionDV STUDIO, 筆ぐるめ, ドライバー等

・本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

[*1] 100 MHz対応のシンクロナスDRAMおよびセルフリフレッシュのモジュールに限り使用可能です。

[*2] 内蔵されているメモリーを取り外し、別売りのメモリー（１２８Mバイト）を2枚装着した場合。

[*3] 1Gバイト=10^9バイト表記です。

[*4] ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。

[*5] 他の周辺機器等による負荷がない場合のカードスロット単体での数値です。

[*6] 66 MHzのRAMモジュールは使用しないでください。

[*7] ただし、1スロットは装着済。

[*8] 電源オン時、バッテリー充電中のACアダプターを含めた消費電力です。（電源オフ、バッテリー充電終了時、ACアダプターは約0.6 Wの電力を消費しています。また、電源オフ時のバッテリーの消費電力は約60 mWです。）

[*9] バッテリーパック装着時の表記です。

●付属品仕様

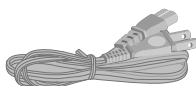
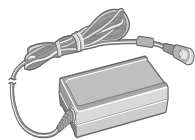
ACアダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V[*10] , 50 Hz/60 Hz
	出力	DC 19 V , 3.16 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	10.8 V (Ni-MH), 4.5 Ah
	稼働時間[*11]	約 2時間

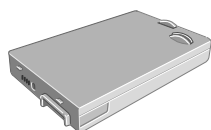
[*10] 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。→6ページ

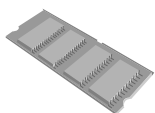
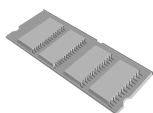
[*11] LCDバックライト輝度最低時。また使用条件により異なります。

別売り商品

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

ACアダプター（電源コード付）

品番:CF-AA1931J

バッテリーパック

品番:CF-VZSU18J

RAMモジュール

64 M **バイト**
品番:CF-BAF1064J

128 M **バイト**
品番:CF-BAF0128J

ワイヤレスユニットセット

ワイヤレスステーション

ワイヤレス通信カード

品番:PCC-VTWS02J

ワイヤレスユニットセット
ワイヤレス通信カードをコンピューターに取り付け、ワイヤレスステーションを電話回線に接続すると、コンピューター本体はコードレス状態で通信できます。

さくいん

A〜Z

あ

か

さ

た

な

は

さくいん

ま

ら

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

技術基準等適合認定について
このパーソナルコンピューターは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

対象機種	電話回線
CF-G1	AA00-0867JP

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間
（バッテリーパックを除く）

■修理を依頼されるとき

「困ったときのQ&A」（→102ページ）や別紙の『困ったときのチェックシート』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、パーソナルコンピューターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理、および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品、および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

- FPANAPC*1アクセスについてFPANAPCのホームページ（http://www.nifty.ne.jp/forum/fpanapc 2000年7月現在）をご覧ください。
  *1 インターネットプロバイダー「@nifty」のユーザーフォーラムでユーザーどうしによる情報交換などが行われています。
- Let's noteのホームページ*2では製品紹介、FAQなど情報掲載やご購入ユーザー様のオンラインメンバー登録を行っております。
  *2 [お気に入り]→[パナソニックお勧めのサイト]→[パナソニックPCのホームページ]にリンクされています。

パナソニックパソコン
お客様ご相談センター

0120-873029（パナソニック）

フリーダイヤル（料金無料）
365日／受付9時～20時

2000年9月1日現在

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検 長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番*	
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

*保証書に記載されている品番（例：CF-G1）を記入してください。

松下電器産業株式会社　パナソニックコンピュータカンパニー

〒101-0032　東京都千代田区岩本町３丁目２番４号　東京建物岩本町ビル

TA0900-0
DFQM2110ZA